

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 全教科

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 国語

調査研究の視点と主な審議内容

□各教科共通の観点について

2 内容に関する配慮事項

	観点	調査研究の視点と主な審議内容
イ	読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	<p>○【東書】【三省堂】【教出】【光村】→調査会の評価どおり</p> <p>各出版社において、辞典の使い方やグラフや図表の読み方、さまざまな文種を取り上げるなど、読解や情報活用の育成を意図されている。</p>
ウ	多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	<p>○【東書】【三省堂】【教出】【光村】→調査会の評価どおり</p> <p>「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」について、生徒自身が自覚できることが大切である。そのため、学びの系統性が分かりやすいものが、生徒一人一人が、学びを主体的に進めていく上でよいと考えられる。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・学びのスタートは興味・関心であるため、「生徒の学びやすさ」の面だけで評価できないのではないか。 ・系統性が示されていることが、主体的な学びを実現することにはならないのではないか。そこに教師の指導性が必要になる。主体性や意欲という場合には、生徒に任せるのではなく、その何倍も教師の指導性が重要である。 </div>

□国語の観点について

	観点	調査研究の視点と主な審議内容
6	<p>《A話すこと・聞くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、話すことと聞くことを一体的に指導できるとともに、目的や場面、相手に応じて分かりやすく話したり、話の内容を聞いて考えをまとめたり、合意形成に向けて話し合ったりすることのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。</p>	<p>◎【三省堂】→調査会の評価どおり 「話すこと・聞くこと」の学習過程がバランスよく配列されているとともに、全学年とも1回目にグループディスカッションが設定され、「話すこと・聞くこと」の一体的な学習が意図されている。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッションは、学んだことをディスカッションすることに意義がある。1回目に設定されていることが妥当であると言えるだろうか。もし1回目に位置付けてあるのであれば、グループディスカッションが成立するよう適切な指導を行う必要がある。 </div>

□各教科共通の観点（国語） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の生徒の発達段階に適切した教材の配列となっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、他教科と関連がある教材にはページ横にマークと教科名が小さく明示されている。	◎	◎
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	日常生活や社会生活につながる言語活動を取り入れた単元構成がなされている。国語辞典や百科事典の使い方、グラフや図表の読み方、実用的な文章の読み方など、情報活用能力育成のための記述がみられる。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	巻頭に学習内容とつきたい力が一覧で掲載されている。また、「学びの扉」で漫画を用いて本編から基礎へ学習のつながりが説明されており、自学に役立つ。さらにそれぞれ単元の巻末にある「てびき」をもとに個に応じた指導がしやすいように編集されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	スピーチやグループディスカッション、プレゼンテーション、リンクマップなど、さまざまな手法を用い、互いの個性や価値観などの違いを理解、認識し、互いの多様性を認め合える内容が掲載されている。また、SDGsに関連した教材が掲載されている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	生徒の負担にならないよう配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。学習指導要領の「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」で整理された構成に、準拠している。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	3領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。また、自然科学、歴史、美術作品、平和に関すること等、多岐にわたる読み物教材が取り入れられている。巻末には「学びを支える言葉の力」のまとめがあり、学習の深まりが明示されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末資料に、関連する作品など発展的な内容を明示している。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、活字の組み方も適切である。字の大きさも、生徒の発達段階に応じたものとなっている。写真も鮮明に印刷されている。図表の色使いも自然で、適切である。製本も丈夫で適切である。	○	○

□国語の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

国語の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成できる内容になっていること。	巻頭に1年間を通して学ぶ内容や活動が一覧で示されており、学習指導要領に基づいて系統的に配列されている。	○	○
2	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる内容になっていること。	巻頭の「1年で学ぶこと」一覧に、各単元と関連する「言葉の力」と、その発展である「学びを支える言葉の力」が明示されており、学習の広がりや深まりを促すことができるようになっている。	○	○
3	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力が養われる内容になっていること。特に、「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、自分の考えや知識をもち、他者対話的に学ぶ内容になっていること。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」で、写真の意見文や食文化のレポートをテーマにするなど、テーマの選定が豊富で、身近であるとともに、学校外でも話題にしたり、関連分野に取り組んだりすることができる内容になっている。	○	○
4	言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力を向上できる内容になっていること。	類義語やことわざ、慣用句等言葉に関するさまざまな単元が設定されているとともに、巻頭にカラー写真とともに詩が掲載されているなど、言語感覚を豊かにする内容がある。また巻末には「言葉を広げよう」で「明るさ」や「匂い」などさまざまなジャンルにおける言葉の表現一覧があり、学習の参考になるとともに、語彙を豊かにすることができる。	○	○
5	教科及び各学年の目標、[知識及び技能]及び[思考力、判断力、表現力等]に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成をねらいとし、生徒の発達の段階に即して適切な話題や題材を調和的に取り扱うこと。特に、[思考力、判断力、表現力等]においては、各領域の指導が適切に行われるよう、年間を通してバランスよく指導することができる内容になっていること。	各学年の目標や生徒の発達段階に応じて、様々な話題や題材が取り上げられている。特に「話す・聞く」「書く」「読む」それぞれの教材に「言葉の力」という言語活動例が説明してあるコーナーがあり、関連がわかりやすい。	○	○
6	《A話すこと・聞くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、話すことと聞くことを一体的に指導できるとともに、目的や場面、相手に応じて分かりやすく話したり、話の内容を聞いて考えをまとめたり、合意形成に向けて話し合ったりすることのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	「話すこと・聞くこと」を取り扱う教材では、最初のページに「学習の流れ」が明示されており、その流れどおりに展開されている。また、例示が豊富で、スピーチなど完成例は全文が示されており、進度や個の能力に応じた活用ができる。	○	○
7	《B書くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、目的や意図に応じて、材料を整理して構成を検討したり、記述を工夫したりしながら、考えが伝わる文章を書くことのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	「書くこと」を取り扱う教材では、最初のページに「学習の流れ」が明示されており、その流れどおりに展開されている。また例示が豊富で、書くことによる言語能力の育成を図ることができる内容になっている。また、レポートなど完成例も全文が掲載されており、進度や個の能力に応じた活用ができる。	○	○

□国語の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

	国語の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
8	《C読むこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、叙述に基づいて文章の構造や内容を理解したり、文章の内容や形式に着目して目的に応じて意味を考えたりしながら、読んで考えを形成する言語能力を育成することができる内容になっていること。	「読むこと」を取り扱う教材では、最終ページに「てびき」のページがあり、目標とともに「文章の構成を捉え、内容を読み取るう」など、つけたい力を確かめながら振り返ることができるようになっている。	○	○
9	《読書》及び《C読むこと》については、生徒の読書意欲を高め、様々な文章を読んで自分の表現に役立てられるものであるとともに、他教科等における読書の指導や学校図書館における指導とを関連付ける内容になっていること。	さまざまな作品が教材として取り扱われているだけでなく、「本で世界を広げよう」では「戦争・平和」「福祉・共生」などジャンルやテーマごとに多くの本が紹介されている。またビブリオバトルや読書会などの読書活動も3学年を通して系統的に示されており、生徒の読書意欲を高めることができるようになっている。さらに、読書に関する内容は薄いカラーのページ仕様になっており、関連ページが一目瞭然である。	○	○
10	[知識及び技能]に示す事項は、[思考力、判断力、表現力等]に示す事項の指導を通して指導することを基本とし、必要に応じて特定の事項を取り上げて繰り返し指導したり、まとめて単元化したりして取り扱うことができる内容になっていること。	言葉の特徴に関する内容は各学年系統的に配置されている。巻頭に知識および技能に関する教材の配列が一覧で掲載されている。また、文法では「文法の窓」の学習が巻末資料の文法解説で深められるように対応している。	○	○
11	[思考力、判断力、表現力等]の《C読むこと》の教材については、説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っていること。	3学年とも説明的な文章と文学的な文章をバランスよく取り扱っている。	○	○
12	我が国の言語文化に関する事項については、各学年で古典に親しむことができる内容になっていること。	各学年とも、古文および漢文が取り扱われている。作品については、生徒の発達段階に応じて、平易かつ簡潔、暗唱させるに値するものが取り扱われている。イラストや写真など資料も盛り込まれている。また巻末資料には様々な古典作品や二つの作品の併せ読みによる比較、能や人形浄瑠璃などの古典芸能も掲載されている。	○	○

□各教科共通の観点（国語）教科書会社名（三省堂）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の 範囲 及び 程度 ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の生徒の発達段階に適切した教材の配列となっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標および内容に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。特に各学年の冒頭に示されている「領域別教材一覧」に、その単元で育成を狙う力が明確に示されており、指導する上で生徒に意識させやすい。	◎	◎
2	ア 内容に 関する 事項 ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	日常生活や社会生活につながる言語活動を取り入れた単元構成がなされている。国語辞典や百科事典の使い方、グラフや図表の読み方、実用的な文章の読み方など、情報活用能力育成のための記述がみられる。また、巻末に「思考の方法」一覧が3学年を通して掲載されており、「比較」「具体化」などが図でわかりやすく説明されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	巻頭に「領域別教材一覧」があり、学習活動と「つきたい力」が明記されている。さらに「確かな言葉の力をつけるために」で、各教材での学習ポイントや学習の進め方(ステップ1～5)があり、主体的・対話的で深い学びを段階的に示すとともに自学を進めやすいように配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「書く」「話す・聞く」の領域で、考え方の違いや互いのよさを交流できるような場面が多く設定されている。また、SDGsに関連した教材が掲載されている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	生徒の負担にならないよう配慮されている。	○	○
3	ア 分量 ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。学習指導要領の「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」で整理された構成に、準拠している。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	3領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
4	ア 使用上の 便宜 ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。また、自然科学、歴史、美術作品、平和に関すること等、多岐にわたる読み物教材が取り入れられている。さらに、巻末の「思考の方法」一覧が3学年を通して掲載されており、活用場面を参照させやすい。	◎	◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末資料に、関連する作品など発展的な内容を明示している。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、活字の組み方も適切である。字の大きさも、生徒の発達段階に応じたものとなっている。写真も鮮明に印刷されている。図表の色使いも自然で、適切である。製本も丈夫で適切である。	○	○

□国語の観点 教科書会社名（三省堂）

国語の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
1 国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成できる内容になっていること。	巻頭の領域別教材一覧で、「知識・技能」に関して「言葉の特徴や使い方」「言語文化」「情報の使い方」に分類し明示している。「思考力・判断力・表現力」においては六つの要素について分類をしている。学習指導要領に基づいて、何を学ぶのか、またどのように学ぶのかを整理して編集されている。	◎	◎
2 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる内容になっていること。	「学びの道しるべ」により学習した内容を確かめたり自分の考えを深めたり、学びを広げたりすることができるような内容になっている。	○	○
3 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力が養われる内容になっていること。特に、「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、自分の考えや知識をもち、他者と対話的に学ぶ内容になっていること。	「話すこと・聞くこと」では、互いの考えを尊重しながら合意形成に向けて話し合いを進めたり深めたりすること等、「書くこと」では、相手や目的を明確にして紹介する、交流する等、「読むこと」では、音読や考えの交流等といった対話的に学ぶ内容が位置付けられている。どの活動も主体的・対話的で深い学びの段階が想定されている。また、巻末資料「話し合いの形式」をはじめ、社会生活に生かせる内容が全学年同様に掲載されている。	◎	◎
4 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力を向上できる内容になっていること。	短歌や俳句、慣用句・ことわざ・故事成語等、生徒が日頃触れることが少ない言語文化に関する単元が設定しており、言葉のもつ響きや美しさ、表現の豊かさを感ずることができる内容になっている。巻末の参考資料に日本文学名作集として、古典文学の作品の冒頭部分が掲載されており、言語文化に関わりをもつ内容となっている。	○	○
5 教科及び各学年の目標、[知識及び技能]及び[思考力、判断力、表現力等]に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成をねらいとし、生徒の発達の段階に即して適切な話題や題材を調和的に取り扱うこと。特に、[思考力、判断力、表現力等]においては、各領域の指導が適切に行われるよう、年間を通してバランスよく指導することができる内容になっていること。	生徒の発達段階に即して、適切な話題や題材が配置されている。領域の配置もバランスよく指導することができる内容になっている。「話す・聞く」「書く」における言語活動では、学習の流れとポイントや例示がわかりやすく示されており、言語活動が進めやすい内容になっている。	○	○
6 《A話すこと・聞くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、話すことと聞くことを一体的に指導できるとともに、目的や場面、相手に応じて分かりやすく話したり、話の内容を聞いて考えをまとめたり、合意形成に向けて話し合ったりすることのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	「話す」「聞く」「話し合う」の学習が毎学期にバランスよく配列しており、学年ごとに明確な目標が提示されている。1回目は全学年「グループディスカッション」が提示されており、話題や展開にそって話し合いをつなげたり深めたり、合意形成に向けての話し合いを計画的に進めたりすることができるようになっている。2回目は「スピーチ」「プレゼンテーション」「パブリックスピーキング」などを行い、自分の考えや提案を主張することができるようになっている。3回目は、「新聞」「情報誌」「名言集」などの書く活動を行った上で、作品等を発信したり交流したりすることができる内容になっている。	◎	◎
7 《B書くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、目的や意図に応じて、材料を整理して構成を検討したり、記述を工夫したりしながら、考えが伝わる文章を書くことのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	年間を通して様々な様式の文種が設定されている。「学習の流れ」が明記されていることや書く作業を進める上でのポイントや例が示されており、目的や意図に応じて学習を進めることができるようになっている。	○	○

□国語の観点 教科書会社名（三省堂）

国語の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
8	《C読むこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、叙述に基づいて文章の構造や内容を理解したり、文章の内容や形式に着目して目的に応じて意味を考えたりしながら、読んで考えを形成する言語能力を育成することができる内容になっていること。	教材の中で、文章を正確に読み解き、深く味わうための「技」や「こつ」を示した「読み方を学ぼう」が掲載されており、文章の内容や形式に着目して学習を進めることができるようになっている。巻末に3年間で示される「読み方を学ぼう」一覧もあり、応用したり組み合わせたりしながら活用することができるようになっている。	○	○
9	《読書》及び《C読むこと》については、生徒の読書意欲を高め、様々な文章を読んで自分の表現に役立てられるものであるとともに、他教科等における読書の指導や学校図書館における指導とを関連付ける内容になっていること。	巻末資料としての読み物の掲載や、「小さな図書館」として分野別に7～8冊の本が紹介しており、図書館活用の場を広げることができる内容になっている。「ピブリオバトル」や「ブックトーク」などの読書活動も示されており、生徒の読書意欲を高めることができるようになっている。小説や詩などの文学作品については、発達段階に合う内容が適切に配置されており、親しみをもって読めるような教材になっている。	○	○
10	[知識及び技能]に示す事項は、[思考力、判断力、表現力等]に示す事項の指導を通して指導することを基本とし、必要に応じて特定の事項を取り上げて繰り返し指導したり、まとめて単元化したりして取り扱うことができる内容になっていること。	言葉の学習である小単元「言葉の特徴や使い方」「文法」「漢字」が配置されており、言葉に関する知識や技能の確実な習得ができる内容になっている。また、文法の学習においては、「文法のまとめ」も配置されているので、系統的に学ぶことができる。巻末に「学習用語辞典」や「語彙の広がり」等、国語の言語活動に役立つ内容が掲載されており、言葉の力を高めることに活用することができる。	○	○
11	[思考力、判断力、表現力等]の《C読むこと》の教材については、説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っていること。	3学年とも説明的な文章と文学的な文章をバランスよく取り扱っている。	○	○
12	我が国の言語文化に関する事項については、各学年で古典に親しむことができる内容になっていること。	各学年とも、古文および漢文が取り扱われている。作品については、生徒の発達段階に応じて、平易かつ簡潔、暗唱させるに値するものが取り扱われている。イラストや写真など資料も盛り込まれている。また巻末資料には様々な古典作品や能、狂言などの古典芸能も掲載されている。	○	○

□各教科共通の観点（国語） 教科書会社名（ 教育出版 ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の生徒の発達段階に適切した教材の配列となっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	日常生活や社会生活につながる言語活動を取り入れた単元構成がなされている。国語辞典や百科事典の使い方、グラフや図表の読み方、実用的な文章の読み方など、情報活用能力育成のための記述がみられる。各学年「学びのチャレンジ」でさまざまな文章や資料から考え・判断する問題が設定されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	巻頭に、学習内容とつきたい力が一覧で見やすく掲載されている。また、単元ごとに「学びナビ」や「みちしるべ」という項目が設定されており、学習するうえで重要な知識や、学習過程が掲載されているため、生徒が自ら見通しをもって学習を進められる内容になっている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	各学年でSDGsについての教材が掲載されており、生徒が環境問題や人権問題などの問題について系統的に学ぶことができる配列になっている。また、巻頭の「言葉の地図」で学ぶ内容と身につきたい力の一覧があり、教材と17の目標の相応がわかりやすく明示されている。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	生徒の負担にならないよう配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。学習指導要領の「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」で整理された構成に、準拠している。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	3領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。また、自然科学、歴史、美術作品、平和に関すること等、多岐にわたる読み物教材が取り入れられている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末資料に、関連する作品など発展的な内容を明示している。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、活字の組み方も適切である。字の大きさも、生徒の発達段階に応じたものとなっている。写真も鮮明に印刷されている。図表の色使いも自然で、適切である。製本も丈夫で適切である。	○	○

□国語の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

国語の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成できる内容になっていること。	巻頭「言葉の地図」で年間の学ぶ内容と身につけたい力が一覧になっている。「知識・技能」に関しては「語彙」「技法」「情報」「読書」「伝統」に分類し明示している。「思考力・判断力・表現力」については、言語活動例とともに教材を分類している。学習指導要領に基づいて、何を学ぶのか、またどのように学ぶのかを整理して編集されている。	◎	◎
2	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる内容になっていること。	「文法の小窓」や「言葉の小窓」という項目が設定され、日本語と外国語の考え方の違いや、日本語の独特な表現などについて触れることができる内容になっており、生徒が日本語に興味をもち、言葉の知識を広げるヒントになっている。	○	○
3	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力が養われる内容になっていること。特に、「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、自分の考えや知識をもち、他者対話的に学ぶ内容になっていること。	単元の初めに「学びナビ」というページが設けられていることで、生徒が事前に重要な語句や、文章を読む上で重要な観点などを学ぶことができる。単元の終わりには、個人の考えの形成し、他者と意見を交流する言語活動が多く設定されているため、他者との交流を通して、学びが深められる内容になっている。	○	○
4	言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力を向上できる内容になっていること。	短歌や俳句、故事成語など、各学年で取り扱い、系統的に学べる内容になっている。また、巻頭や巻末には言葉についてのコラムや外国語との違いを記載することで、言葉に関心もてるように工夫が施されている。各学年「四季のたより」として季節ごとに短歌が掲載され、我が国の風土・文化に関連した内容も扱っている。	○	○
5	教科及び各学年の目標、[知識及び技能]及び[思考力、判断力、表現力等]に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成をねらいとし、生徒の発達の段階に即して適切な話題や題材を調和的に取り扱うこと。特に、[思考力、判断力、表現力等]においては、各領域の指導が適切に行われるよう、年間を通してバランスよく指導することができる内容になっていること。	各学年の目標に準じて、説明的文章や文学的文章、言語に関する事項などがバランスよく配置されている。また、日常生活につながるのある文章を掲載することで生徒の読書に親しむ態度を育成できる内容になっている。さらに、「学びのチャレンジ」の項目では、既習事項を活用し、思考力、判断力、表現力を高めることができるようになっている。	○	○
6	《A話すこと・聞くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、話すことと聞くことを一体的に指導できるとともに、目的や場面、相手に応じて分かりやすく話したり、話の内容を聞いて考えをまとめたり、合意形成に向けて話し合ったりすることのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	題材の設定から内容の共有まで、学年の目標に応じて段階的に教材が配置されている。また、題材に図形やイラストを用いて、生徒が視覚的に理解しやすいように工夫がなされている。さらに、「学習活動の流れ」という項目には構成や表現、話し合いの進め方や考えを形成するためのヒントが記載されており、学習を進めやすい。	○	○
7	《B書くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、目的や意図に応じて、材料を整理して構成を検討したり、記述を工夫したりしながら、考えが伝わる文章を書くことのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	様々な文章を書く活動が多く設定されている。教科書に記載されている例題では、グラフや表などを用いて、生徒が視覚的にわかりやすいように工夫がなされている。また、どのように学習を進めるか、どのような書き方がより説得力をもたせることができるのかを「学習のながれ」や「参考」の型をヒントに書きやすい内容になっている。	○	○

□国語の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

国語の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
8 《C読むこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、叙述に基づいて文章の構造や内容を理解したり、文章の内容や形式に着目して目的に応じて意味を考えたりしながら、読んで考えを形成する言語能力を育成することができる内容になっていること。	単元末に「みちるべ」という項目が設定され、文章の構造や内容を理解し、考えを形成することができるようになっている。わかりにくい設問には、「参考」として考えるヒントが提示されており、つまづきやすい生徒への配慮もなされているが、言語活動の例示が少ないため、生徒の活動が単調になりやすい。	○	○
9 《読書》及び《C読むこと》については、生徒の読書意欲を高め、様々な文章を読んで自分の表現に役立てられるものであるとともに、他教科等における読書の指導や学校図書館における指導とを関連付ける内容になっていること。	さまざまな作品が教材として取り上げられているだけでなく、「広がる本の世界」では多くの本がジャンルごとにまとめられて紹介されてる。また、「読書への招待」では学年ごとに多様な文章を扱い、文学作品についての歴史的背景や、図書館の活用、メディアの扱い方、ビブリオバトルの紹介など、社会生活につながる内容が豊富に取り上げられている。	○	○
10 [知識及び技能]に示す事項は、[思考力、判断力、表現力等]に示す事項の指導を通して指導することを基本とし、必要に応じて特定の事項を取り上げて繰り返し指導したり、まとめて単元化したりして取り扱うことができる内容になっていること。	「言葉の小窓」という項目が設定されており、繰り返し知識及び技能に関する事項を指導できる内容になっている。また、巻末には「言葉と文法」という題材が設定されており、単元としても取り扱うことができる内容となっている。さらに「言葉と表現」という項目が単元末に設定されており、思考力や表現力と結び付けて指導を行うことができる。	○	○
11 [思考力、判断力、表現力等]の《C読むこと》の教材については、説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っていること。	3学年とも説明的な文章と文学的な文章をバランスよく取り扱っている。	○	○
12 我が国の言語文化に関する事項については、各学年で古典に親しむことができる内容になっていること。	各学年とも、古文および漢文が取り扱われている。作品については、生徒の発達段階に応じて、平易かつ簡潔、暗唱させるに値するものが取り扱われている。また、現在の写真や当時のイラスト、地図などの資料も多く、現代との比較や、地理的状況や歴史的背景を学ぶことができる内容になっている。巻末資料には様々な学習した作品の別の場面や他の古典作品、狂言などの古典芸能も掲載されている。	○	○

□各教科共通の観点（国語）教科書会社名（光村図書）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の範囲及び程度 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の生徒の発達段階に適した教材の配列となっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標および内容に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。特に各学年の冒頭に示されている「学習の見直しをもとう」に、その単元で育成を狙う力が明確に示されており、指導する上で生徒に意識させやすい。	◎	◎
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	日常生活や社会生活につながる言語活動を取り入れた単元構成がなされている。国語辞典や百科事典の使い方、グラフや図表の読み方、実用的な文章の読み方など、情報活用能力育成のための記述がみられる。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元の終末には、「つなぐ」という見出しで、学習した事柄がどのような場面で役立つか示されている。また、「読むこと」の単元の終末の「学習」に、学習の進め方や他と交流するポイントが示され、主体的・対話的で深い学びにつながる配慮がなされている。さらに、巻頭の「思考の地図」で課題解決や考えを深めるポイントや関連教材が明示されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「読むこと」の単元の終末に「学習」として、「見直しをもつ」「捉える」「読み深める」「考えをもつ」という学習の流れに合わせた学習内容が示されており、その教材で何を学ぶのかを見失うことなく学習を進める工夫がなされている。SDGsに関連した教材が掲載されている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	生徒の負担にならないよう配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。学習指導要領の「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」で整理された構成に、準拠している。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	3領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。冒頭に学習に役立つ思考法がB4で折り込まれており、その活用場面がページで示され、参照させやすい。また、自然科学、歴史、美術作品、平和に関すること等、多岐にわたる読み物教材が取り入れられている。さらに「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、学校生活につながるテーマ例があり、学習したことを他の教科や領域でどのように生かすか想定しやすい。	◎	◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末資料に、関連する作品など発展的な内容を明示している。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、活字の組み方も適切である。字の大きさも、生徒の発達段階に応じたものとなっている。写真も鮮明に印刷されている。図表の色使いも自然で、適切である。製本も丈夫で適切である。	○	○

□国語の観点 教科書会社名（ 光村図書 ）

国語の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
1 国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成できる内容になっていること。	「知識及び技能」に関しては、教えるべきことを「言葉」「情報」「言語文化」の学習指導要領に基づいた形で整理している。「思考力・判断力・表現力等」の3領域においては、「話すこと・聞くこと」では「集める・整理する」「組み立てる」「伝え合う」「書くこと」では「集める・整理する」「組み立てる」「表現する」、 「読むこと」では、「捉える」「読み深める」「考えをもつ」のように、それぞれ三つの要素に整理して、何を学ぶのか、またどのように学ぶのかを整理して編集されている。	◎	◎
2 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる内容になっていること。	特に情報を扱った箇所は、実用的な文種が取り上げられているだけでなく、著作権について触れており、知識の充実を図ることができる。漢字や語句に関しては挿絵を用いた説明がなされている。俳句や短歌は、読むだけではなく、創作するためのポイントや句会についても触れている。言語文化への親しみをもたせる仕掛けがある。	○	○
3 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力が養われる内容になっていること。特に、「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、自分の考えや知識をもち、他者対話的に学ぶ内容になっていること。	巻頭にB4見開きで、「思考の地図」という思考ツールを模したような、思考をどのように広げたり整理したり深めたりしていけばよいかを、まとめたページがある。また、「思考のレッスン」という、思考力を高める短い単元が挿入されている。これらは、3領域の指導につながる形で配置されており、教材を関連させながら、思考を高める手立てが位置付けられていることで、対話も活性化されるものと考えられる。生徒が対話をしている吹き出しのついた挿絵が見られ、対話をもとに学習を進める雰囲気づくりになっている。	◎	◎
4 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力を向上できる内容になっていること。	「季節のしおり」として各季節を表す言葉や表現が紹介されていたり、裏表紙の裏には「時」「色」「季節」を表す言葉が写真とともに紹介されていたりと、語彙を豊かにする工夫がみられる。巻末には「心情、行為、様子を表す言葉」「抽象的な概念を表す言葉」「見方や考え方を表す言葉」が掲載され、生徒に文章を書かせる際に参照させることで、実感を伴って語彙を豊かにすることができる。	○	○
5 教科及び各学年の目標、[知識及び技能]及び[思考力、判断力、表現力等]に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成をねらいとし、生徒の発達の段階に即して適切な話題や題材を調和的に取り扱うこと。特に、[思考力、判断力、表現力等]においては、各領域の指導が適切に行われるよう、年間を通してバランスよく指導することができる内容になっていること。	学習指導要領に示された「知識及び技能」の3事項、「思考力、判断力、表現力等」の3領域すべてにわたって、調和のとれた単元構成でまとめられている。「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」についても、各単元で明確に示されており、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を確かに育てていくことができる。各単元だけでなく、巻末の資料も充実しており、事項の列挙にとどまらず、作品の一節を挙げたり、用例を示したりするなど工夫が見られ、個に応じた学習ができる。	○	○
6 《A話すこと・聞くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、話すことと聞くことを一体的に指導できるとともに、目的や場面、相手に応じて分かりやすく話したり、話の内容を聞いて考えをまとめたり、合意形成に向けて話し合ったりすることのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	3学年すべての言語活動で、「生かす」「集める・整理する」「組み立てる」「伝え合う」「振り返る」という学習の流れによって、どのように「話すこと・聞くこと」の学習活動を進めたらよいか、整理されて示されている。独話形式から話し合い形式まで、各学年とも取り入れられている。ポイントは「学習の窓」としてまとめられ、巻末に一覧として掲載されている。	◎	◎
7 《B書くこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、目的や意図に応じて、材料を整理して構成を検討したり、記述を工夫したりしながら、考えが伝わる文章を書くことのできる言語能力を育成することができる内容になっていること。	3学年すべての言語活動で、「生かす」「集める・整理する」「組み立てる」「表現する」「振り返る」という一連の学習の流れによって、どのように書いていけばよいか、手順を追って整理されて示されている。学習内容については、「学習の窓」としてまとめられ、巻末に一覧表の形で掲載されており、適宜参照させることができる。特に、文章のモデルについては、省略することなく、始めから終わりまですべて書かれており、生徒の学力に応じた学習を進めることができる。	○	○

□国語の観点 教科書会社名（ 光村図書 ）

国語の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
8 《C読むこと》については、学習過程や指導事項、例示されている言語活動を参考にして、叙述に基づいて文章の構造や内容を理解したり、文章の内容や形式に着目して目的に応じて意味を考えたりしながら、読んで考えを形成する言語能力を育成することができる内容になっていること。	3学年すべての言語活動で、「見通しをもつ」「捉える」「読み深める」「考えをもつ」「振り返る」という一連の学習過程で、どのように読み取っていけばよいのか手順が示されている。その際、学習の窓に言語活動を進めていく上でのポイントが図や表とともに示されており、学習の手がかりにすることができる。この「学習の窓」は、巻末に文学的な文章と説明的な文章のそれぞれ整理されて掲載されており、教科書教材だけでなく、他の作品を読む上でも役立つ内容である。	○	○
9 《読書》及び《C読むこと》については、生徒の読書意欲を高め、様々な文章を読んで自分の表現に役立てられるものであるとともに、他教科等における読書の指導や学校図書館における指導と関連付ける内容になっていること。	いわゆる「名作」と称される以前から価値が定まった作品が、教材文として取り上げられたり紹介されたりするだけでなく、現代作家の作品や様々なジャンルの作品を、カラー写真を用いて表紙とともに数多く紹介している。また、その作品の冒頭のみを紹介して、続きを学校図書館等で読ませるような仕掛けや、ポップや読書掲示板づくりの紹介等もあり、読書生活の向上のための工夫がみられる。紹介されている図書の量も充実している。宮崎駿や又吉直樹など著名人や芸能人からの本の紹介やコラムが掲載されており、生徒の読書への関心を促す内容になっている。	○	○
10 [知識及び技能]に示す事項は、[思考力、判断力、表現力等]に示す事項の指導を通して指導することを基本とし、必要に応じて特定の事項を取り上げて繰り返し指導したり、まとめて単元化したりして取り扱うことができる内容になっていること。	「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関して、新出漢字や音訓、語句は、教材文に示されたものを基本として指導できるようになっている。文法については、巻末に詳細な説明を掲載しており、繰り返し学習することができる。「情報の扱い方に関する事項」に関して、生徒の身の回りにある文章を例にとりながら、学び方が記されている。	○	○
11 [思考力、判断力、表現力等]の《C読むこと》の教材については、説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っていること。	3学年とも説明的な文章と文学的な文章をバランスよく取り扱っている。	○	○
12 我が国の言語文化に関する事項については、各学年で古典に親しむことができる内容になっていること。	各学年とも、古文および漢文が取り扱われている。作品については、生徒の発達段階に応じて、平易かつ簡潔、暗唱させるに値するものが取り扱われている。巻末には、取り扱われている作品に関連した古典作品が、その一節とともに紹介されていたり、百人一首や古典落語、能や狂言といった芸術作品も掲載されていたりしており、幅広い古典作品に出会わせることができる。	○	○

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 書写

調査研究の視点と主な審議内容

□各教科共通の観点について

5 印刷・製本

観点	調査研究の視点と主な審議内容
<p>ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。</p>	<p>△【東書】→調査会の評価どおり 毛筆の見開き手本が一つも掲載されておらず、実際の文字の大きさと対応していないため、書く際にバランスをとることが難しい。第1学年の早い時期に、手本の使用の仕方や文字のバランスについて学習するため、実際の大きさの手本がある方が望ましい。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさについては、気にしなくてよいのでは。習字道具を机上に置き、さらに見開きで教科書を置くことが可能なのか。 ・見開きの手本がある方が大きさについて気を付けて書くことができる。小さい手本の文字を大きく書くことは難しい。 </div>

□書写の観点について

観点	調査研究の視点と主な審議内容
<p>4 毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。</p>	<p>◎【光村】→調査会の評価どおり 毛筆の学習を生かし、硬筆で書く内容が設定されている。また、本体から取り外すことができる「書写ブック」を活用することにより、毛筆で学習したことを硬筆に生かすことができるような構成になっている。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ書写を学ぶのか、書写を学ぶことのよさは何かについて考えずに書写の学習を進めることになっていないだろうか。「毛筆を生かそう」という点に十分満足できるよの評価がなされていることは重要な意味があると思う。 </div>

□各教科共通の観点（書写）教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の内容を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	各学年生徒の発達段階に適切した教材の配列になっている。また、扱われている手本や活用例も、易から難の順に配列されている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	英語や数学、図、写真が混在した文章を、どのように整えて書くかといった、教科間の関連を意識した系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、各種掲示物や手紙、願書等の例も示されており、学校・日常生活の中で活用することができる。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	実用的な文章を整えて書くための、字のバランスやレイアウト、文字の色や筆記具の種類等、日常で書く活動に結び付けることができるように配慮されている。また、巻末の「書写活用ブック」でポスターや新聞・リーフレットなど書写学習の活用が取り上げられている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各学年で、読みやすさや伝わりやすさ、様々な場面・目的における書体の使い分けなど、常に相手意識をもった内容となっている。職場体験や防災訓練、卒業作品、グループでのポスター作成などをテーマに問題解決能力を生かして学習を進める内容が盛り込まれている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	学習の手順や説明がくわしく記載されているとともに、資料も多く掲載されており、配慮されている。また、「身の回りの文字の目的と工夫」という内容で、店頭案内板や手書きポップなどの書体を紹介している。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実習等は、安全・衛生面が配慮されている。また、QRコードが掲載されており、実習時に画像や動画として活用できる。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	基本的に、説明・例示・練習の順に構成されているとともに、発展的な学習内容は見開きの資料として紹介されているため、生徒の負担過重にならないように配慮されている。	○	○
	ク 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	基本的に、説明・例示・練習の順に構成されているとともに、発展的な学習内容は見開きの資料として紹介されているため、生徒の負担過重にならないように配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	国語科の標準授業時数のうち、学習指導要領の内容の取扱いに示された書写の配当時数に応じた分量になっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	国語科の標準授業時数のうち、学習指導要領の内容の取扱いに示された書写の配当時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	偏りなく掲載されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。QRコードが示され、ICT機器を活用して、動画を視聴することができる。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末に発展的な学習内容として古典が取り上げられており、高等学校の学習内容であることが明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	図書に使用されている字体は、字の大小に関わらず鮮明である。手本として示されている字は、癖もなく、整った字である。ただし、毛筆の見開き手本が一つも掲載されておらず、半紙よりもかなり小さい手本のため使いづらい。	△	△

□書写の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

書写の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成することができる内容になっていること。	各学年に「生活に広げよう」という内容があり、手紙やはがき、願書や送り状などの書式の例が系統的・段階的に示されている。また、常用漢字の楷書・行書の書き方が示されており、手本にない字について書くための参考になる手立てがある。	○	○
2	文字を正しく整えて速く書くことができる内容になっていること。	1学年で楷書に加えて行書の基礎、2学年で楷書と行書の使い分け、3学年で文字の多様な表現と効果を学習し、文字を正しく整えて速く書く力を身に付ける構成になっている。	○	○
3	各学年で、硬筆及び毛筆を使用する書写の指導を行うことができる内容になっていること。	各学年で硬筆・毛筆ともに手本が掲載されており、3学年にわたり毛筆および硬筆の学習内容がバランスよく配置されている。	○	○
4	毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。	学習したことを確かめながら硬筆で書く「生かそう」「確かめよう」という項目が設定されており、毛筆で学んだ点画の特徴を、硬筆でも確認できる内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（書写）教科書会社名（三省堂）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の内容を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	各学年生徒の発達段階に適応した教材の配列になっている。また、扱われている手本や活用例も、易から難の順に配列されている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	英語や数字、図、写真が混在した文章を、どのように整えて書くかといった、教科間の関連を意識した系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、各種掲示物や手紙、願書等の例も示されており、学校・日常生活の中で活用することができる。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	実用的な文章を整えて書くための、字のバランスやレイアウト、文字の色や筆記具の種類等、日常で書く活動に結び付けることができるように配慮されている。また、ポスターや新聞など書写学習の活用が取り上げられている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	巻頭に単元の基本構成が示されており、学習の流れを確認して学ぶことができる。各学年、教科書の教材と連携した内容が配置されており、互いの作品を交流することができる内容になっている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	学習の手順や説明がくわしく記載されているとともに、資料も多く掲載されており、配慮されている。また、「身のまわりの文字」という内容で看板や手書き風活字などの書体を紹介している。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実習等は、安全・衛生面が配慮されている。また、QRコードが掲載されており、実習時に画像や動画として活用できる。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は1ページの資料程度で扱っているため、生徒の負担過重にならないように配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	国語科の標準授業時数のうち、学習指導要領の内容の取扱いに示された書写の配当時数に応じた分量になっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	国語科の標準時数のうち、学習指導要領の内容の取扱いに示された書写の配当時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	偏りなく掲載されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。QRコードが示され、ICT機器を活用して、動画を視聴することができる。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展資料として「書の古典」があり、高等学校の学習内容であることが明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	図書に使用されている字体は、字の大小に関わらず鮮明である。手本として示されている字は、癖もなく、整った字である。	○	○

□書写の観点 教科書会社名（三省堂）

書写の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成することができる内容になっていること。	資料編「書式の教室」という章において、手紙やはがき、願書や送り状などの書式の例が示されている。さらに、各学年「やってみよう」の項目で新聞づくりや情報誌づくりなどに取り組む学習内容が掲載されている。また、常用漢字の楷書・行書の書き方が示されており、手本にない字について書くための参考になる手立てがある。	○	○
2	文字を正しく整えて速く書くことができる内容になっていること。	基礎編で小学校の学習のふり返りや姿勢、筆記具についてなどが示してあり、さらに、楷書、行書と書体の違いや使い分けを学習することで、文字を正しく整えて速く書く力を身に付ける構成になっている。	○	○
3	各学年で、硬筆及び毛筆を使用する書写の指導を行うことができる内容になっていること。	各学年で硬筆・毛筆ともに手本が掲載されており、3学年にわたり毛筆および硬筆の学習内容がバランスよく配置されている。	○	○
4	毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。	学習したことを確かめながら硬筆で書く「毛筆で学んだことを硬筆に生かそう」が多く設定されているとともに、毛筆の学習が硬筆の書写の基礎であることが明記されており、毛筆で学んだことを硬筆に生かせる内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（書写） 教科書会社名（ 教育出版 ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の内容を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	各学年生徒の発達段階に適切した教材の配列になっている。また、扱われている手本や活用例も、易から難の順に配列されている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	英語や数字、図、写真が混在した文章を、どのように整えて書くかといった、教科間の関連を意識した系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、各種掲示物や手紙、願書等の例も示されており、学校・日常生活の中で活用することができる。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	実用的な文章を整えて書くための、字のバランスやレイアウト、文字の色や筆記具の種類等、日常で書く活動に結び付けることができるように配慮されている。また、巻末の「情報を整理して、活動につなげよう」で課題の設定や情報の比較などの書写学習の活用が取り上げられている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	巻頭に「書写をとおして学んでいくこと」というページが設けられており、見開きで、どのようなことを学習するのか確認することができる。また、コラムでは書写に関する様々な情報が掲載されているため、生徒の関心や興味を引く内容になっている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	学習の手順や説明がくわしく記載されているとともに、資料も多く掲載されており、配慮されている。また、「多様な表現による文字」という内容で標識や看板などの書体を紹介している。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実習等は、安全・衛生面が配慮されている。また、QRコードが掲載されており、実習時に画像や動画として活用できる。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	どの単元も「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」「学習や日常生活に生かそう」という流れで構成されており、生徒の負担過重にならないように配慮されている。また、発展的な学習内容は1ページ資料として掲載されているのみである。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	国語科の標準授業時数のうち、学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示された書写の配当時数に応じた分量になっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	国語科の標準時数のうち、学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示された書写の配当時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	偏りなく掲載されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。QRコードが示され、ICT機器を活用して、動画を視聴することができる。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末に「芸術としての書道」という発展的な内容があり、高等学校での学習内容であることが明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	図書に使用されている字体は、字の大小に関わらず鮮明である。手本として示されている字は、癖もなく、整った字である。	○	○

□書写の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

書写の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成することができる内容になっていること。	「書式の教室」という章において、手紙やはがき、願書や送り状などの書式の例が示されている。さらに、2学年では「学習活動や日常生活に生かして書こう」という内容があり、場面や目的に応じた書き方の学習が8ページ掲載されている。また、常用漢字の楷書・行書の書き方が示されており、手本にない字について書くための参考になる手立てがある。	○	○
2	文字を正しく整えて速く書くことができる内容になっていること。	1学年で楷書の学習を通して字形や配列を整えることと行書の基礎、2学年で行書の学習を通して読みやすく速く書くこと、3学年で文字の表現や効果について学ぶ構成になっている。	○	○
3	各学年で、硬筆及び毛筆を使用する書写の指導を行うことができる内容になっていること。	各学年で硬筆・毛筆ともに手本が掲載されており、3学年にわたり毛筆および硬筆の学習内容がバランスよく配置されている。	○	○
4	毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。	学習したことを確かめながら硬筆で書く「生かそう」という項目が設けられており、毛筆で学んだ点画の特徴を、硬筆でも確認できる内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（書写）教科書会社名（光村図書）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の内容を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	各学年生徒の発達段階に適応した教材の配列になっている。また、扱われている手本や活用例も、易から難の順に配列されている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	英語や数字、図、写真が混在した文章を、どのように整えて書くかといった、教科間の関連を意識した系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、各種掲示物や手紙、願書等の例も示されており、学校・日常生活の中で活用することができる。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	実用的な文章を整えて書くための、字のバランスやレイアウト、文字の色や筆記具の種類等、日常で書く活動に結び付けることができるように配慮されている。また、ポスターやメモなど書写学習の活用が取り上げられている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	冒頭に「学習の進め方」として、「考えよう」「確かめよう」「生かさう」という形を示し、書写の授業の中でも、友達と話し合ったり、成果を確かめ合ったりする対話を通して学習活動を進める工夫がなされている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	学習の手順や説明がくわしく記載されているとともに、資料も多く掲載されており、配慮されている。特に「デザインと文字」について考える内容や、相手に応じた「文字の使い分け」からUD（ユニバーサルデザイン）書体についての内容が掲載されている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実習等は、安全・衛生面が配慮されている。また、QRコードが掲載されており、実習時に画像や動画として活用できる。さらに「書写ブック」という取り外し可能な分冊が準備されており、実習に有効である。	◎	◎
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は巻末に1ページ扱われているに過ぎず、平易な内容をイラストを用いて、高等学校での芸術科書道への学びの期待をもたせるようなものとなっており、生徒の負担過重にならないように配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	国語科の標準授業時数のうち、学習指導要領の内容の取扱いに示された書写の配当時数に応じた分量になっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	国語科の標準時数のうち、学習指導要領の内容の取扱いに示された書写の配当時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	偏りなく掲載されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。QRコードが示され、ICT機器を活用して、動画を視聴することができる。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末に芸術としての書道が取り上げられており、高等学校での学習内容であることが明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	図書に使用されている字体は、字の大小に関わらず鮮明である。手本として示されている字は、癖もなく、整った字である。	○	○

□書写の観点 教科書会社名（ 光村図書 ）

書写の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成することができる内容になっていること。	「日常に役立つ書式」という章において、手紙やはがき、願書や送り状など書式の例が示されている。国語やその他の学校生活に関連した作品例も掲載されている。また、常用漢字の楷書・行書の書き方が示されており、手本にない字について書くための参考になる手立てがある。	○	○
2	文字を正しく整えて速く書くことができる内容になっていること。	楷書の学習を通して「読みやすく書く」、次に行書の学習を通して「読みやすく速く書く」、そして相手に応じて「文字を使い分ける」という構成になっており、文字を正しく整えて書くという目的が明確になっている。易から難へと段階的に手本が配列されており、「書写ブック」を用いて硬筆と毛筆を関連させながら、指導することができる。	○	○
3	各学年で、硬筆及び毛筆を使用する書写の指導を行うことができる内容になっていること。	各学年で硬筆・毛筆ともに手本が掲載されており、3学年にわたり毛筆および硬筆の学習内容がバランスよく配置されている。	○	○
4	毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。	毛筆の学習の「生かそう」という項目で、学習したことを生かして、硬筆で書く内容が設定されている。また、本体から取り外すことができる「書写ブック」を活用することにより、毛筆で学習したことを硬筆に生かすことができる仕掛けとなっている。例えば、行書における点画の変化を毛筆で繰り返し練習して理解した後、対応する「書写ブック」のページで、硬筆で他の様々な点画の変化に注意して行書で書くような学習の流れになっている。	◎	◎

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 社会（地理）

調査研究の視点と主な審議内容

□各教科共通の観点について

2 使用上の便宜

	観点	調査研究の視点と主な審議内容
イ	読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	<p>◎【東書】【帝国】→調査会の評価どおり 生徒に説明させたりするなど言語活動の充実に配慮されているとともに、生徒が主体的に考えをつくったり、深めたりすることができるような構成となっている。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・内容等を覚えていくような学習であった印象が強いが、どの出版社も生徒に考えさせる仕掛けが取り入れられている点がよい。</p> </div>

□社会の観点について

すべての観点において調査会の評価どおり

□各教科共通の観点（地理的分野） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の範囲及び程度 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	各章や各節の単元を貫く問いが、教科の本質に迫るもの(なぜ疑問が中心)になっており、生徒が考える上で着想を得やすくとも扱いやすい。(P73の「アジア州はなぜ急速に経済が成長してきたのか」など)	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	各単元の最初に小学校で習ったことばが表記されており、円滑な接続を意識したつくりになっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いになっている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	第2編第1章の単元の配置が具体的な内容(寒い地域のくらし等)を行った後に全体的な内容(世界に見られるさまざまな気候)という順序の配列になっており、工夫がみられる。また、他教科との関連を示す記載がある(P162)	◎	◎
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各授業の終末部分が「説明しよう」という形になっている。また、本文を読み解く作業を助ける問いの設定や、資料の読み取りを促す問いの設定がある。また、章末に単元を貫く問いが提示され、対話が促されるように設計されている。(P195など)	◎	◎
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各単元において、学習課題の例示がされており、まとめにおいて生徒にどのような力をつけさせたいかが明確に示されている。第3章日本の諸地域の学習において、それぞれの地域においてのまとめ方は図示されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	本文を中心に互いの個性や価値観などの違いを理解しようとする配慮がなされている。また、持続可能な社会の実現に向けての視点で構成される本文、特設のコラムには、人権や文化を軸に多文化理解を促す内容がある。(P50地理にアクセスなど)多様性の理解の助けがあり、学習の展開においても多様な意見が表出しやすい。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	地域調査の手法のページは内容が1つの地域を軸に構成されている。これにより、単元の見通しが立ちやすく、よく配慮されていると考える。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	過重な負担にならないように配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りはなく調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	各ページごとに必要な図等が適切に配置されている。学習の終末に図から読み取れることを説明させるなどの活動を指示している。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容について本文としっかりと区分されており、生徒の過重な負担にならないように配慮されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	本文のフォントが太字(ゴシック調)と通常の文字との差異や発色がやや抑え気味である。	○	○

□社会の観点（地理的分野） 教科書会社名（ 東京書籍 ）

社会の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	課題を追究したり解決したりする活動を促す工夫が随所にみられる。「地理的な見方・考え方」を活用するコーナーを本紙中にまんべんなく配置している。そのため、毎時間の活動で見方や考え方を働かせて課題解決に取り組ませることができる。(P191など)	◎	◎
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめることができるように、ウェブマップ等の思考ツールを活用することを例示している。また、技能の習得を狙った「スキルアップ」のコーナー(P63など)で活用の技能の向上を促している。「読み取る」「集める」などの基礎的・基本的な内容から、「まとめる」といったやや発展的な内容もある。また、領土問題を扱う単元については、適切に記載されている。	◎	◎
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	第3章日本の諸地域の学習において、追究する視点を示しつつも多面性を重視した記述になっている。また終末における「探究課題を解決しよう」というコーナーの問いが「なぜ疑問」となっており、思考・判断したことを説明し、議論をしやすいように工夫されている。(P207の中国・四国地方ではなぜ交通・通信網が重要な役割を果たしているかなど)	◎	◎
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	世界の諸地域の内容中には日本との関連や日本の視点など、生徒が主体的に課題に向かう手助けとなり得る記載がある(P122)。また、持続可能な社会の実現の視点で環境や防災などの視点で書かれたコラムがあり、よりよい社会の実現に取り組むために必要な資質を備えさせる上で効果的であると考えられる。	◎	◎
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	P6などの各章のはじめのページに「小学校の社会で習ったことば」というコーナーがあり、小学校の社会科との有機的な関連を図ろうとする工夫が見られる。また、各単元の始めに小学校で学んだ内容を写真を用いて振り返りやすくする工夫が見られる。	○	○
地理的分野	1 地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1)我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、地理に関する情報を調べまとめる地理的技能を身に付けるようにする。 (2)地理に関わる事象について、位置や分布、場所、人自開然と環境との相互依存関係などに着目して、考察する力、地理的課題の解決に向けて公正に選択・判断する力、説明し、議論する力を養う。 (3)日本や世界の地域に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。	我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を追究するための問いが明確に示されている。また、スキルアップというコーナーを設け、地理的技能を身に付けさせようとしている。地理に関わる事象についての相互の関係をまとめるための方策などをしっかりと示している。公正に選択・判断する力、説明し議論するなどの活動を助けるコーナーが概ね各単元に設定されている(P255)。各単元の構成が、課題を主体的に追究できるように工夫されている。コラムやコーナーの記載が生徒が自分たちの問題として地理的事象と向き合うことができるように工夫されており、多様な生活文化への理解を助けることができると考える。	◎	◎
地理的分野	2 日本の諸地域の学習においては、学習する地域ごとに①自然環境を中核とした考察の仕方、②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、③産業を中核とした考察の仕方、④交通や通信を中核とした考察の仕方、⑤その他の事象を中核とした考察の仕方の一つを選択し、少なくとも一度は取り扱うことができる内容になっていること。	各考察の仕方を網羅している。各地方を概観することから始まり、地方の地域的特色を学ぶ上で効果的な中核に結び付けやすい。	○	○

□各教科共通の観点（地理的分野） 教科書会社名（ 教育出版 ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の 範囲及 び程 度 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	関心・意欲に沿って知識・技能を習得させる意図が、各ページに配置された学習課題の設定や確認を促す記載からわかる。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	小学校で学習した内容と活用してきた社会科の見方・考え方を振り返るページが設けられている。接続を意識したページで振り返りと中学校社会科地理的分野を展望する構成がある。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いになっている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	ページの下部に社会科の他分野との関連を示す記載がある。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各ページに考えをまとめたり、議論を促したりする問いが設定されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各節で学習課題が提示されている。課題解決に向けて学習を進めることが期待される。しかし、「学習課題」、本文、掲載資料と「確認」「表現」との結びつきが弱い。(P58～P59など)	△	△
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	他国を尊重したり、国際的な視点から情報を読み解いたりする学習が仕組まれているため、多様性を受容する態度の育成にかなっている。今日的な課題が資料等で提示され、持続可能性を意識することができる。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	世界の諸地域のまとめのページでは身近な題材をもとに作成されたレポートの例が提示されている。また、「地域調査の手法を学ぼう」の単元では、名古屋市を例に調査活動の手引きが示されている。福岡市に暮らす生徒にも使いやすいと考える。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	過重な負担にならないように配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りはなく調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	基礎的・基本的な知識や技能の着実な定着を図るとともに、コラムなどを挿入することで個人やグループでの活動に対応している。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	学習を深めることを狙った特設ページがある。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	教科書として見やすく配慮されている。	○	○

□社会の観点（地理的分野） 教科書会社名（ 教育出版 ）

社会の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	国際社会を意識した多角的な立場からの記載がなされている。地域調査では、公共的な活動に取り組む人々が紹介され、公民的資質の基礎を育成する狙いが読み取れる。	○	○
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	資料読み取りの技能を高めるための工夫として、掲載の統計資料に合わせて問いが出題されたり課題が提案されたりしている。教科書を開くことで生徒に生じる疑問に対する回答が記載されている場面もある。(P40など)また、領土問題を扱う単元については、適切に記載されている。	○	○
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	章末や節末に振り返りを促すページやコーナーが設けられている。生徒に思考・判断を求めるものや対話的な学習活動を求めるものが提示されている。	○	○
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	P173よりはじまる「日本の諸地域」の単元では、地域社会が抱える課題等を捉えやすくする工夫として、人々の姿が焦点化されている。これにより、郷土への関心や参画への意欲喚起が見込める。地域のあり方では、様々な地域を例示しながら自分たちの地域の課題に向き合うことが求められている。主体的な社会参画が促されている(P196)。また、福岡市についての記述が本文に取り上げられている(P176)。	◎	◎
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	日本のさまざまな地域の中で持続可能な社会の実現が意識され、そのような社会に向けて解決すべき課題の提示や、解決に向けて取り組む人々の紹介が記載されている。公民的分野に向けた接続、学習の展開が意識されている。	○	○
地理的分野	1 地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1)我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、地理に関する情報を調べとめる地理的技能を身に付けるようにする。 (2)地理に関わる事象について、位置や分布、場所、人自開然と環境との相互依存関係などに着目して、考察する力、地理的課題の解決に向けて公正に選択・判断する力、説明し、議論する力を養う。 (3)日本や世界の地域に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。	地理的技能の習得に向けて、特に読図や統計の読み取りについては、「地理の技」というコラムを適宜設けて、地域の諸事情や地域的特色の理解を助ける内容になっている。地理的な見方・考え方を働かせて考察したり、説明したりする工夫として、資料読み取りの問いが設けられている。(各章に一つ程度)世界の諸地域では、日本との関連についての記載がある。日本との関連を意識しながら、課題に沿って学習を展開できる。	○	○
地理的分野	2 日本の諸地域の学習においては、学習する地域ごとに①自然環境を中核とした考察の仕方、②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、③産業を中核とした考察の仕方、④交通や通信を中核とした考察の仕方、⑤その他の事象を中核とした考察の仕方の一つを選択し、少なくとも一度は取り扱うことができる内容になっていること。	日本の諸地域学習においては、地域ごとに適切に内容が設定されている。	○	○

□各教科共通の観点（地理的分野）教科書会社名（帝国書院）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	節の学習を振り返る内容が教科の目標に結びつく内容になっている。また、一時間の授業で想定される「生徒につけさせたい力」が、何を説明させたいかという形で示されている。特に、章末のまとめに学びの振り返りが位置付けられ、社会科の見方や考え方を活用する思考ツールなどが紹介されている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	小学校で学習した内容を振り返る記載がされている。地図や統計資料、イラストや写真など、生徒に生じた疑問を解決していく助けとなる掲載物が十分にある。また、生徒が疑問に思うことを想定して構成されていることがわかる。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	関連を図ることを促すような仕組みが各ページの下部に記されている。そのため、既習の内容との関連や他分野との関連を捉えやすい。発展的な指導については、紙面で分かりやすくあらわされている。	◎	◎
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒に説明させることに軸を置いており、言語活動の充実に配慮されている。特に、持続可能な社会をつくるためにという共通一貫したテーマが設けられており、このテーマに沿って対話が促されて、各節の学習内容から自分たちに行うことができることややすきことに考えが発展するように設計されている。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	P170の日本の諸地域において、地域の特色とはどのようなものなのかを図示している部分が導入としてよく配慮されている。さらに、ところどころ二次元コードが配されており、生徒の興味・関心を生かす工夫がされている。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	世界の諸地域の学習では、日本との結びつきが意識できる記載が多い。そのため、グローバルな視点や日本と異なる立場や状況から考えさせることができる。個に応じた指導への配慮については、章末の振り返りの際に、写真などの特徴を捉えやすい資料を参考に文章を作らせるといった工夫がなされている。(P184など)	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	P285以降の「地域の在り方」の単元において、実習の方法などが丁寧に示されている。また、生徒が身近に感じることができる特徴や生徒の生活に即した調査活動が設定されている。福岡市と類似した地域が例として挙げられている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切な分量である。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	各ページごとに必要な図等が適切に配置されている。学習の終末に図から読み取れることを説明させるなどの活動を指示している。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	○	○

□社会の観点（地理的分野） 教科書会社名（ 帝国書院 ）

社会の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	巻頭7に「地理的な見方・考え方について」と大きく明示されていることが特徴。各章のはじめには単元を貫く問いを例示している。各章のまとめにおいて、その問いがどの地理的見方・考え方を働かせたものなのかを説明している。また、日本とのつながりが意識された内容が記載されている。	○	○
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	各ページに豊富な資料を掲載しており、その資料の扱い方なども、「技能をみがく」というコーナーにおいて丁寧に説明している。(例えばP45など)また、二次元コードを活用することによって、資料読み取りや分析に必要な技能の獲得を助けることができる。情報を効果的にまとめることを促す問いの設定も多くなされている。また、領土問題を扱う単元については、適切に記載されている。	◎	◎
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	P129のオセアニア州のまとめの「ステップ3」などにおいて、多文化社会を維持・発展するためにはどのような取り組みを行うとよいのだろうかという問いを例示し、生徒に議論させるように促す工夫が見られる。また、各章に適切な問いが設定されている。そのため、興味関心に即して課題を見出すことができる。	◎	◎
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	社会的事象の多面性や多角的な見方を促す課題設定や内容記載が見られる。これによって生徒が多様な考えをもち、対話的な学習を展開しやすい構成になっている。その過程で選択・判断が求められ、その根拠を説明する場面を設けることができる。特に、第4部(P285)において、地域社会の在り方を追究する単元が設けられている。また、課題から解決までの流れを見開き1ページごとに分けて示している。福岡市についての記述が本文に取り上げられている。(P180)	◎	◎
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	小学校で既習した内容を振り返ることができるように、絵などを効果的に使っている。公民的な学習を持続可能な社会づくりに向けた学習とすることで、地理的分野の中の各所に設けている持続可能な社会に向けた内容と関わりを持たせている。	○	○
地理的分野	1 地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1)我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域の特徴を理解するとともに、地理に関する情報を調べまとめる地理的スキルを身に付けるようにする。 (2)地理に関わる事象について、位置や分布、場所、人自開然と環境との相互依存関係などに着目して、考察する力、地理的課題の解決に向けて公正に選択・判断する力、説明し、議論する力を養う。 (3)日本や世界の地域に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。	「技能をみがく」のコーナーなどで、地理的スキルを身につけさせようとする工夫が見られる。地理的事象の相互関係などを説明させるために、ウェビングマップ等(P185)の思考ツールを活用させる工夫をしている。また各章のまとめにおいて、生徒に議論を促すための「問い」を明確に投げかけている(P107)。課題を主体的に追究、解決する態度を養うために、章の導入に「追究する視点」が設けられている。	◎	◎
地理的分野	2 日本の諸地域の学習においては、学習する地域ごとに①自然環境を中核とした考察の仕方、②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、③産業を中核とした考察の仕方、④交通や通信を中核とした考察の仕方、⑤その他の事象を中核とした考察の仕方の一つを選択し、少なくとも一度は取り扱うことができる内容になっていること。	第3章の導入部分(P170)の下部に地域ごとの視点が一覧表で示されており、わかりやすい。①～⑤の内容を各地方ごとに必ず一つは採用している。	○	○

□各教科共通の観点（地理的分野） 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	学習指導要領の内容に準じた構成になっている。教科の目標達成に結び付きうる内容構成である。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	必要な場合には、各ページに小学校の学習との接続を促す記載がある。生徒の発達段階を想定した疑問が想定されている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いになっている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	小学校の各学年での学習との適合や社会科の他分野との関連について適宜記載されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	情報活用能力の育成について必要な技能の習得を助ける項目が適宜記載されている。節末に必ずまとめたり、説明したりを求める問いが設定されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各章のすべての節で学習課題と課題解決の手掛かりとなる地理的な見方・考え方、その見方や考え方を働かせる問いと課題に対するまとめの活動が提示されている。このため、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を前提とした問題解決的な学習を設定しやすい。また、主体的・対話的な学びへの発展を助ける思考ソールの紹介や活動の例示がなされている。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	学習内容をより深めていくことを狙った記載があり、多様な意見の表出が期待できる内容になっている。互いの多様性を認め合いながら進める学習にふさわしい内容である。また、今日的な課題であるため、持続可能な社会の実現を目標として進めることができ、持続可能な社会の創り手の育成にもかなう。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	生徒が自分で考えたり、対話的な学習の中で課題解決を進めたりするための具体的な問いや活動が例示されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	適切に配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りはなく調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	道徳との関連が分かる工夫が自然愛護や伝統・文化の内容で見られる。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	地理プラスαのコーナーで、発展的な内容を区別して取り扱っている。	○	○
5	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	教科書として見やすく配慮されている。	○	○

□社会の観点（地理的分野） 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

社会の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	巻頭の見開きに「社会的な見方・考え方」とはどのようなものなのかが大きく記載されている。そしてこの「見方・考え方」が全ての単元に反映されており、扱いやすい。(P2など)	◎	◎
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	資料の扱い方や写真の読み取り方を丁寧に解説している。また、スキルアップのコーナーなどで効果的に調べたりまとめたりする技能を身につけられるようになっている。また、領土問題を扱う単元については、適切に記載されている。	○	○
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	P115のアクティビティで「私たちのまわりの多文化共生を考えよう」というテーマで議論させるように促しているなど、多文化共生について配慮した内容となっている。	○	○
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	第4章地域の在り方の単元において、地域の課題をみつけ主体的な課題解決を促すように工夫された内容になっている。また、他国の文化を尊重するような記載もある。	○	○
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	各章のはじめに小学校で学習した内容に関する記述があり、教員による既習知識の確認がしやすくなっている。	○	○
地理的分野	1 地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1)我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、地理に関する情報を調べまとめる地理的技能を身に付けるようにする。 (2)地理に関わる事象について、位置や分布、場所、人自開然と環境との相互依存関係などに着目して、考察する力、地理的課題の解決に向けて公正に選択・判断する力、説明し、議論する力を養う。 (3)日本や世界の地域に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。	地域の諸事象や地域的特色をとらえさせ、地理的技能を身につけさせる工夫が随所に見られる。地理に関わる事象について、単元を振り返る時間において、まとめの方法や課題を解決するための「問い」や議論の仕方の例示などと良い。(P205など)	○	○
地理的分野	2 日本の諸地域の学習においては、学習する地域ごとに①自然環境を中核とした考察の仕方、②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、③産業を中核とした考察の仕方、④交通や通信を中核とした考察の仕方、⑤その他の事象を中核とした考察の仕方の一つを選択し、少なくとも一度は取り扱うことができる内容になっていること。	地域ごとにしっかりとテーマが分かれており、それぞれの地域の社会的課題も明示されている。(P163)	○	○

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 社会（歴史）

調査研究の視点と主な審議内容

□各教科共通の観点について

2 内容に関する配慮事項

観点		調査研究の視点と主な審議内容
オ	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	<p>◎【山川】→調査会の評価どおり</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートにまとめる際の資料等の活用に関して、著作権法について取り扱っているものがあり、他の分野との関連についても考慮されている。 </div>

□社会の観点について

観点		調査研究の視点と主な審議内容
4 共 通	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	<p>◎【東書】【帝国】【学び舎】→調査会の評価どおり</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的分野では、学習する内容が多いため、QRコードなどが充実しているのはよい。 ・福岡に関するものが多く掲載されていることは、生徒が歴史に興味をもつきっかけになる。 </div>

□各教科共通の観点（歴史的分野） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の範囲及び程度 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	社会科の目標に結びつく内容を網羅している。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適合していること。	第1章で小学校までの学習をイラストで振り返ることができる内容であり、円滑に接続できる。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 内容に関する配慮事項 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	教科関連マークや分野関連マークが明示されている内容では、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	◎	◎
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各章に「課題の追求を深めるコラム・活動・マーク」が記されており、対話的な活動や歴史の学習を深めるための基礎的・基本的な技能を身につける活動、歴史的事象の見方・考え方を活用して考察する活動など、言語活動の充実が十分に図られている。	◎	◎
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各章の導入の活動では、章の学習を貫く課題を立て、本文や特設のページでは基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、探究課題に取り組む。章末のまとめでは時代を大観して章の学習をまとめる活動が位置づけられている。効果的に協働的な学習ができるように配慮されている。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸問題を理解しながら課題解決に向かう学習内容が充実している。また、第7章ではSDGsを取り上げ、課題解決に向かう態度を養うことができる内容になっている。また、部落差別の記述では、中世の被差別民や近世の身分差別、近代以降の部落差別を適切に捉えることができる。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	インターネット利用上の注意や、震災や災害の写真に関する指導上の配慮がなされている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習の進度に応じて、「もっと歴史」や「資料から発見！」などの特設ページが設けられている。通史学習で理解した内容をより深めるために、資料の読み取りや話し合い、考察といった活動を深めることが可能である。	○	○
3	ア 分量 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものとなっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	近現代史に重点を置くなど各単元の扱いに軽重をつけることで、生徒がじっくり追究しながら充実した学習ができるよう配慮されている。	○	○
4	ア 使用上の便宜 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	各単元ごとの学習内容に応じて、必要なことを読み取るための史料、写真、地図、統計資料等は適切に配置されている。「Dマークコンテンツ」がついている内容では他教科の関連する教科書をインターネットを使ってみるができるよう配慮されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「もっと歴史」では、本文との関連が深い内容を、見開き2ページで学習できるように区別されており、ページ上部には関連するページ番号や、地理や公民の関連ページを二次元コードで示している。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	すべての文字にユニバーサルデザインフォントを採用し、印刷も鮮明である。本文のフォントは明朝、重要用語は太字ゴシックであり、目につきやすい。	○	○

□社会の観点（歴史的分野） 教科書会社名（ 東京書籍 ）

社会の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	授業における「問い」を軸に授業が進められるように工夫されている。単元を貫く問いを「学習課題」として単元全体で設定し、章ごとに課題解決の補助的な問い、1時間授業ごとには「学習課題」が設定されている。生徒が「見方・考え方」を用いて課題解決に導くことができる内容になっている。特に、まとめの活動では、様々な思考ツールを活用しており、史資料を根拠に意見交換ができる内容になっている。	◎	◎
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	「資料から発見」では、資料読解の技能を高めることができる内容になっている。また、「スキルアップ」では、学習に必要な技能を「集める」「読み取る」「まとめる」の3つの側面に設けており、アイコンで示すことでそれらの技能を効果的に身につけることができるような内容になっている。領土に関しては、歴史的経緯が分かるようにまとめられている。	○	○
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	「みんなでチャレンジ」が設けられており、ここでは本文での学習内容を確実に理解させ、話し合いなどの対話的学習を通じて学習を深めることができる内容になっている。また、「もつと歴史」では、本文の学習内容をもとに、学習内容を深化させたり、異なる視点で事象を捉えたりできる学習が構成されている。	◎	◎
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	SDGsの「伝統・文化」の視点から、「比較」の見方・考え方をを用いて文化に対する理解を深める態度を育成できる内容になっている。福岡に関する事項では、「地域の歴史を調べよう」の「大陸への玄関口・福岡」を扱っており、福岡市博物館や板付遺跡弥生館が紹介されている。	◎	◎
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	第2章から7章の導入の活動には、小学校で学習した人物の名前や文化財の資料、用語をマークで示し、小・中の学習を系統的に展開できる内容になっている。また、二次元コードが記載されたページでは、地理・公民の関連ページをインターネットで直接見ることができるようになっており、分野間の横断的な学習を支援できる内容になっている。	◎	◎
歴史的分野	1 歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、説明する力、議論する力を養う。 (3) 歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	各章や節の頭に世界の歴史を学習し、その後日本の歴史を学習できる内容になっており、地図や資料など、資料も十分にみられる。「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、気づいたことや疑問に思ったことを話しあったり、探したりすることで小集団での協働的な活動が実践できる内容になっている。オリンピックの発展と日本の関わりを紹介し、国際協調の重要性や多様性への理解を深める内容になっている。	○	○
歴史的分野	2 各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	時代を大観し、大きな転換期となる事象を客観的にとらえ、基礎的・基本的な事象を重点的に学習・考察できる内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（歴史的分野）教科書会社名（教育出版）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の範囲及び程度 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	社会科の目標に結びつく内容を網羅している。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	第1章「歴史にアプローチ」では、小学校で活用した「社会科の(社会的な)見方・考え方」を振り返るとともに、歴史学習の中で自覚的に見方・考え方を働かせるための方法を学ぶようになっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	「各分野の目標、内容、内容の取扱い」をふまえ、歴史的分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項が的確に押さえられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	分野ならではの「見方・考え方」を明確にし、一貫した編集となっているため、他の分野や教科との横断的・連携的なカリキュラムの立案がしやすい構成となっている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	毎時間、学習課題と対応させた「確認」(基礎的事項の確認・整理)「表現」(段階的な説明や話し合い等の表現活動や各章末の「学習のまとめと表現」で時代の特色を自分なりの言葉で説明する活動が設定されている。	○	○
	ウ 内容に関する配慮事項 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	導入の「学習を始めよう」で資料が大きく掲載され、生徒が自ら資料を読み取りながら、学習を進められるよう工夫されている。見開き1ページのタイトルは、学習内容を象徴的にイメージさせる主題と、学習事項を示す副題をおき、併せて「学習課題」を明示することで、生徒が課題意識をもって学習に取り組めるよう工夫されている。各章の冒頭に「まなびリンク」があり、ウェブサイトで学ぶことができる。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	同和問題は、中世のけがれについて触れ、歴史的・科学的な認識が深まるよう配慮されている。「歴史を探ろう」で、大戦期に生きた多様な人物に焦点を当て、時代像や個人の生き方について考察が深まるよう構成されている。女性やアイヌ民族・沖縄がおかれていた立場についても理解を深めるよう留意されている。「歴史学習の終わりに」でこれからの社会を築くにあたって自分たちができること考察・構想する構成になっている。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	第1章に「地域調査の手引き」が7ページ紹介されており、観点や学び方の手掛かりが示されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	各章にある「歴史を探ろう」と「身近な地域の歴史を調べよう」は、通史学習で理解した内容を視点を変えて捉えなおし、考察がより一層深まるように構成されている。	○	○
3	ア 分量 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものとなっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	近現代史に重点を置くなど各単元の扱いに軽重をつけることで、生徒がじっくり追究しながら充実した学習ができるよう配慮されている。	○	○
4	ア 使用上の便宜 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本編ページの各資料には、指示しやすいように通し番号を付け、本文中にも資料との関連がわかるよう資料番号が挿入されている。難解な用語や補足説明の必要な箇所には、側注や「◆解説」による説明を設け、生徒の理解への一助となるよう配慮されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	本文の学習から興味や関心を広げていくコラム「歴史の窓」が19ある。また、歴史を様々な側面から掘り下げていく20のテーマ学習のページ（「歴史を探ろう」14か所、「身近な地域の歴史を調べよう」7か所）が充実しており、個人やグループで学びを深めていくことへの対応を保障している。	◎	◎
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色(カラーユニバーサルデザイン)やレイアウト、表現方法、文字(ユニバーサルデザインフォント)などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮している。紙面は、ワイドで見やすいAB版で、授業展開や学習の見通しがつかみやすい「1時間＝見開き2ページ」で構成されている。	○	○

□社会の観点（歴史的分野） 教科書会社名（ 教育出版 ）

社会の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	我が国に受け継がれて祭りや芸能、人権の獲得に尽くした人々、民主政治の来歴、グローバル化の進展と異文化交流、地域社会に参画する人々の事例などが取り上げられ、地理や公民での学習に生かせるように構成されている。	○	○
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	本文の学習の中に、「歴史の技」コーナーが適宜(8か所)設けられ、資料の活用に関わる問いを通じて、歴史学習の基本的な技能を身に付けられるよう配慮されている。第7章の歴史を探ろう「隣国と向き合うために」で、我が国の領土をめぐる今日的課題やその歴史的経緯について認識を深め、自国とともに他国も尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらっている。	○	○
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	本編ページの最後に「確認」を受けて学習したことをもとに表現する「表現」のコーナーが設けられ、学習事項の定着と活用が図られるよう構成されている。また、学習の流れに即して「読み解こう」や「Q」のコーナーが適宜設けられ、地図・グラフ・絵・図解などの資料を読み取って考察する学習活動が重視されている。	◎	◎
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	古墳や寺院、石塁等福岡県の郷土史に関する記述がコラムや脚注の写真等で8か所紹介されており、地域の歴史の理解を深める学習活動が展開できる。	○	○
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	小学校で学習した歴史上の人物や文化遺産を振り返りながら、時代区分や年表の見方を確かめる活動や、身近な地域の歴史を調べる学習の例示などを位置づけ、第1学年へのスムーズな接続が図られるよう工夫されている。特設ページの脚注部に、「関連マーク」を付けて分野間の学習の連携や振り返りを図る工夫がある。第7章の最後に、現代社会の課題と自分との関わりを考察する学習課題が設定され、公民的分野への橋渡しが図られるよう構成されている。	◎	◎
歴史的分野	1 歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、説明する力、議論する力を養う。 (3) 歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	各節の単元構成を、基本的に「世界の動き→日本の動き」の順で配列し、時代背景を大局的におさえながら学習できるよう配慮されている。各章末の「学習のまとめと表現」のページで、歴史的な見方・考え方を働かせて、時代の特色を自分なりの言葉で説明する活動が取り入れられている。巻頭の「私たちにつながる歴史」をはじめ、本文や特設など多様な教材を通して、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うとしている。	◎	◎
歴史的分野	2 各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	各時代の文化史の記述の充実しており、代表的な文化遺産が豊富に掲載されている。特に国宝・重要文化財・世界遺産にはマークが付けて紹介している。	○	○

□各教科共通の観点（歴史的分野）教科書会社名（帝国書院）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	社会科の目標に結びつく内容を網羅している。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	第1部「歴史のとらえ方と調べ方」には、小学校の学習指導要領で示されたおもな人物や出来事をを振り返るイラストや年表が設けてあり、中学校での歴史学習に向けた橋渡しとなるよう配慮されている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	「歴史的な見方・考え方」を整理したページを設け、「タイムトラベル」や「章の学習を振り返ろう」の作業学習で「歴史的な見方・考え方」を働かせることを促し、社会的事象を多面的・多角的に考える力が身につく構成になっている。	◎	◎
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	分野ならではの「見方・考え方」を明確にし、一貫した編集となっているため、他の分野や教科との横断的・連携的なカリキュラムの立案がしやすい構成となっている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	章・節・各本文ページそれぞれの冒頭に、単元を貫く問いや学習課題を設けている。「確認しよう」「説明しよう」等、毎時間言語活動を備えた学習の振り返りの場面が着実に備えられている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	教科書の冒頭に「この教科書の学習のしかた」「タイムトラベルの学習のしかた」が掲載されている。また、二次元コードで学習内容に関連する動画や「章の学習を振り返ろう」の解答などが閲覧でき、生徒が自学自習しやすい工夫されている。3か所に設置された「多面的・多角的に考えてみよう」では、協働的な学びができるよう提示されている。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	コラム「未来に向けて」において、「人権」が17テーマ、「平和」が8テーマ設置されている。特に同和問題は、中世のけがれから近世・近代の歴史的な事象を網羅している。また福岡人権8課題にあたる高齢者や子ども、女性、外国人、人種差別や先住民について触れられている。「未来に向けて」でSDGsについて、社会的な課題として主体的・対話的に考えられる工夫がなされている。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	第1部「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では、地域社会の方々の協力を得て調査を進める機会を設けており、将来の連携・協働に向けた態度が養えるようになっている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	当時の社会の様子について掘り下げる特設「歴史を探ろう」が12か所設けられている。特に日本の伝統や文化の背景について、「疑問」に学習課題が明示され、多面的・多角的に理解を深めるよう構成されている。また本文中の主な関連事項と関連ページが明示されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものとなっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	近現代史に重点を置くなど各単元の扱いに軽重をつけることで、生徒がじっくり追究しながら充実した学習ができるよう配慮されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習内容が定着するよう「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」という展開で統一し、構造化されている。本文と資料の関連する箇所には、図・写真や他ページへの適切な参照指示が記載され、学習効果を高めるとともに、効率よく資料の活用ができるよう工夫されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	当時の社会の様子について掘り下げる特設「歴史を探ろう」が12か所設けられている。本文との関連を「主な関連事項と関連ページ」として明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	本文や図版は、誤読を防ぐようユニバーサルデザインフォントが使用されている。資料はカラーユニバーサルデザインの配慮がなされている。図版が色で囲まれ、どこまでが同一の図版か読み取りやすい。各見開きのデザインは、本文・資料・側注が統一したレイアウトで整理されている。見開きごとに学習内容の時期を着色した年表が右端に設置され、一目で学習している時代がわかるよう配慮されている。	○	○

□社会の観点（歴史的分野） 教科書会社名（ 帝国書院 ）

社会の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	単元を貫く「章の問い」「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、節末や章末の「問いを振り返ろう」等、問いが構造化され、単元を通してそれぞれの問いを考えていくことで、課題解決的な学習ができる構成になっている。特に「章の問い」に対して「歴史的な見方・考え方」を考えるステップなどは、課題解決的な学習ができる工夫がなされている。	○	○
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	「技能をみがく」コーナーが12か所設けられており、史料読解や聞き取りからの情報収集や多面的・多角的な分析の力が養えるようになっている。また、本文ページ中の各種写真・統計類においても、「資料活用」の問いを設けており、習得した技能を、生徒自身が日頃から磨いていけるよう工夫されている。領土問題については、日本の領土確定と領有をめぐる諸課題について歴史的経緯がわかるようまとめられている。	○	○
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	主体的・対話的で深い学びの実現をねらった活動をおこなう特設「多面的・多角的に考えてみよう」(3か所)、及び「多面的・多角的に構想する 未来に向けて」(最終単元)が設定されている。社会に見られた課題に対する当時の様々な立場や選択を通して、多面的・多角的な考察を深める構成になっている。	◎	◎
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	中央とは異なる地域の姿を描いたコラム「地域史」が18か所設けられており、我が国の伝統や文化への理解を多面的・多角的に深める工夫がある。当時の社会の様子について掘り下げる特設「歴史を探ろう」に「東アジアに開かれた窓口 博多」が大きく2ページにあたり紹介されている。	◎	◎
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	各時代冒頭の「タイムトラベル」に「小学校で学んだ主な出来事」の年表が設置され、小学校で学んだ人物と出来事を確認することができる。本文ページ下段に「小学校・地理・公民との連携」コーナーがあり、関連用顔が提示されている。積極的な地図が取り入れられており、地理的分野との接続が考慮されている。「環境」「交流」「人権」「平和」等、現在及び将来の社会が直面する課題の歴史的経緯を取り上げたコラム「未来に向けて」が43あり、公民的分野への接続が考慮されている。	◎	◎
歴史的分野	1 歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1)我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、説明する力、議論する力を養う。 (3)歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	イラストを駆使して外国の歴史や文化に興味・関心がもち、日本への影響や関連がわかる整理・工夫されている。毎時間の「説明しよう」でくり返し言語活動をおこない、各章末で「歴史的な見方・考え方」を働かせ、単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する課題が設けられている。また特設「多面的・多角的に考えてみよう」[3か所]で資料をもとに生徒が自分なりに思考・判断し、表現できるようにしている。日本の歴史に足跡を残した人物を紹介する「人物コラム」のコーナーが側注欄に49名分設けられ、歴史により親しみもてるよう工夫されている。	○	○
歴史的分野	2 各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	各時代の文化史の記述が1単元4ページと充実している。文化財などの写真が豊富に掲載されており、本文では文化の担い手となった人々の努力や工夫などが描かれている。琉球やアイヌの人々についての記述が充実し、多文化が尊重される社会を意識できるよう配慮されている。	◎	◎

□各教科共通の観点（歴史的分野） 教科書会社名（ 山川出版社 ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の範囲及び程度 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	社会科の目標に結びつく内容を網羅している。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	小学校の内容をふり返る内容がとり上げられている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 内容に関する配慮事項 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	日本国憲法の学習やなど、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	博物館や公文書館で詳しく調べることができるように、二次元コードが記されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	多様な体験的な学習方法として、文献調査・フィールドワーク・インターネット検索・聞き取り調査などを第1章に設けている。イラストで対話的な学びを想起させ、「自学・とも学」を効果的に行うことができるような内容になっている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	課題や発問から、生徒一人ひとりが課題を追究できるように配慮されている。中世の日本において、アイヌ民族の歴史と文化や琉球について、特設4ページにて記載されている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	「身近な地域を調べよう」では、レポートのまとめ方で著作権法での禁止事項に触れており、安全面や注意事項への配慮が十分になされている。	◎	◎
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」のページで、課題や発問を提示することで、生徒一人一人が課題を追求できるよう工夫されている。	○	○
3	ア 分量 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものとなっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	近現代史に重点を置くなど各単元の扱いに軽重をつけることで、生徒がじっくり追究しながら充実した学習ができるよう配慮されている。	○	○
4	ア 使用上の便宜 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	史料は一次資料が多く掲載されている。高校世界史・日本史の学習との関連性は十分に確認できる。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	本文のテーマでは扱いきれない内容を「歴史へのアプローチ」で示している。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	本文のフォントサイズがやや小さく、1ページ当たりの文字数が多い。色彩はカラーユニバーサルデザインを採用しており、鮮明に印刷されている。	○	○

□社会の観点（歴史的分野） 教科書会社名（ 山川出版社 ）

社会の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	知識の理解を深めることや、個人の探究活動を深めることに関しては十分な内容であるが、社会的な「見方・考え方」を働かせて、課題追究や課題解決に向かう活動ができる内容は十分ではない。世界史の学習を通して、日本の歴史を学習することで、グローバルな視点から公民としての資質・能力を育成できる内容になっている。	○	○
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	領土問題や植民地問題について、最も深く学習を進めることができる内容になっている。特に近現代ではグラフや表を多用し、様々な資料を効果的にまとめることができる内容になっている。	○	○
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	「ステップアップ」や「歴史を考えよう」で、説明や議論する力を養うように構成されている。札幌の事例ではアイヌ民族、沖縄の事例では琉球王国やアメリカ統治の歴史などを取り扱っている。多面的・多角的に人権学習を進められるような内容になっている。	○	○
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	「地域からのアプローチ」の内容では7地域を特設として取り上げ、その中の1つで福岡県が含まれる。また、美術作品・遺物・遺跡の資料が豊富であり、これらの図版には何が読み取れるのか、発問が付されている。それらの資料から課題を話し合い、考察しながら自国や他国の文化を尊重することへの自覚を深める内容になっている。	○	○
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	小学校社会科との連携については、第1章でふれている。公民的分野の学習との関連については、第7章のまとめで「現在の世界はどこに向かっているのだろうか」として、公民的分野に連続した学習を展開できる内容になっている。	○	○
歴史的分野	1 歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、説明する力、議論する力を養う。 (3) 歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	見開きの地図を使って世界の歴史と日本の歴史を大観・比較できるページが5か所設けられており、それぞれの時代の特色を理解し、歴史的事象を調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっている。各章の最初に年表と資料を時系列でまとめており、歴史的事象の推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力を養うことができる内容である。国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物が豊富に取り上げられており、文化遺産の尊重や国際協調の精神を養うことができる内容になっている。	○	○
歴史的分野	2 各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	時代を大観し、大きな転換期となる事象を客観的にとらえ、基礎的・基本的な事象を重点的に学習・考察できる内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（歴史的分野） 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	社会科の目標に結びつく内容を網羅している。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	第1章で小学校までの学習をイラストで振り返ることができる内容であり、円滑に接続できる。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	小学校の学習や、地理的分野・公民的分野との学習のつながりを「連携コーナー」をして取り扱っており、生徒の発達段階に考慮した内容となっている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	①導入資料→②「学習課題」→③「見方・考え方」→④「深めよう」→⑤「確認」を授業の基本構造としており、授業を繰り返すことで基礎・基本の定着とともに、思考力・判断力・表現力を育成することにつながることを期待されるため、言語活動の充実が図られていると考える。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	第2編～第5編第2章に「チャレンジ歴史」を設定し、資料に基づいて自分で考えたり、対話をしたりすることで、主体的・対話的で深い学びの実現が図られている。また、編末に「アクティビティ」を設置し、各時代を大観できるような言語活動が設けられている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	人権に関わる教材が充実しており、特に、女性史に注目し、時代ごとの女性の姿をとらえることができる内容になっている。また、部落差別の記述では、中世の被差別民や近世の身分差別、近代以降の部落差別を適切に捉えることができる。歴史的分野のまとめの学習課題として「歴史との対話」を未来に活かす」が設けられており、公民的分野との連携を図り、これからの社会の創り手としての知識の習得、意見の考察ができる。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	特に安全面や衛生面に関する記述はみられないが、震災や災害の写真に関する指導上の配慮は確認できる。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	多くの都道府県の地域事例が紹介されているため、地方史研究の発展的な課題としての活用が可能である。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものとなっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	近現代史に重点を置くなど各単元の扱いに軽重をつけることで、生徒がじっくり追究しながら充実した学習ができるよう配慮されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	導入資料・学習課題・本文・確認（本時のまとめ）が適切に配置されている。史資料やイラストも本文の周りに関連を持たせて効果的に配置されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	デジタルマークがついた教材が準備され、ウェブページにあるデジタル教材で学習を深めることができることが明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすくなっている。カラーユニバーサルデザインの観点から、色覚に特性がある生徒でも判別可能な配慮された色を使用しているため、分かりやすい。教科書の用紙は比較的軽い用紙を用いており、生徒の負担軽減につながっている。	○	○

□社会の観点（歴史的分野） 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

社会の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	各単元で「学習課題」を設けている。その解決のために「時系列」・「推移」・「比較」・「つながり」の4つの「見方・考え方」を用いることができる内容になっている。また、各編、章の導入ページでは「地図で見る世界の動き」が見開きで展開され、グローバルな視点で世界の歴史を捉えさせ、広い視野で我が国の歴史を捉えさせることができる内容になっている。	○	○
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	日本の領土について、「冷戦終結後の近隣諸国との関係」の中で、北方領土・竹島・尖閣諸島が我が国の固有の領土となった歴史的経緯が明確に記されている。また、地図や日露親善条約・日ソ共同宣言といった資料に基づいた見方・考え方ができる内容になっている。	○	○
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	基本的な人権の尊重の視点から、部落差別・女性・アイヌ・在日外国人などの歴史的経緯を理解し、課題解決に向かって思考・判断・議論ができる内容になっている。特に、人権の視点では「女性史コラム」として古代から現代までの女性の姿を捉え、公民的分野の学習や人権学習にもつながる内容になっている。	◎	◎
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	福岡県の地域事例として「岩戸山古墳の石人」(八女市)、九州国立博物館の文化財保存修理(太宰府市)、三連水車(朝倉市)、井上伝と久留米緋(久留米市)、山本作兵衛の炭鉱記録画(田川市)、公害克服の歴史(北九州市)が取り上げられている。しかし、これらの事象から、郷土の歴史的事象に対する理解を深めることの実現は可能である。	○	○
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	小学校での学びを振り返る具体的な学習活動の事例を通して、「歴史的な見方・考え方」を働かせた歴史の学び方を分かりやすく解説している。また、欄外に小学校マークを設け、小学校で学習した人物を同時に振り返ることができるなどの工夫が盛り込まれている。また、地図を多用しており、歴史的事象を空間的な見方から史実を的確にとらえる能力を育成することができる。また、公民的分野との連携では終章で、平和的に現代的諸問題を解決できる能力を育成できるよう工夫している。	○	○
歴史的分野	1 歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1)我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、説明する力、議論する力を養う。 (3)歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	各編、章の導入ページでは「地図で見る世界の動き」が見開きで展開され、グローバルな視点で世界の歴史を捉えさせ、広い視野で我が国の歴史を捉えさせることができる内容になっている。資料やイラストを多数盛り込み、生徒の興味・関心を高め、歴史と現在、先人と現代市民とのつながりを想起させる工夫をしている。特に、第4編のアクティビティでは複数の立場から課題解決に向けて意見交換したり、説明したりする活動を通して時代の特色を説明できる力を養うことができる内容になっている。民主政治に関する記述が多く、主権者教育にも力を入れている内容となっている。	◎	◎
歴史的分野	2 各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	時代を大観し、大きな転換期となる事象を客観的にとらえ、基礎的・基本的な事象を重点的に学習・考察できる内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（歴史的分野）教科書会社名（育鵬社）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	教科の目標達成に結び付く内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	内容の程度は、発達段階に応じ、円滑に接続している。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各教科や地理的分野・公的分野との系統的・発展的な指導ができるような配慮はされている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	章末の「歴史のターニングポイント」や学習のまとめでは、生徒同士の意見交換ができる場面が設定されており、言語活動の充実について配慮されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	教科書冒頭に「この教科書の使い方」が記載され、見開きでの学習課題に沿って学習をすすめ、まとめることができるように配慮されている。また、基礎的・基本的な知識及び技能の定着は図りやすい。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「なでしこ日本史」では時代ごとに活躍した女性の生き方をクローズアップし、歴史上での女性の立ち位置に配慮されている。また、「外国人がみた日本」では、外国人の立場から日本の歴史や文化を考えさせることができる内容になっている。「日本の現状とこれから」では、現代の諸問題について課題を探し、解決策を話し合う活動を設けている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	縄文土器をつくる体験活動についての記載があるが、火の使用に対する安全・衛生面の配慮は見られない。	△	△
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものとなっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	近現代史に重点を置くなど各単元の扱いに軽重をつけることで、生徒がじっくり追究しながら充実した学習ができるよう配慮されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文・資料は関連を持たせて用意されており、適切に配置されている。考古学と科学技術との関連を取り上げている内容が見られる。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	節の最後に「歴史ズームイン」を設け、本論とは区別された発展的な学習内容として明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	本文のフォントサイズはやや小さく、本文の分量は多めである。資料は鮮明で見やすく印刷されている。	○	○

□社会の観点（歴史的分野） 教科書会社名（育鵬社）

社会の観点		所見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	学習課題や言語活動、資料が充実している。また、特設ページ「歴史のターニングポイント」では、課題の見方・考え方をういて課題解決ができる内容になっている。	○	○
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	「わが国の領土をめぐる問題の歴史」では、条約の条文や年表、古地図や現在の地図を用いながら、わが国の領土をめぐる立場を明確にした上で、効果的に調べまとめることができる内容になっている。	◎	◎
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	人種問題や男女平等、移民問題など、人権尊重の態度を養うことができる内容になっている。また、見開きでの学習のまとめや各章の学習のまとめにおいて、それぞれの課題解決の取り組みに対する知識や理解を深める内容になっており、多面的・多角的に考察する力、課題解決に向けて選択・判断する力を養う内容となっている。	○	○
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	福岡に関連する学習は古代の大宰府や中世の博多など、通史における代表的な事象を扱っている。「歴史にズームイン」の「日本人の宗教観」などの内容では、自国を愛し、自国民としての自覚を深めることができる内容になっている。	○	○
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	序章で小学校で学んだ歴史上の人物について、イラストを用いて分かりやすく振り返ることができる内容になっている。また、公民的分野との関連も確認できる内容になっている。	○	○
歴史的分野	1 歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、説明する力、議論する力を養う。 (3) 歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	「このころ世界は」では、同時代の外国の動きをまとめた見開きのページとしてまとめている。世界の歴史を背景とした時代の特色を踏まえて理解できるような内容になっている。「歴史ズームイン：外国人が見た日本」では、日本や日本人を当時の外国人の視点から紹介し、日本の歴史、伝統、文化を複眼的な見方で選択・判断・説明ができる力を養えるような工夫がされている。「人物クローズアップ」では、歴史を動かした人物についてその活躍を詳しく紹介しており、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物への理解を深めることができる内容になっている。	○	○
歴史的分野	2 各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	通史としては基礎的・基本的な事象を取り上げており、時代の特色を考察できる内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（歴史的分野）教科書会社名（学び舎）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の範囲及び程度 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	社会科の目標に結びつく内容を網羅している。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	第1部に入る前に、小学校の学習を振り返り、調べ学習の方法を体得できるようにし、例題を通して年代の表し方が身につくよう構成されている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	「各分野の目標、内容、内容の取扱い」をふまえ、歴史的分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項が押さえられているが、中央の政治史より庶民の視点からの歴史の色彩が強い。	○	○
2	ア 内容に関する配慮事項 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	学習内容の構造化と焦点化を重視した構成になっているため、各教科等及び各学年相互間の関連、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されていると考える。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	部の学習のまとめ(6カ所)では、時代の特色と時代の転換を振り返りながら大観し、各時代の特色を多面的・多角的に考察して自分の言葉で表現できるようにしている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	これまであまり見たことない資料や写真、庶民に視点をあてたタイトルや関心を引き出す学習課題が特色である。歴史の具体的場面や時代を生きる人々の姿を通して各時代の特色を理解できる工夫されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	冒頭に見開き1ページで現代の沖縄「慰霊の日」を紹介している。平和と人権を求め、強権に抗した女性をはじめ、歴史の中の女性たちに数多くスポットをあてている。また、生産や懸命に働く人々、生活の困難を乗り越えようとする人々の姿を多く描き、沖縄やアイヌの人々の記述も豊富である。部落の歴史もきちんと記述されている。現代史の記述が多く、社会の一員として主体的に社会に参画する態度を養えるよう構成されている。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	火おこしや糸紡ぎなどの体験学習を詳しく紹介している。ペニア板、のこぎり、彫刻刀等が必要であり、安全面に配慮されている。	◎	◎
カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	火おこし、糸紡ぎなどの体験学習を通して生活との関連を重視して歴史の理解を深められるよう工夫されている。また、調べ学習や聞き取りやまとめ方、討論の方法等、学習の仕方を丁寧に紹介している。	○	○	
3	ア 分量 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものとなっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	近現代史に重点を置き、5つの章で61テーマを設定している。第2次大戦後の現代史学習では21世紀までテーマを設定している。	○	○
4	ア 使用上の便宜 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	見開き1ページの中に地図が掲載され、地図で位置を確認するよう構成されている。しかし、本文中にゴシック文字が使用されていない。また、参照指示がなく、本文と資料の関連を図りにくい。	△	△
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	だいたい章末に「歴史を体験する」の特設ページが7か所設定されている。様々な体験学習が紹介されている。また、インターネットや博物館などを利用した調べ学習・体験者からの聞き取り・討論の方法など、学習のしかたを紹介している。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	A4判で、豊富な資料(絵画資料・写真・文書・新聞・統計資料等)と記述を盛り込めるようにしている。特に図版は、他社よりも大きく鮮明で、詳しく読み取ることができる。歴史地図・グラフはカラーユニバーサルデザインを採用している。	◎	◎

□社会の観点（歴史的分野） 教科書会社名（ 学び舎 ）

社会の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	人権や平和、女性の生き方、各時代の様々な人々の生活の営み(日本も世界も)を多く学ぶ構成は、人間の尊厳や国際社会の平和と発展に寄与する態度を培っていくことが期待される。	○	○
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	部ごとのまとめ(6部)が様々な技能を駆使してまとめる形になっている。また、本文の見開き1ページが、豊富な資料を生徒自身が関連を見出し、読み解く学習の構成になっている。領土問題については、明治初期の領土確定と外交の記述はあるが、今日の課題の記述は少ない。また、拉致問題にも触れられていない。	△	△
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	庶民の視点で提示された図版や資料、何だろう?と興味のわくタイトルや、関心を引き出す学習課題は、生徒に様々な疑問や問いをもたせる構成になっている。特設ページで「学問のすゝめ」の解釈について「対話・討論にチャレンジ」する箇所がある。	○	○
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	郷土福岡については、一般的な金印や水城・大野城の他に、見開き1ページのタイトル「交易で栄えた博多」で、福岡市で発掘され、復元された福岡市埋蔵文化センターの磁器が大きく紹介されたり、本文中に博多に住み着いた中国商人のたちの詳細な記述がある。	◎	◎
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	小学校や他分野との関連を示す脚注や側注はないものの、見開き1ページにほぼ必ず歴史的事象の場所が現代の地図で示されている。小学校との関連は序章の「歴史の学び方」で配慮されている。	○	○
歴史的分野	1 歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1)我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、説明する力、議論する力を養う。 (3)歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	背景となる世界史を充実させ、日本と世界の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考察し、歴史に見られる文化や生活の多様性に気付くことができるよう構成されている。学習のまとめでは、各時代の特色を多面的・多角的に考察して自分の言葉で表現する構成になっている。指導的な立場の人物だけでなく、様々な分野・階層の男女の生活社会的な業績を具体的に叙述している。子どもや青年の生き方や労働・学習について取り上げ、生徒の関心と共感を引き起こせるように構成されている。	○	○
歴史的分野	2 各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	文化遺産や作者の名前だけに止まらず、文化を生み出した人々の願いや社会の状況、文化を継承していった人々の営みなどを具体的に描き出している。	○	○

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 社会（公民）

調査研究の視点と主な審議内容

各教科共通の観点について

すべての観点において調査会の評価どおり

社会の観点について

すべての観点において調査会の評価どおり

□各教科共通の観点（公民的分野） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の範囲及び程度 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	ふりがなが、教育漢字外の漢字や固有名詞などの必要な箇所にも付けられている。また、本文だけでなく、資料ごとにも付けられ、ほかの箇所でも読み方を確認する必要があるようにつけられている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取り扱いに示す事項を、本文を見開き2ページ1単位時間を原則として教えてみても、不足なくとり上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	小学校で学習した写真や用語を掲載してマークやことばで示し、小学校の学習を振り返る場面を設け、系統的に展開できるようにしている。他教科と関連があるページには「他教科関連マーク」を付し、二次元コードを読み取って該当教科の教科書を参照することで、学習を多面的に深められるようにしている。	◎	◎
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各章の学習は、単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入の活動」→「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」→「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で問いを軸にして単元を構造化し、課題解決的な学習を進めやすくしている。ICT機器を活用して利用できる「Dマークコンテンツ」が用意され、学習効果が高まるように工夫されている。	◎	◎
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各章の見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を掲載し、「読み取る」コーナーや「考える」コーナーを設けることで、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	資料の中で、生徒個々の意見として、互いに相反する意見、多面的な考えを交流する場面が見られる。巻頭で持続可能な社会の実現に向けての5つのテーマを提示し、各章で、関連テーマを紹介しながら現代的な諸課題を理解し、その課題を解決するような態度を養う構成となっている。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	子どもの生活にとって身近なものを資料としてとり上げた調査活動が設定されており、安全面に配慮がなされたものである。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は学習指導要領の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりしないような配慮がなされている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	どの単元も授業時数から見て適切な内容となっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	どの単元も授業時数から見て適切な内容となっている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	ア 使用上の便宜 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	他教科と関連があるページには「他教科関連マーク」を付けて、二次元コードを読み取って該当教科の教科書を参照することで、学習を多面的に深められるようにしている。ICT機器を活用して利用できる「Dマークコンテンツ」が用意され、学習効果が高まるように工夫されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容は特設ページ「もっと公民」で区別されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいうように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	見開きページの情報がとても充実している。カラー印刷がとても鮮明である。文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等は適切である。	○	○

□社会の観点（公民的分野） 教科書会社名（ 東京書籍 ）

社会の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	各単元の学習の冒頭で「見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに、学習の過程に「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け、学習を深められるようにしている。また、国際社会における諸課題を、SDGs、あるいは持続可能な社会へ向けての5つの課題から、平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができるように工夫されている。	○	○
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	地理や歴史での学習内容をふまえて、わが国の領域について「主権」や「外交」の視点から正しく理解し、我が国がかかえる領土をめぐる問題の現状を捉え、解決に向けての意識が高められるようにしている。「国際社会における国家」において「国旗と国歌」について記述し、国旗・国家を尊重することの重要性が理解できるようにしている。また、我が国の特色ある伝統や文化に関する教材や、伝統や文化の継承や保存に取り組む中学生の姿を豊富に取り上げている。	◎	◎
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	資料の中で、生徒個々の意見として、互いに相反する意見、多面的な考えを交流する場面は見られる。ただ、互いの個性、価値観などの違いに配慮し議論する場があまりみられない。各章の学習は、単元全体を貫く問いを軸にして単元を構造化し、課題解決的な学習を進めやすくしている。	○	○
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	我が国の特色ある伝統や文化に関する教材が取り上げられている。掲載している文化財を通して我が国の伝統や文化に対する理解と愛情を深められるようにしている。また、契約のあれこれの特集ページでは福岡銀行のYoka!Pay!が取り上げられている。	○	○
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	各章のはじめには、小学校で学習した写真や用語を掲載してマーク等で示し、小学校の学習を振り返る場面を設け、小学校での4年間の社会科学習に中学校での3年間の学習を重ねた「7年間の社会科学習」を系統的に展開できるようにしている。各分野に関連する箇所「分野関連マーク」がついており、特設ページ「もっと公民」では、地理・歴史・公民それぞれの視点から考察できるように、二次元コードを読み取って該当教科の教科書を参照できるようになっている。	○	○
公民的分野	1 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1)自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、国際関係などについて個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 (2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察する力、現代社会に見られる課題について公正に判断する力、説明する力、議論する力を養う。 (3)現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。	現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能については、メディアリテラシーなどの資料の読み取り方や資料収集の方法などを、発達段階に応じて確実に定着できるように工夫されている。また、より良い社会の在り方について構想したりすることで、解決策について具体的に考えることができ、知識・概念、技能や思考力・判断力・表現力を活用して積極的に社会参画し、他者と協働しながらより良い社会を築こうとする意識と態度を養えるように工夫されている。	◎	◎

□各教科共通の観点（公民的分野） 教科書会社名（ 教育出版 ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の範囲及び程度 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	学習指導要領の内容に準じた内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	ふりがなが、教育漢字外の漢字や固有名詞などの必要な箇所にも付けられている。発達段階に即した文章表現となっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 内容に関する配慮事項 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	下段に他分野、他学年との関連する項目が明記しており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	公民の技のコーナーでは現代の社会的事象を資料とともに取り上げており、言語活動が充実するよう配慮されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されるとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	章の冒頭に意見を交流する活動が仕組まれている。また、説明したり、意見交換したりすることを意識した構成になっている。表現活動を中心としたテーマ学習を行う「言葉で伝え合おう」の特設ページが設置されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	様々な人権にかかわる社会的事象をコラム「公民の窓」で取り上げられている。持続可能な開発目標(SDGs)が教科書の冒頭でとりあげられており、さらにSDGsと関連する学習内容のページでは、どの目標と関連しているか示されている。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	調べ方や調べる視点が例示されており、安全面に配慮されている。	○	○
カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は学習指導要領の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりしないような配慮がなされている。	○	○	
3	ア 分量 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	予備の授業時数が設定されておらず、授業時数に余裕がない。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	授業時数に照らして図書の内容が適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	ア 使用上の便宜 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	各単元の学習内容によって、必要な資料が配置されている。他教科と関連する内容には下段に関連する教科とその内容が明示されており、カリキュラム・マネジメントの充実を考慮した構成となっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容はコラム「公民の窓」や特設ページ「読んで深く考えよう」で区別されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	文字数、文字の大きさ、字体は概ね適切である。カラーユニバーサルデザインに配慮しており、視覚に敏感な生徒も落ち着いて読むことができる。	○	○

□社会の観点（公民的分野） 教科書会社名（ 教育出版 ）

社会の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	学習指導要領の内容や順序に準拠したものになっている。社会科としての見方・考え方が一貫して示されており。コラム等で人権や平和等に多く取り上げている。	○	○
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	我が国の領土問題が取り上げられている。また国際社会における日本の役割が取り上げられており、情報を効果的に調べることができる内容となっている。	○	○
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	各項において学習課題をもとに学習した内容をまとめ、学んだことを説明したり、考えを交流したりする内容になっている。また、章の冒頭で学習の見通しやその章で学習する見方や考え方を明示しており、思考・判断する指標となっている。	○	○
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	日本の伝統文化を取り上げるとともに、様々な文化とそれに伴う価値観の相違や対立を学習する内容となっている。「私たちの司法」の項では福岡市で開催された高校生模擬裁判選手権が取り上げられている。	○	○
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	小学校や他分野との関連が各ページに明示されており、これまでの学習を意識した学習活動を展開しやすい構成となっている。	○	○
公民的分野	1 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) 自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、国際関係などについて個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察する力、現代社会に見られる課題について公正に判断する力、説明する力、議論する力を養う。 (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。	SDGsを意識した構成になっており、国際社会や民主政治の意義などを効果的に学習することができる。また、各単元において調べる内容や考える社会的事象などが配置されている。学習のまとめと表現や深く考えようのコーナーでは、現代の社会問題について意見や考えを交流することができる。SDGsの観点からを軸に学習内容が構成されており、国際協調と開発が大きなテーマとしており、国際社会を主体的に生きる公民としての態度を養うことができるようにしている。	◎	◎

□各教科共通の観点（公民的分野） 教科書会社名（ 帝国書院 ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	学習指導要領の目標・内容に沿って構成されている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適していること。	身近な生活に結び付いた社会的事象が取り上げられており、それ関わる図表等も適切に配置されており、当該学年生徒の発達段階に適している。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	部や章などの冒頭に「小学校との関連コーナー」が設置され、小学校での学習事項を振り返ることができる。また、ページ下段には「小学校・地理・歴史との関連コーナー」が設けられ、歴史的分野や地理的分野の内容を確認できるようになっている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	章末に学習した知識をもとに「見方・考え方を働かせて考えよう」では主体的・対話的な学習活動によって章を振り返ることができるようになっている。メディアリテラシーやフェイクニュースなど現代社会の情報活用において必要な技能や知識を取り上げている。	◎	◎
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	単元を貫く問いと節ごとの問いが設定され、章末にまとめを行う構造化が図られている。その中で、「アクティブ公民」のコーナーでは実社会の社会的事象に対して様々な立場から考察し、考えを交流する内容が組まれている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	多様な価値観や考え方、様々な人権問題などを「未来に向けて 人権」というコーナーを設けて重点的に扱っている。また、様々な事例とそれについての考え方を紹介し、考えをもたせて交流させる問いが設定されている。持続可能な社会の実現を項で取り上げるとともに、関連するものにはSDGsマークで明示されている。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	調べ学習の視点や調査方法、まとめ方などを例示し安全面に配慮したものとなっている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	コラム「未来にむけて」や特設ページ「よりよい社会を目指して」が設置され生徒自身が社会に参画していく視点から発展的に考えることができるようになっている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	どの単元も授業時数から見て適切な時数となっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容、授業時数とも適切に分配されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	小単元毎に学習課題が例示され、それを考えるための本文と関連する資料と説明文が配置されている、また、資料活用の例が提示されており、学習の深まりに有効である。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な内容は「公民＋」という見出しがつけられており、区別しやすい。	○	○
5	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	文字数、文字の大きさ、字体は概ね適切である。表の様式が統一されており読み取りやすい。また色合いがおちついており視覚に敏感な生徒も落ち着いて読むことができる。	○	○

□社会の観点（公民的分野） 教科書会社名（ 帝国書院 ）

社会の観点		所見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	各部の冒頭に設けられた現代社会を表すイラストから読み取る作業が設けられており、生徒の主体的な活動を促すものとなっている。また、問いの構造化を図られており、単元のまとめで深い学びにつながる構成となっている。SDGsや様々な人権課題、日本の国際貢献などの社会的な事象が取り上げられており、そこで身に付けた知識や考え方を活用する内容となっている。	○	○
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	我が国の領土問題が取り上げられており、その経緯も本文の中で扱われている。写真が大きく掲載されており効果的に調べられる内容となっている。	○	○
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的な事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	人権の意義や課題を取り上げるとともに、コラム「未来に向けて 人権」が設置され人権に関する課題の解決に向けた取り組みが紹介されている。また、特設ページ「アクティブ公民」では社会的な事象に対して様々な立場から資料をもとに考察し、議論することができるように図られている。また、各節では「確認しよう」「説明しよう」のコーナーが設けられており、思考・判断した内容を説明する力を養うことができる構成になっている。	◎	◎
共通	4 社会的な事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	技能をみがくのコーナーでは社会的な事象をもとに主体的に社会的な見方を身に付けるような学習課題が設定されている。第1部第1章では狂言師のインタビュー記事が掲載され伝統文化を継承し、創造していくことの大切さを実感できる。	○	○
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	章の最初に小学校との関連を振り返るコーナーが設けられている。また、本文ページ下段に各分野との関連するキーワードを振り返るコーナーが設けられている。	○	○
公民的分野	1 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1)自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、国際関係などについて個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、現代の社会的な事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 (2)社会的な事象の意味や意義、特色や相互の関連を社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察する力、現代社会に見られる課題について公正に判断する力、説明する力、議論する力を養う。 (3)現代の社会的な事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。	現代の社会的な事象に対する自分の考えをまとめるためのフォーマットが例示されており、効果的に技能を身に付けることができる。特に学習するうえで必要な基礎的な技能が習得できるように配慮されている。国際社会の現状と国際協調の重要性が解説されているとともに、主権者としての社会参画の意義を様々な面から理解できるようになっている。	◎	◎

□各教科共通の観点（公民的分野） 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	生徒が思考力・判断力・表現力等の向上を図る学習では、空欄への記入や自由記述などの解答方式や、考えるための技能について、発達段階を考慮した配列となっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取り扱いに示す事項を、本文を見開き2ページ1単位時間を原則として数えてみても、不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	巻頭に地理・歴史とのつながりを設け、地理的分野・歴史的分野で学習した内容をふり返り、巻末に世界地図と現代史年表を掲載し、地理と歴史の知識を公民の学習に関連づける工夫をしている。「連携コーナー」において、生徒が地理と歴史の既習事項をふり返り、活用することができる。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	デジタルマークを設け、発行者ウェブサイト上で公開している動画や資料、ワークシート等の教材に生徒が主体的にアクセスできるようにしている。また、「深めよう」、「アクティビティ」など、随所に問いや活動を設けて、生徒がグループ活動等を通して主体的に学習を行うための「シンキングツール」を豊富に紹介している。	◎	◎
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	章の冒頭に意見を交流する活動が仕組まれている。また、「アクティビティ」では「見方・考え方」を用いて、学習内容の理解を深める主体的・対話的な問いや活動を示すコーナーを設けている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	教科書全編にわたり、人権の意義や問題について考えることができるようにしている。巻頭見返しにて17の目標を示すとともに、関連する内容を第1編から第5編までの学習の随所に登場させており、教科書全体を通してSDGsについて考えられるようになっており、「SDGs未来都市堺市」の紹介では、ページの中に点字の体験ができるようになっている。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	子どもの生活にとって身近なものを資料としてとり上げた調査活動が設定されており、安全面に配慮がなされたものである。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は学習指導要領の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりしないような配慮がなされている。	○	○
	ク 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	どの単元も授業時数から見て適切な内容となっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	どの単元も授業時数から見て適切な内容となっている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	「デジタルマーク」用いてウェブページにあるデジタル資料で学習を深めることができる。「明日に向かって」というコーナーの中では、「法教育」「主権者教育」「消費者教育」「キャリア教育」など社会とのつながりや、道徳科との関連について関心・意欲を持って学習できるように工夫されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容は特設ページ「公民+α」で区別されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	見開きページの情報が充実している。カラー印刷がととも鮮明で、光を当てた時に見づらくなる時がない。文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切である。	○	○

□社会の観点（公民的分野） 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

社会の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	民主主義の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などに関する基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得し、社会的事象を多面的・多角的に考察する態度を養うことで、幅広い知識と教養を身につけることができるようにしている。	○	○
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけることができる内容になっていること。	我が国の領土をめぐる問題については、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることを明記し、問題の現状と、我が国の平和的な解決に向けての取り組みをわかりやすく解説している。また、情報を調べ、まとめる技能を習得できるよう、特設ページ情報スキルアップで情報リテラシー・情報モラルなどを身につけられるよう配慮するとともに、各所で思考ツールを用いた学習ができるよう工夫している。	◎	◎
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	ルールの学習に基礎を置き、広い視野から考え、身近なところから課題を見だし、国民主権、ボランティア・NPOの学習、レポート作成の学習を通じて社会参画への関心や意欲を養い、持続可能な社会の形成に参画する態度を養えるようにしている。また特設ページ「チャレンジ公民」では考え議論することができるように設定されている。	○	○
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	日本の伝統文化の継承と創造の意義や、世界の中での日本の文化について取り扱っている。請願権の項目では請願書を提出する福岡市の高校生が取り上げられている。	○	○
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	導入ページ「学習の始めに」に連携コーナーを設けて、小学校社会科における公民的分野に関わる学習内容を、学習した学年も含めて再確認できる構成にしている。生徒が思考力・判断力・表現力等の向上を図る学習では、空欄への記入や自由記述などの解答方式や、考えるための技能について、発達段階を考慮した配列となっている。	○	○
公民的分野	1 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1)自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、国際関係などについて個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。 (2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察する力、現代社会に見られる課題について公正に判断する力、説明する力、議論する力を養う。 (3)現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。	民主主義の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、社会的事象を多面的・多角的に考察する態度を養うことで、幅広い知識と教養を身につけることができるようにしている。思考力・判断力・表現力等の向上を図りながら、自己の学習の成果を実感できる構成にしている。また、社会生活ときまりの学習などを通じて、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養えるように配慮している。さらに、職業を含む将来の生徒の生活についての学習で、職業及び生活についての関心を高め、勤労を重んずる態度を育てることができるようにしている。	○	○

□各教科共通の観点（公民的分野） 教科書会社名（ 自由社 ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	ふりがなが教育漢字外の漢字や固有名詞などの必要な箇所にも付けられている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取り扱いに示す事項を、本文を見開き2ページ1単位時間を原則として教えてみても、不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	歴史的分野との連携が見られ、特に歴史的分野と関連して記述されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各章の章末に「学習のまとめと発展」があり、最重要語句を掲載している。また、「アクティブに深めよう」では、思考力、判断力、表現力を養うための表の完成、資料の比較など思考ツールが用意されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されるとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のための基礎的・基本的な知識及び技能を確認し、それを活用した問題解決的な学習が章末の「学習のまとめと発展」に用意されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「アクティブに深めよう」では、互いに相反する意見、多面的な考えを交流する場面がみられる。持続可能な社会の実現のために解決すべき諸問題が、終章で扱われている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	子どもの生活にとって身近なものを資料としてとり上げた調査活動が設定されており、安全面に配慮がなされたものである。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容が「もっと知りたい」という欄を設け取り扱われている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	どの単元も授業時数から見て適切な内容となっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	どの単元も授業時数から見て適切な内容となっている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的に学習して理解を深めることが必要などころでは、単元に準じた「もっと知りたい」という欄を設けている。	○	○
5	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使いやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	見開きページの情報がとても充実している。カラー印刷がとても鮮明である。文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等は適切である。	○	○

□社会の観点（公民的分野） 教科書会社名（ 自由社 ）

社会の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	「序章現代日本の自画像」の中で、日本の特色は、平和な社会を築いてきたこと、経済大国・科学技術大国であること、文化大国であることとしている。序章でとり上げることにより、公民としての資質・能力の基礎を育成できるようにしている。	○	○
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	国際社会における国家とはどういう存在か説明し、国旗と国歌に対する敬愛が大切なものであること、北方領土問題と竹島問題という深刻な領土問題があることなど、国土と主権に関する記述が豊富である。また、「国際社会の仕組み」の中で、国際社会における国際協調について理解させるように資料が工夫されている。	○	○
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	共同社会の典型である家族の役割、あり方について理解させ、家族生活においても「個人の尊厳」、「両性の本質的平等」、自他の敬愛と協力が重要であることを学習できるようにしている。そして、日本には、祖先を尊び家族を重んじ社会を重んじる伝統と文化があることを知るできるようにしている。	○	○
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	日本の文化伝統の中に、文化の調和と融合、社会の融和と連帯、勤労と勤勉、自然との共存があったことを学習できるようにしている。また、文化の代表格として科学、芸術、宗教を取り上げ、それらについて敬意をもって根源的視点を学習できるようにするとともに、日本の科学、芸術、宗教の特色について学習できるようにしている。	○	○
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	小学校で学習した内容を確認したり、振り返らせたりする箇所は見られない。歴史的分野との連携は見られ、特に歴史的分野と関連して記述されている。	△	△
公民的分野	1 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1)自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、国際関係などについて個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 (2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察する力、現代社会に見られる課題について公正に判断する力、説明する力、議論する力を養う。 (3)現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。	国家に対する国民の立場を、政治に参加する立場、政治から利益を受ける立場、政治から自由な自主独立の立場、という3つに整理して説明している。「もっと知りたい」という欄を設けることで、深い学びを行うように工夫されている。	○	○

□各教科共通の観点（公民的分野） 教科書会社名（育鵬社）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	学習指導要領の内容に準じた構成となっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	ふりがなが教育漢字外の漢字や固有名詞などの必要な箇所にも付けられている。地図や図表など生徒の思考を引き出す内容となっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各項の始めに歴史的分野、地理的分野と関連のある内容をマークで示している。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	やってみようのコーナーでは様々な社会的事象について考えをまとめ、交流する学習が設定されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各単元の導入で対話的な活動に取り組み、まとめの段階ではこれまでの学習を活かして、自分の考えをまとめ、交流する活動する内容となっている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	持続可能な開発目標が巻頭に記載されている。また、持続可能な社会をつくるためにという視点で現代社会の諸課題を考える単元が設定されている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	課題探求の方法が詳細に記載されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な内容が「学習を深めよう」のコーナーで区別されており、その内容も生徒の負担過重とならないよう配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	どの単元も授業時数から見て適切な内容となっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	どの単元も授業時数から見て適切な内容となっている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文の中に資料番号が記載され本文と図表の関連性を持たせて配置されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な内容は「学習を深めよう」のコーナーで区別されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	文字の大きさが若干小さく文量が多い。政治単元の3章のページ上部の唐草文様と資料の説明文が重なって読み取りにくい。	△	△

□社会の観点（公民的分野） 教科書会社名（ 育鵬社 ）

社会の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	11ページでグローバル化に伴う社会的な変化や国際社会の諸課題の内容が取り扱われている。	○	○
共通	2 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	国土に関する問題などについて詳しく資料が掲載されており、効果的に調べることができる。特に、地図や領土・領海をめぐる問題の資料が充実しており、様々な情報をもとに学習することができる内容となっている。	◎	◎
共通	3 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	対立と合意、効率と公正の視点から具体的な事例をもとに多面的・多角的に学習する内容となっている。	○	○
共通	4 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	日本の伝統文化地図や資料が充実している。また、身近な地域の祭りを調べる学習が仕組まれており、博多どんたくが紹介されており、伝統的な祭りが多数ある福岡を学習するのに適している。また、世界の文化の衝突とその解決に向けて考える学習活動がしくまれている。	○	○
共通	5 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	章の始めで、小学校で学習した内容を振り返る項目が設定されている。歴史的分野や地理的分野と関連する内容を示すマークが記載されている。	○	○
公民的分野	1 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1)自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、国際関係などについて個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 (2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察する力、現代社会に見られる課題について公正に判断する力、説明する力、議論する力を養う。 (3)現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。	やってみようのコーナーでは、様々な社会的事象について自分の考えをもち、それを交流する活動が仕組まれている。賛成と反対の意見が紹介されており、議論する力を養うことができる内容となっている。国際社会における日本の役割の記述の内容が充実している。特に領土をめぐる問題について、諸資料に基づいて国際社会における我が国の立場を理解する内容に優れている。	○	○

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 地図

調査研究の視点と主な審議内容

□地図の観点について

	観点	調査研究の視点と主な審議内容
4	<p>国旗の意義を理解し、国旗を相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解し、それを尊重する態度が育つ内容になっていること。</p>	<p>△【東書】【帝国】→ ○ 国旗そのものの記載はあるが、直接的に国旗を相互に尊重する態度が育つように促すような記載は見られない。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・地図のみを活用して国旗を相互に尊重する態度を育てていくものではないと考えられ、地図と各分野の教科書を関連付けた指導が大切なのではないか。</p> </div>

□地図の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

地図の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	地図の読図や作図、景観写真の読み取りなど地理的技能を身に付けることができる内容になっていること。	巻頭に地図帳の使い方が明記されており、地理的技能を身につけることができるようになっている。	○	○
2	世界の諸地域については、各州の自然、産業、生活・文化、歴史的背景などから地域的特色を大観できる内容になっていること。	地図の他、写真資料やグラフ等も各ページで充実している。教科書の進度に合わせて一つの「資料集」として活用することが可能な情報量と構成になっている。また、歴史的背景も写真資料を豊富にそろえて掘り下げている。(P39～P40)	◎	◎
3	自然環境、人口、資源・エネルギーと産業の地域間の結び付きについて、地図を活用し、日本全体としての地域的特色が大観できる内容になっていること。	写真資料が多く視覚的に理解しやすい。一つひとつのグラフが大きく作られており、読み取りやすいように工夫されている。また、三か年を通じて使用することを念頭に作られている。	◎	◎
4	国旗の意義を理解し、国旗を相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解し、それを尊重する態度が育つ内容になっていること。	国旗そのものの記載はあるが、直接的に国旗を相互に尊重する態度が育つように促す記載は見られない。	△	○
5	資料などは最新のものであり、適切に出所、出典が明示された内容になっていること。	資料は新しいものを採用しており、出展も明記されている。	○	○

□地図の観点 教科書会社名（ 帝国書院 ）

地図の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	地図の読図や作図、景観写真の読み取りなど地理的技能を身に付けることができる内容になっていること。	P5～P7に地図帳の使い方が記載されている。初めて手にとった人でも地図を読み取ることができるようになっている。また、地図活用の技能を身に付けさせるための間いかけがある。	◎	◎
2	世界の諸地域については、各州の自然、産業、生活・文化、歴史的背景などから地域的特色を大観できる内容になっていること。	各地域の資料図が項目を揃えて作成されている。また、地域的特色についてはさらに資料が添えられている。自然、産業、生活・文化、歴史的背景を大観できるようになっている。	○	○
3	自然環境、人口、資源・エネルギーと産業の地域間の結び付きについて、地図を活用し、日本全体としての地域的特色が大観できる内容になっていること。	P151,P152のように日本の資料図が掲載されている。その資料図で自然環境、人口、資源・エネルギーと産業の地域間の結び付きについて大観できるようになっている。さらに、日本全体の資料図が世界との比較の中で示されているため、日本の地域的特色を大観させる活動を仕組みやすい。	◎	◎
4	国旗の意義を理解し、国旗を相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解し、それを尊重する態度が育つ内容になっていること。	国旗そのものの記載はあるが、直接的に国旗を相互に尊重する態度が育つように促す記載は見られない。	△	○
5	資料などは最新のものであり、適切に出所、出典が明示された内容になっていること。	比較的新しい統計を用いて資料は作成されている。また、出展も明記されている。	○	○

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 数学

調査研究の視点と主な審議内容

□各教科共通の観点について

1 内容の範囲及び程度

	観点	調査研究の視点と主な審議内容
イ	<p>内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。</p>	<p>◎【学図】【教出】【数研】【日文】→調査会の評価どおり</p> <p>算数・数学は系統性が強い教科であるため、小学校での学習内容を振り返ることができるページが設けられていることは、中学校において新たな内容を身に付けていく上で大切である。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡市の生徒が数学的な見方・考え方をしっかりと身に付けることが大切だと思う。 ・小学校との円滑に接続している点を評価しているのはなぜか。 </div>

2 内容に関する配慮事項

	観点	調査研究の視点と主な審議内容
ウ	<p>多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p>	<p>◎【東書】【啓林館】→調査会の評価どおり</p> <p>QRコードについては、教科書のどの部分にあることがよいのかについても調査会では検討している。東京書籍は、単元最初の課題について工夫が見られ、単元の学習が進むごとに、最初の課題に戻ることで、自分の学びの深まりに気付くことができる。一方、啓林館は、対話活動を仕組むことで学びが深まるような工夫が見られる。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・情報が多きことによって分かりづらくなるため、QRコードは多ければよいというものではない。 ・数学では、答えが一つであるが、それを導き出すプロセスがとても大切になる。「とも学」により、他者の考えに触れることで、自分自身の考えが深まっていく。 ・東京書籍については、単元最初の課題とその後のつながりが分かりにくい印象であったが、学習が進むごとに最初の課題に立ち戻るような構成はよい。 </div>

5 印刷・製本

観点	調査研究の視点と主な審議内容
<p>ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。</p>	<p>○【東書】【大日】【学図】【教出】【啓林館】【数研】【日文】→調査会の評価どおり ただし 審議を受け所見の記述を変更</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・啓林館については、製本の仕方に工夫がある。 ・教科書内で使用されている囲みや線の種類にどのような意図があるのか。ユニバーサルデザインについて出版社ごとの特徴について所見に明記すべきである。 </div>

□数学の観点について

すべての観点において調査会の評価どおり

□各教科共通の観点（数学） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	各学年の発達段階に応じて、具体物、図、数、式などが効果的に用いられている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。コンテンツ(QRコード読取り)の中に、「他教科リンク」があり、他教科の教科書を見ることができる。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「Q(考えてみよう、調べてみよう、説明してみよう)」「深い学び」を設け、自分の考えを表や式、グラフ、言葉などで表現する場面が設定されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各章のとびらの課題は、既習内容をふり返らせたり、これから学習する内容を予想させたりするなど、単元全体を通して取り扱う課題となっている。また、自分なりの疑問や予想を見出す主体的な活動や、他者との対話を通して問題を解決する活動が設定されており、単元全体を通して深い学びにつながるよう配慮されている。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「学習課題(本時のめあて)」「まちがい例」「◆マーク」を設け、個に応じた指導への配慮がされている。地球環境に関する内容として「地震のゆれの予測のしくみ」、福祉に関する内容として「点字を読んでみよう」が取り上げられている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	各章末の「章の問題B」に応用問題や発展課題を設け、発展的な学習内容が適切に位置付けられている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文、問題、説明文などは、数学的な見方・考え方を働かせることや学習の深まりに有効に働くようになっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「発展」「深い学び」のマークをつけて明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえており、適切である。色づかいが優しく、視覚的に分かりやすい。	○	○

□数学の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

数学の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとするなど、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。特に、学年や領域、単元全体を通して、系統的に学びを深めることができる課題設定となっている。	◎	◎
2	《A数と式》、《B図形》、《C関数》、《Dデータの活用》の4つの領域の内容になっていること。その際、[数学的活動]を通して指導することができる内容になっていること。	4つの領域の内容になっている。その際、[数学的活動]を通して、生徒が自立的、協働的に問題を解決できるようになっている。	○	○
3	《A数と式》の領域では、次の7点が重視された内容になっていること。 (1) 数の範囲の拡張と数の概念を理解すること (2) 新しく導入された数の四則計算の意味を理解し、それらの数を用いて表したり処理したりすること (3) 文字のもつ意味、特に変数の意味を理解すること (4) 文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりすること (5) 文字を用いた式の計算や処理をすること (6) 既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式の計算の方法を考察し表現すること (7) 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること	左記の7点を網羅した内容になっている。(1)において、1年生の学習内容では、負の数を学習する前に素因数分解が入っており、数の範囲の拡張と数の概念を理解することに役立っている。	○	○
4	《B図形》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 基本的な図形概念、図形の性質や関係を理解すること (2) 図に表したり正しく作図したりすること (3) 図形を直観的に捉えること (4) 数学的な推論に基づいて考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(4)において、導入課題から生徒が発見した疑問や予想について、単元全体を通して解決したり、予想があっているかどうか確認したりすることができるようになっている。	○	○
5	《C関数》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) 表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現すること (3) 関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること (4) 関数を用いて事象を捉え考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(1)において、日常の生活場面を想定した課題を表やグラフに表しながら、式に一般化していくという流れになっている。	○	○
6	《Dデータの活用》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) データを収集して分析したり、確率を求めたりできるようにすること (3) データの分析や母集団の傾向に着目して、その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること (4) 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(1)において、必要最小限の資料を用いて、データの分析と確率についての基礎的な概念や性質を理解できるようになっている。	○	○
7	[数学的活動]では、次の3つが重視された内容になっていること。 (1) 日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動 (2) 数学の事象から問題を見だし解決する活動 (3) 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動	左記の3点を網羅した活動ができるような課題が設定されている。特に、節の導入で日常の事象から問題を見だし、生徒の意欲を喚起するとともに、生徒が見いだした疑問が本文につながるように仕組みられている。	◎	◎

□数学の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

数学の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
8	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けることができる内容になっていること。	本文をとおして、数学的な表現を用いて、互いに自分の考えを表現し伝えあったりすることができるようになっている。特に、問題とあわせて、「調べてみよう」「考えてみよう」と表記されているため、対話活動の機会を適切に設けることができるようになっている。	◎	◎
9	そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めることができる内容になっていること。	巻頭にQRコードを設け、授業だけではなく、自宅等においても復習や予習ができるようになっている。	○	○
10	具体物を操作して考えたり、データを収集して整理したりするなどの具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。	型紙を使って図形の性質を確かめるなど、具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっている。	○	○
11	〔用語・記号〕は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっていること。	巻末に索引、「学びのつながり」を設け、新出する用語や記号などが、学習内容とともに示されている。	○	○

□各教科共通の観点（数学） 教科書会社名（大日本図書）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	各学年の発達段階に応じて、具体物、図、数、式などが効果的に用いられている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。他教科に関連する内容には、教科名が明記されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「伝えよう」「判断しよう」という問題を設け、自分の考えを表や式、グラフ、言葉などで表現する場面が設定されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	単元末に「問題発見・問題解決の流れ」を示したページを設け、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「めあて」「プラスワン」を設け、個に応じた指導への配慮がされている。「MATHFULL」「活用・探求」の中で、環境に関する内容として「食料問題」「地震」、福祉に関する内容として「点字」が取り上げられている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	単元の途中や単元末に「活用・探究」「学びにプラス」を設け、発展的な学習内容が適切に位置付けられている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文、問題、説明文などは、数学的な見方・考え方を働かせることや学習の深まりに有効に働くようになっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「発展」「力をのばそう」「活用・探究」のマークをつけて明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえており、適切である。領域ごとに見出しなどの色が分けられており、分かりやすい。	○	○

□数学の観点 教科書会社名（ 大日本図書 ）

数学の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
2	《A数と式》、《B図形》、《C関数》、《Dデータの活用》の4つの領域の内容になっていること。その際、[数学的活動]を通して指導することができる内容になっていること。	4つの領域の内容になっている。その際、[数学的活動]を通して、生徒が自立的、協働的に問題を解決できるようになっている。	○	○
3	《A数と式》の領域では、次の7点が重視された内容になっていること。 (1) 数の範囲の拡張と数の概念を理解すること (2) 新しく導入された数の四則計算の意味を理解し、それらの数を用いて表したり処理したりすること (3) 文字のもつ意味、特に変数の意味を理解すること (4) 文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりすること (5) 文字を用いた式の計算や処理をすること (6) 既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式の計算の方法を考察し表現すること (7) 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること	左記の7点を網羅した内容になっている。(1)(2)(4)において、具体的な活動や具体物を例とすることで、新たな数の概念の獲得や四則演算の理解に役立っている。	○	○
4	《B図形》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 基本的な図形概念、図形の性質や関係を理解すること (2) 図に表したり正しく作図したりすること (3) 図形を直観的に捉えること (4) 数学的な推論に基づいて考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(4)において、2年生では、帰納的な考え方や類推的な考え方から演繹的な考え方が中心となるように構成されており、3年生では、演繹的な考え方が中心となるように構成されている。	○	○
5	《C関数》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) 表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現すること (3) 関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること (4) 関数を用いて事象を捉え考察し表現すること	左記4点を網羅した内容である。(2)において、各学年で表、式、グラフについてのまとめのページがある。(4)において、日常生活や自然現象の中に現れる関数関係を取り扱った題材が多い。	○	○
6	《Dデータの活用》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) データを収集して分析したり、確率を求めたりできるようにすること (3) データの分析や母集団の傾向に着目して、その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること (4) 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(3)においては、3年生の標本調査では、データを批判的に考察する場面がある。	○	○
7	[数学的活動]では、次の3つが重視された内容になっていること。 (1) 日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動 (2) 数学の事象から問題を見だし解決する活動 (3) 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動	左記の3点を網羅した活動ができるような課題が設定されている。(1)において、問題発見・問題解決の流れを示しているページがあり、思考の過程がていねいに示されている。	○	○

□数学の観点 教科書会社名（ 大日本図書 ）

数学の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
8	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けることができる内容になっていること。	「活用・探求」「レポートを書こう」を設け、数学的な表現を用いて、互いに自分の考えを表現し伝えあったりすることができるようになっている。	○	○
9	そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めることができる内容になっていること。	巻頭にQRコードを設け、実社会で活躍する人が、数学の知識や活用例などについて紹介する文章があり、日常生活と数学とのつながりを感じやすいように配慮されている。	○	○
10	具体物を操作して考えたり、データを収集して整理したりするなどの具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。	型紙を使って図形の性質を確かめるなど、具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっている。	○	○
11	〔用語・記号〕は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっていること。	巻末に索引、各学年のまとめを設け、新出する用語や記号などが、学習内容とともに示されている。	○	○

□各教科共通の観点（数学） 教科書会社名（ 学校図書 ）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	各学年の発達段階に応じて、具体物、図、数、式などが効果的に用いられている。特に、1年生の各領域の前に「ふりかえり～算数から数学へ～」を設け、小学校との円滑な接続に配慮されている。	◎	◎
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。各章のとびらは、他教科に関連する内容になっている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「数学的活動」を設け、自分の考えを表や式、グラフ、言葉などで表現する場面が設定されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各章ごとに「問題を見つけよう」「説明しよう」「新たな問題を見つけよう」を設け、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「Q(導入課題)」「目標(本時のめあて)」を設け、個に応じた指導への配慮がされている。全学年において、SDGsの17の目標が明記されている。地球環境に関する内容として「海面水位」、貧困、公正に関する内容として「フェアトレード」、環境に関する内容として「エジカル消費」が取り上げられている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	巻末に「応用」「活用」「さらなる数学へ」を設け、発展的な学習内容が適切に位置付けられている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文、問題、説明文などは、数学的な見方・考え方を働かせることや学習の深まりに有効に働くようになっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「応用」「活用」のマークをつけて明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえており、適切である。見出しなどの色が、章ごとに水色とピンクに色分けされている。	○	○

□数学の観点 教科書会社名 (学校図書)

数学の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
2	《A数と式》、《B図形》、《C関数》、《Dデータの活用》の4つの領域の内容になっていること。その際、[数学的活動]を通して指導することができる内容になっていること。	4つの領域の内容になっている。その際、[数学的活動]を通して、生徒が自立的、協働的に問題を解決できるようになっている。	○	○
3	《A数と式》の領域では、次の7点が重視された内容になっていること。 (1) 数の範囲の拡張と数の概念を理解すること (2) 新しく導入された数の四則計算の意味を理解し、それらの数を用いて表したり処理したりすること (3) 文字のもつ意味、特に変数の意味を理解すること (4) 文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりすること (5) 文字を用いた式の計算や処理をすること (6) 既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式の計算の方法を考察し表現すること (7) 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること	左記の7点を網羅した内容になっている。(4)において、文字を用いた式の表現が、言葉や図などを使って、ていねいに取り扱われている。	○	○
4	《B図形》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 基本的な図形概念、図形の性質や関係を理解すること (2) 図に表したり正しく作図したりすること (3) 図形を直観的に捉えること (4) 数学的な推論に基づいて考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(4)において、例題や解法、証明では、つまづきやすい点などが、ていねいに示されている。	○	○
5	《C関数》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) 表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現すること (3) 関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること (4) 関数を用いて事象を捉え考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(4)において、自分の考えを他者との対話や観察・実験へとつなげるようになっている。その反面、1年生のとびらの課題は、図やグラフの読み取りが苦手な生徒には、難しい印象を与える。	△	△
6	《Dデータの活用》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) データを収集して分析したり、確率を求めたりできるようにすること (3) データの分析や母集団の傾向に着目して、その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること (4) 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(1)において、具体的な事象を基に、データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解できるようになっている。	○	○
7	[数学的活動]では、次の3つが重視された内容になっていること。 (1) 日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動 (2) 数学の事象から問題を見だし解決する活動 (3) 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動	左記の3点を網羅した活動ができるような課題が設定されている。とびらの課題は、問題発見を促し、本文につながるように仕組みられている。	○	○

□数学の観点 教科書会社名（ 学校図書 ）

数学の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
8	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けることができる内容になっていること。	日常生活や数学の事象からの課題が設けられており、数学的な表現を用いて、互いに自分の考えを表現し伝えあったりすることができるようになっている。	○	○
9	そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めることができる内容になっていること。	本文中にQRコードを設け、授業だけではなく、自宅等においても復習や予習ができるようになっている。	○	○
10	具体物を操作して考えたり、データを収集して整理したりするなどの具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。	型紙を使って図形の性質を確かめるなど、具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっている。	○	○
11	〔用語・記号〕は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっていること。	巻末に索引を設け、新出する用語が示されている。2, 3年生の巻末に「図形の性質のまとめ」を設け、図形領域に関する新出する用語や記号などが、学習内容とともに示されている。	○	○

□各教科共通の観点（数学） 教科書会社名（ 教育出版 ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	各学年の発達段階に応じて、具体物、図、数、式などが効果的に用いられている。特に、1年生の各章の前に「～を学習する前に」を設け、小学校との円滑な接続に配慮されている。	◎	◎
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。「数学の広場」は、他教科に関連する内容になっている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「学習のプロセス」「みんなに説明しよう」を設け、自分の考えを表や式、グラフ、言葉などで表現する場面が設定されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	「学習のプロセス」を設け、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「めあて」「登場人物」「キャラクターの吹き出し」を設け、個に応じた指導への配慮がされている。環境に関する内容として「リサイクル」、健康と福祉に関する内容として「CTスキャン」が取り上げられている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	章末に「数学の広場」を設け、発展的な学習内容が適切に位置付けられている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文、問題、説明文などは、数学的な見方・考え方を働かせることや学習の深まりに有効に働くようになっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「発展」のマークをつけて明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえており、適切である。色づかいが優しく、キャラクターの表情が豊かである。	○	○

□数学の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

数学の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
2	《A数と式》、《B図形》、《C関数》、《Dデータの活用》の4つの領域の内容になっていること。その際、[数学的活動]を通して指導することができる内容になっていること。	4つの領域の内容になっている。その際、[数学的活動]を通して、生徒が自立的、協働的に問題を解決できるようになっている。	○	○
3	《A数と式》の領域では、次の7点が重視された内容になっていること。 (1) 数の範囲の拡張と数の概念を理解すること (2) 新しく導入された数の四則計算の意味を理解し、それらの数を用いて表したり処理したりすること (3) 文字のもつ意味、特に変数の意味を理解すること (4) 文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりすること (5) 文字を用いた式の計算や処理をすること (6) 既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式の計算の方法を考察し表現すること (7) 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること	左記の7点を網羅した内容になっている。(1)において、1年生の学習内容では、負の数を学習する前に素因数分解が入っており、数の範囲の拡張と数の概念を理解することに役立っている。	○	○
4	《B図形》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 基本的な図形概念、図形の性質や関係を理解すること (2) 図に表したり正しく作図したりすること (3) 図形を直観的に捉えること (4) 数学的な推論に基づいて考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(1)において、既習の内容を基に、発展的に捉える活動が多く設定されており、基本的な図形概念、図形の性質や関係を理解できるようになっている。	○	○
5	《C関数》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) 表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現すること (3) 関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること (4) 関数を用いて事象を捉え考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(2)において、表、式、グラフを相互に関連付けて、考察できるようになっている。	○	○
6	《Dデータの活用》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) データを収集して分析したり、確率を求めたりできるようにすること (3) データの分析や母集団の傾向に着目して、その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること (4) 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(1)において、具体的な事象を基に、データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解できるようになっている。	○	○
7	[数学的活動]では、次の3つが重視された内容になっていること。 (1) 日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動 (2) 数学の事象から問題を見だし解決する活動 (3) 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動	左記の3点を網羅した活動ができるような課題が設定されている。「学習のプロセス」を設け、問題発見や問題解決に向けて、既習内容や習得した技能を活用できるようにしている。	○	○

□数学の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

数学の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
8	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けることができる内容になっていること。	「学習のプロセス」を設け、数学的な表現を用いて、互いに自分の考えを表現し伝えあったりすることができるようになっている。	○	○
9	そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めることができる内容になっていること。	巻頭にQRコードを設け、授業だけではなく、自宅等においても復習や予習ができるようになっている。	○	○
10	具体物を操作して考えたり、データを収集して整理したりするなどの具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。	型紙を使って図形の性質を確かめるなど、具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっている。	○	○
11	〔用語・記号〕は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっていること。	巻末に索引、「学びのマップ」、「図形のまとめ」(2, 3年生)を設け、新出する用語や記号などが、学習内容とともに示されている。特に、「学びのマップ」は、当該学年の学習内容と既習内容との関連が、視覚的に分かりやすくまとめられている。	◎	◎

□各教科共通の観点（数学） 教科書会社名（啓林館）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	各学年の発達段階に応じて、具体物、図、数、式などが効果的に用いられている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。「数学ライブラリー」は、他教科に関連する内容になっている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「説明しよう」「話しあおう」を設け、自分の考えを表や式、グラフ、言葉などで表現する場面が設定されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」を設け、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。特に、教科書が「みんなで学ぼう」編と「自分から学ぼう」編の2部構成になっていることや本文中の多くのQRコードにより、「自学・とも学」を効果的に行うことができるよう配慮されている。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「めあて」「キャラクターの吹き出し」を設け、個に応じた指導への配慮がされている。福祉に関する内容として「車いすバスケットボール」、環境に関する内容として「リサイクル」が取り上げられている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	巻末に「学びをいかそう」「力をつけよう」を設け、発展的な学習内容が適切に位置付けられている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文、問題、説明文などは、数学的な見方・考え方を働かせることや学習の深まりに有効に働くようになっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「発展」のマークをつけて明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえており、適切である。表紙から「みんなで学ぼう」編と裏表紙から「自分から学ぼう」編の2部構成になっている。下線が斜めや曲線になっている部分がある。	○	○

□数学の観点 教科書会社名（ 啓林館 ）

数学の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
1 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。特に、巻末「学びのあしあと」や本文ページ下部「数学的な見方・考え方を設け、生徒が数学的な見方・考え方を意識しながら学習できるようになっている。また、「学びのあしあと」は、各章の学習内容について自己評価することができるようになっており、基礎的・基本的な知識及び技能等の確実な習得につながる。	◎	◎
2 《A数と式》、《B図形》、《C関数》、《Dデータの活用》の4つの領域の内容になっていること。その際、[数学的活動]を通して指導することができる内容になっていること。	4つの領域の内容になっている。その際、[数学的活動]を通して、生徒が自立的、協働的に問題を解決できるようになっている。	○	○
3 《A数と式》の領域では、次の7点が重視された内容になっていること。 (1) 数の範囲の拡張と数の概念を理解すること (2) 新しく導入された数の四則計算の意味を理解し、それらの数を用いて表したり処理したりすること (3) 文字のもつ意味、特に変数の意味を理解すること (4) 文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりすること (5) 文字を用いた式の計算や処理をすること (6) 既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式の計算の方法を考察し表現すること (7) 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること	左記の7点を網羅した内容になっている。(6)において、二次方程式では、前章「平方根」とのつながりに配慮した構成になっている。	○	○
4 《B図形》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 基本的な図形概念、図形の性質や関係を理解すること (2) 図に表したり正しく作図したりすること (3) 図形を直観的に捉えること (4) 数学的な推論に基づいて考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(4)において、証明に入る前に、帰納的に調べていくことと演繹的に説明することの違いを考える場面が設けられている。	○	○
5 《C関数》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) 表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現すること (3) 関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること (4) 関数を用いて事象を捉え考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(2)において、表、式、グラフを相互に関連付けて、考察することができるようになっている。	○	○
6 《Dデータの活用》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) データを収集して分析したり、確率を求めたりできるようにすること (3) データの分析や母集団の傾向に着目して、その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること (4) 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(3)において、グラフやデータの分布の読み取りなどに関する対話活動を設け、批判的に考察したり判断したりする場面がある。	○	○
7 [数学的活動]では、次の3つが重視された内容になっていること。 (1) 日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動 (2) 数学の事象から問題を見だし解決する活動 (3) 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動	左記の3点を網羅した活動ができるような課題が設定されている。特に、章のとびらでは、「説明しよう」「話し合おう」を設け、生徒が主体的に学習を始めることができるようになっている。さらに、「学びをいかそう」では、数学の有用性を感じながら、既習内容や習得した技能を使って身の回りの問題を解決できるようになっている。	◎	◎

□数学の観点 教科書会社名（ 啓林館 ）

数学の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
8	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けることができる内容になっていること。	本文とおおして、数学的な表現を用いて、互いに自分の考えを表現し伝えあったりすることができるようになっている。特に、問題とあわせて、「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」と表記されているため、対話活動の機会を適切に設けることができるようになっている。	◎	◎
9	そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めることができる内容になっていること。	表紙及び本文中にQRコードを設け、授業だけではなく、自宅等においても復習や予習ができるようになっている。特に、QRコードが多く配置され、教科書の内容に関するコンテンツをすぐに見ることができるようになっている。	◎	◎
10	具体物を操作して考えたり、データを収集して整理したりするなどの具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。	コンテンツ(QRコード読取り)を使って、東京の平均気温のデータを収集するなど、具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。	○	○
11	〔用語・記号〕は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっていること。	巻末に索引が設けられ、新出する用語や記号などが示されている。	○	○

□各教科共通の観点（数学） 教科書会社名（数研出版）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	各学年の発達段階に応じて、具体物、図、数、式などが効果的に用いられている。特に、各章の前に「ふりかえり」を設け、小学校との円滑な接続に配慮されている。	◎	◎
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。コンテンツ(QRコード読取り)の中に、他教科と関連する内容がある。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「説明しよう」「考えよう」を設け、自分の考えを表や式、グラフ、言葉などで表現する場面が設定されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されるとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	ペアや班での学習を想定した学習課題を設け、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「めあて」「学びをガイドするキャラクターの吹き出し」を設け、個に応じた指導への配慮がされている。地球環境に関する内容として「地球温暖化問題」が取り上げられている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	巻末に「チャレンジ編」を設け、発展的な学習内容が適切に位置付けられている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文、問題、説明文などは、数学的な見方・考え方を働かせることや学習の深まりに有効に働くようになっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「発展」のマークをつけて明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえており、適切である。見出しなどの色が青に統一されており、分かりやすい。	○	○

□数学の観点 教科書会社名（ 数研出版 ）

数学の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
2	《A数と式》、《B図形》、《C関数》、《Dデータの活用》の4つの領域の内容になっていること。その際、[数学的活動]を通して指導することができる内容になっていること。	4つの領域の内容になっている。その際、[数学的活動]を通して、生徒が自立的、協働的に問題を解決できるようになっている。	○	○
3	《A数と式》の領域では、次の7点が重視された内容になっていること。 (1) 数の範囲の拡張と数の概念を理解すること (2) 新しく導入された数の四則計算の意味を理解し、それらの数を用いて表したり処理したりすること (3) 文字のもつ意味、特に変数の意味を理解すること (4) 文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりすること (5) 文字を用いた式の計算や処理をすること (6) 既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式の計算の方法を考察し表現すること (7) 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること	左記の7点を網羅した内容になっている。(7)において、方程式の利用では、問題を解く手順がていねいに示されている。	○	○
4	《B図形》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 基本的な図形概念、図形の性質や関係を理解すること (2) 図に表したり正しく作図したりすること (3) 図形を直観的に捉えること (4) 数学的な推論に基づいて考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(1)において、生徒や教師による会話を設け、基本的な図形の性質や関係を理解できるようになっている。	○	○
5	《C関数》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) 表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現すること (3) 関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること (4) 関数を用いて事象を捉え考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(2)において、表、式、グラフを相互に関連付けて、考察することができるようになっている。	○	○
6	《Dデータの活用》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) データを収集して分析したり、確率を求めたりできるようにすること (3) データの分析や母集団の傾向に着目して、その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること (4) 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(1)において、具体的な事象を基に、データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解できるようになっている。	○	○
7	[数学的活動]では、次の3つが重視された内容になっていること。 (1) 日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動 (2) 数学の事象から問題を見だし解決する活動 (3) 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動	左記の3点を網羅した活動ができるような課題が設定されている。別冊「探究ノート」を設け、日常や数学の事象から問題を見だし解決することができるようになっている。	○	○

□数学の観点 教科書会社名（ 数研出版 ）

数学の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
8	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けることができる内容になっていること。	先生や生徒の吹き出しがあるために、生徒が思考を生みだしたり、発展させたりする機会を損なう可能性がある。	△	△
9	そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めることができる内容になっていること。	巻頭及び背表紙にQRコードを設け、授業だけではなく、自宅等においても復習や予習ができるようになっている。特に、コンテンツ(QRコード読取り)が多く準備されており、学習の効果を高めることができる内容になっている。	◎	◎
10	具体物を操作して考えたり、データを収集して整理したりするなどの具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。	型紙を使って図形の性質を確かめるなど、具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっている。	○	○
11	[用語・記号]は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっていること。	巻末に索引、各学年のまとめを設け、新出する用語や記号などについて、1年生では小学校との関連、2年生では1年生との関連、3年生では3年間のまとめが示されている。特に、各学年のまとめは、視覚的に分かりやすくまとめられている。	◎	◎

□各教科共通の観点（数学） 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	各学年の発達段階に応じて、具体物、図、数、式などが効果的に用いられている。特に、各章の前に「次の章を学ぶ前に」を設け、小学校との円滑な接続に配慮されている。	◎	◎
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。巻末の「数学マイ トライ」は、他教科に関連する内容になっている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「考えよう」「ふり返ろう」を設け、自分の考えを表や式、グラフ、言葉などで表現する場面が設定されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されるとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各章に、自分の考えをまとめて説明する問題を設け、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「めあて」「キャラクターの吹き出し」を設け、個に応じた指導への配慮がされている。防災に関する内容として「地震のP波とS波」「風の力」、福祉に関する内容として「点字のしくみ」が取り上げられている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	巻末に「数学 マイ トライ」を設け、発展的な学習内容が適切に位置付けられている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文、問題、説明文などは、数学的な見方・考え方を働かせることや学習の深まりに有効に働くようになっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「発展」のマークをつけて明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえており、適切である。見出しなどの色が、青と緑を基調に色分けされており、分かりやすい。	○	○

□数学の観点 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

数学の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
2	《A数と式》、《B図形》、《C関数》、《Dデータの活用》の4つの領域の内容になっていること。その際、[数学的活動]を通して指導することができる内容になっていること。	4つの領域の内容になっている。その際、[数学的活動]を通して、生徒が自立的、協働的に問題を解決できるようになっている。	○	○
3	《A数と式》の領域では、次の7点が重視された内容になっていること。 (1) 数の範囲の拡張と数の概念を理解すること (2) 新しく導入された数の四則計算の意味を理解し、それらの数を用いて表したり処理したりすること (3) 文字のもつ意味、特に変数の意味を理解すること (4) 文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりすること (5) 文字を用いた式の計算や処理をすること (6) 既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式の計算の方法を考察し表現すること (7) 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること	左記の7点を網羅した内容になっている。(7)において、巻末の「対話シート」を活用して取り組むことで、学びが深まるようになっている。	○	○
4	《B図形》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 基本的な図形概念、図形の性質や関係を理解すること (2) 図に表したり正しく作図したりすること (3) 図形を直観的に捉えること (4) 数学的な推論に基づいて考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(4)において、既習内容を基に考察させる問題を設け、発展的な内容(接弦定理など)も学習できるようになっている。	○	○
5	《C関数》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) 表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現すること (3) 関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること (4) 関数を用いて事象を捉え考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(2)において、表、式、グラフを相互に関連付けて、考察することができるようになっている。	○	○
6	《Dデータの活用》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) データを収集して分析したり、確率を求めたりできるようにすること (3) データの分析や母集団の傾向に着目して、その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること (4) 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること	左記の4点を網羅した内容になっている。(1)において、具体的な事象を基に、データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解できるようになっている。	○	○
7	[数学的活動]では、次の3つが重視された内容になっていること。 (1) 日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動 (2) 数学の事象から問題を見だし解決する活動 (3) 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動	左記の3点を網羅した活動ができるような課題が設定されている。全学年とも「学び合おう」を設け、日常や社会の事象に関わる問題が取り上げられており、巻末の「対話シート」を活用することで、個人で課題を見だし考察する活動や、集団で意見を交換する活動が仕込まれている。	○	○

□数学の観点 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

数学の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
8	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けることができる内容になっていること。	巻末の「対話シート」を活用しながら、「学び合おう」に取り組むことで、数学的な表現を用いて、互いに自分の考えを表現し、伝え合ったりすることができるようになっている。	○	○
9	そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めることができる内容になっていること。	巻頭にQRコードを設け、授業だけではなく、自宅等においても復習や予習ができるようになっている。	○	○
10	具体物を操作して考えたり、データを収集して整理したりするなどの具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。	型紙を使って図形の性質を確かめるなど、具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっている。	○	○
11	〔用語・記号〕は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっていること。	巻末に索引を設け、新出する用語や記号が示されている。巻末「図形のまとめ」に、新出する用語や記号、性質などが、学習内容とともに示されている。	○	○

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 理科

調査研究の視点と主な審議内容

□各教科共通の観点について

2 内容に関する配慮事項

	観点	調査研究の視点と主な審議内容
ウ	<p>多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p>	<p>◎【大日本】→調査会の評価どおり 問題提起の場面で、中学生のキャラクターが対話する場面が多く描かれており、生徒の興味・関心を高め、多様な考えに触れることができるものとなっている。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・生徒のキャラクターの吹き出し部分に書かれているものについては、実際の授業で生徒に発言してほしい内容ではないだろうか。生徒の興味・関心を高めているものと言えるのか。</p> </div>
エ	<p>生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。</p>	<p>【東書】【大日本】【学図】【教出】【啓林館】→調査会の評価どおり ただし審議を受け所見の記述を変更</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・教科書では、「持続可能な社会」という言葉と「SDGs」という言葉を使い分けて使用しているため、所見についても、教科書の使い分けに準じて使い分けた表記をすべきである。</p> </div>

□理科の観点について

	観点	調査研究の視点と主な審議内容
13	<p>観察、実験、野外観察における事故の防止及び、使用薬品の管理や廃棄について十分配慮された内容になっていること。</p>	<p>△【学図】→調査会の評価どおり 実験の準備について教科書をもとに準備するが、薬品等の取扱いについては、QRコードを使わないと具体的な内容が示されていない点は課題であると考えられる。</p>

□各教科共通の観点（理科） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	観察、実験の基本的な技能や科学的に探究する力を養う上で申し分ない。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	発達段階に考慮して内容及び配列が適切になされている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	過不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	マーク等を用いて、他学年や他教科との関連を意識させる工夫がある。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「つながる科学」、「発展」など豊富な資料を読み解く工夫や課題に対する結論を表現する活動の場面が設定されており、各単元の探究活動において言語能力や情報活用能力の育成が図られている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	「学びを生かして考えよう」では、学習内容を活用する工夫がされており、子どもの興味や関心を高め、深い学びを促すよう記載されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	第3学年の単元5において持続可能な社会をつくるための考え方や取組が豊富に紹介されている。また、その中で持続可能な開発目標(SDGs)に関する資料が掲載されている。キャラクターたちがさまざまな意見を出し合い、話し合う場面が示され、それぞれの考えを尊重できるよう工夫されている。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	実験の操作法や注意点が繰り返し表記されており、安全への配慮がされている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	逸脱は見られず、配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は適切である。時数の少ない第1学年は、文字や行間を大きくし、ページ数を減らしている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野、領域及び内容は調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	資料の写真が小さくて見にくいところがある。	△	△
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	マークを用い、発展的な内容と示しているが、背景の色が同じで、その違いが少し分りにくい。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	第1学年では、文字を大きくするなどの発達段階に応じた配慮が見られる。	○	○

□理科の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

理科の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究することができる内容になっていること。	疑問から課題を見出し、観察や実験を通して分析解釈、活用という探求の過程が示されている。左ページの下には、探求の過程のどの部分を表すかマークを使って位置付けられている。	○	○
2	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	実験の基本操作が繰り返し掲載されているので、観察、実験の基本的な技能が身に付けやすい。QRコードを用いて実験の動画を見ることも可能になっている。	○	○
3	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる内容になっていること。	観察、実験の「目的」が明確に示されている。「結果の見方」や「考察のポイント」として、記録や考察のヒントが示されている。	○	○
4	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	導入の「レッツ スタート!」では、課題を投げかけ、単元を通してその課題を解決する構成になっている。「科学の本だな」では、生徒の興味・関心に応じた書籍が紹介されている。	◎	◎
5	〔第1分野〕については、物質やエネルギーに関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3)物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにする。	同様の実験を繰り返しつつも、学年が進むにつれてより高度な概念を用いた理解へと学習が進むように工夫されている。	○	○
6	〔第2分野〕については、生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3)生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにする。	多くの写真を用い、自然の広大さに触れ、自然に対する畏敬の念を養うように工夫されている。	○	○

□理科の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

理科の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
7	各分野間及び各項目間の関連が十分考慮され、各分野の特徴的な見方・考え方を総合的に働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養うことができる内容になっていること。	第3学年単元5において各分野の見方・考え方を総合的に働かせる内容が扱われている。	○	○
8	観察、実験、野外観察が重視され、自然の事物・現象についての基本的な概念の形成及び科学的に探究する力と態度の育成が段階的に無理なく行うことができる内容になっていること。	多くの観察、実験が掲載されている。実験方法は、学年を追うごとに複雑なものへと段階的に変化している。	○	○
9	生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。さらに、人や社会、環境等との関わりの中で「社会的自立の基礎」を育むことができる内容になっていること。	自然環境の保全に関する資料が繰り返し掲載されている。	○	○
10	観察、実験の過程での情報の検索、実験、データの処理、実験の計測などにおいて、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的かつ適切に活用することができる内容になっていること。	生徒が自らQRコードを読み取り、さまざまなコンテンツを閲覧することができる。「他教科リンク」からは、関連する他教科の内容を見ることができる。	◎	◎
11	原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測が、各内容の特質に応じて適宜行われる内容になっていること。また、博物館や科学学習センターなどと「共育」の実現のために、連携、協力を図ることができる内容になっていること。	巻末資料において、各学年の学習内容に応じて、校外施設の活用を推奨している。また、巻末にペーパークラフトがつけられており、生徒のものづくりに対する興味を引き出す工夫がある。	○	○
12	科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていること、理科で学習することが様々な職業などと関係していることに触れる内容になっていること。	「つながる科学」などの資料で科学技術と生活のつながりが示されている。	○	○
13	観察、実験、野外観察における事故の防止及び、使用薬品の管理や廃棄について十分配慮された内容になっていること。	観察、実験の方法に注意事項が明示されているほか、巻末資料には、事故防止や薬品の管理、廃棄について記載されている。	○	○

□各教科共通の観点（理科）教科書会社名（大日本図書）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	観察、実験の基本的な技能や科学的に探究する力を養う上で申し分ない。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	発達段階に考慮して内容及び配列が適切になされている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	過不足なく取り上げられている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	「つながる」マーク等を用いて、他学年や他教科との関連を明記して意識させる工夫がある。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「くらしの中の理科」「発展」など豊富な資料を読み解く工夫がされており、各単元の探究活動において言語能力や情報活用能力の育成が図られている。特に単元末に「読解力問題」が設定されている。	◎	◎
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	問題提起の場面では、中学生のキャラクターが対話する場面が多く描かれ、生徒の興味・関心を高め、主体的・対話的で深い学びが促されるよう工夫されている。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	取り上げられる人物や描かれるキャラクターにおいてジェンダーフリーの配慮や様々な個性や価値観の違いに配慮された記述が見られる。また、第2学年の単元4では、持続可能な開発目標(SDGs)に関する資料が掲載されている。更に、第3学年の単元6では、持続可能な社会にする方法について、調べ方の例が紹介されている。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	実験に関する操作法や注意点が繰り返し表記されている。実験の方法や器具も安全へ配慮がされたものである。安全面については赤文字で注意事項が明記されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	逸脱は見られず、配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は適切である。時数の少ない第1学年は、文字や行間を大きくし、ページ数を減らしている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容が不足なく配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野、領域及び内容は調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	資料が適切に配置されており、写真が鮮明で分かりやすい。単元のはじめに、これまで学んだ内容、これから学習する内容が明記されており、何を学ぶかの見通しがたてやすい。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容は、「発展」マークや背景色の使い分け等により、別ページやページの下方に「チャレンジ」、「資料」として配列されており、明確に示されている。	◎	◎
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	本文、実験の解説においては文字の大きさやフォントにも発達段階に応じた配慮が見られる。また、色弱の生徒へ配慮した色遣いがされているが、資料や発展、章末問題の内容では文字が小さい部分が見られる。	○	○

□理科の観点 教科書会社名（ 大日本図書 ）

理科の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究することができる内容になっていること。	「問題を見つけよう」、「計画を立てよう」、「観察、実験」、「話し合おう」、「探究活動」など探究の過程が意識されている。 問題提起から実験結果のまとめまでが資料や写真を示しながら分かりやすく明記されているので、見通しをもって学習を進めることができる。	○	○
2	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	実験の基本操作が繰り返し掲載されているので、観察、実験の基本的な技能を身に付けさせやすい。QRコードを用いて実験の動画を見ることも可能である。観察、実験でよく使う器具の名称や使い方が単元の最初にまとめて記載されているので、基本的な技能を学ぶ際にわかりやすい。	○	○
3	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる内容になっていること。	観察、実験の「目的」と「着眼点」が明確に示されている。「結果の整理」や「結果から考えよう」として、記録や考察のヒントが示されており、科学的に探究する力を養うことができる。対照実験やグラフ化など科学的な方法が用いられている。	○	○
4	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	導入部分に身近な事物や現象の写真が掲載され、そこから問題を見出す構成になっている。「やってみよう」等の興味・関心に応じた実験も示されている。「探してみよう」や「生物の観察を続けてみよう」など自然の事物・現象に進んで関わることを促す内容が盛り込まれている。	○	○
5	〔第1分野〕については、物質やエネルギーに関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだし課題を解決したりする力を養う。 (3)物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにする。	同様の実験を繰り返しつつも、学年が進むにつれてより高度な概念を用いた理解へと学習が進むように工夫されている。	○	○
6	〔第2分野〕については、生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだし課題を解決したりする力を養う。 (3)生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにする。	学年が進むにつれて、生物の多様性や規則性に関して深く学習を進めていく流れになっており、生徒がより深く理解できるものである。また、多くの写真を用い、自然の広大さに触れ、自然に対する畏敬の念を養うように工夫されている。	○	○

□理科の観点 教科書会社名（ 大日本図書 ）

理科の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
7	各分野間及び各項目間の関連が十分考慮され、各分野の特徴的な見方・考え方を総合的に働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養うことができる内容になっていること。	第3学年単元5において各分野の見方・考え方を総合的に働かせる内容が扱われている。「思い出そう」というタイトルで以前学習した内容と関連付けるための解説が記されている。	○	○
8	観察、実験、野外観察が重視され、自然の事物・現象についての基本的な概念の形成及び科学的に探究する力と態度の育成が段階的に無理なく行うことができる内容になっていること。	多くの観察、実験が掲載されている。実験方法は、学年を追うごとに複雑なものへと段階的に変化している。	○	○
9	生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。さらに、人や社会、環境等との関わりの中で「社会的自立の基礎」を育むことができる内容になっていること。	自然環境の保全が項目として入っており、様々な活動が取り上げられているとともに、自然環境の保全に関する資料が繰り返し掲載されている。	○	○
10	観察、実験の過程での情報の検索、実験、データの処理、実験の計測などにおいて、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的かつ適切に活用することができる内容になっていること。	生徒が自らQRコードを読み取り、さまざまなコンテンツを閲覧することができる。コンピュータを使った実験の計測を積極的に活用するよう促している。	○	○
11	原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測が、各内容の特質に応じて適宜行われる内容になっていること。また、博物館や科学学習センターなどと「共育」の実現のために、連携、協力を図ることができる内容になっていること。	さらに学びを深めるための施設の紹介があり、どの学年でも福岡の施設が紹介されているため、地域の施設との連携を図りやすい。継続的な観察を必要に応じて積極的に取り入れている。福岡に関する写真の掲載1～3学年で21枚。	◎	◎
12	科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていること、理科で学習することが様々な職業などと関係していることに触れる内容になっていること。	「くらしの中の理科」、「professional」などの資料で科学技術と生活のつながりが示されている。「Professional」で様々な職業の方が理科で学習することと現在の仕事との関係を語っている。	◎	◎
13	観察、実験、野外観察における事故の防止及び、使用薬品の管理や廃棄について十分配慮された内容になっていること。	事故防止や薬品の管理や廃棄についての大きく取り上げてある。安全上の注意事項は赤文字ではっきりと記載されている。	○	○

□各教科共通の観点（理科） 教科書会社名（ 学校図書 ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	目標達成のための内容としては申し分ない。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	発達段階に考慮して内容及び配列が適切になされている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	内容の取扱いに関しては不足なく取り扱われている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	単元の初めのページに、これまで学んだ内容が学年毎に記載されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	随所に話し合い活動を重視した吹き出しがある。実験・観察における考察が細かく記載されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	冒頭の「理科のトリセツ」において主体的・対話的で深い学びとは何かが明記されている。また、各実験において、探求の過程におけるどの場面なのか明記されている。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「Can-Do-List」という項目で、できるようになりたい目標を示している。また、3年の単元5では持続可能な社会づくりの必要性について述べられている中で、持続可能な開発目標(SDGs)に関する資料が掲載されている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	実験・観察における注意事項は黄色背景、赤文字で明記されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	単元の最後に「学びを日常に生かしたら」という発展問題ページがあり、本来の学習内容に沿って作られている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	1年生の教科書においては、授業時数から照らし合わせるとやや分量が多い。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容は適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野、領域の内容に偏りはない。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	写真だけでなく絵を使って効果的に学習が進められるよう配置されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な内容は本文とは別に区別してあるが、「発展」、「資料」、「サイエンスカフェ」と3つの見出しがあり、区別がつきにくい内容が見られる。	△	△
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	細かな資料、解説が本文の量よりもやや多く、フォントも小さい。第1学年では、生徒の発達段階を考えるとやや文章量が多く、フォントも小さい。	△	△

□理科の観点 教科書会社名（ 学校図書 ）

理科の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究することができる内容になっていること。	探求の過程(「気づき」→「課題設定」→「仮説」→「検証計画」→「観察・実験」→「結果」→「考察」→「ふりかえり」→「伝える」→「次の気づき」)を明記しており、実験観察の中でどの場面なのか、見通しをもって観察・実験を行うことができる。	○	○
2	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	各実験における操作方法を写真と文章で分かりやすく明記しているため、基本的な技能を身に付けることができると考える。	○	○
3	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる内容になっていること。	探求する力を養うために、探求する過程が明記されている。	○	○
4	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	例にあげている実験の中には、結果が分かりづらく、生徒の日常生活からはかけ離れているものもあり、生徒の興味・関心を引くとは言い難い。	△	△
5	〔第1分野〕については、物質やエネルギーに関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3)物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにする。	観察や実験では、「探求」する過程が示されており、生徒の「気づき」から「課題」を設定し、「仮説」を立てて観察や実験を行い、「結果」をもとに「考察」して探求的な活動に取り組めるような内容になっている。同様の実験を繰り返しつつも、学年が進むにつれてより高度な概念を用いた理解へと学習が進むように工夫されている。	○	○
6	〔第2分野〕については、生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3)生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにする。	観察や実験では、「探求」する過程が示されており、生徒の「気づき」から「課題」を設定し、「仮説」を立てて観察や実験を行い、「結果」をもとに「考察」して探求的な活動に取り組めるような内容になっている。また、多くの自然の広大さに触れ、自然に対する畏敬の念を養うように工夫されている。	○	○

□理科の観点 教科書会社名（ 学校図書 ）

理科の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
7 各分野間及び各項目間の関連が十分考慮され、各分野の特徴的な見方・考え方を総合的に働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養うことができる内容になっていること。	第3学年単元5において各分野の見方・考え方を総合的に働かせる内容が扱われている。「思い出そう」というタイトルで、以前学習した内容と関連付けるための解説が記されている。	○	○
8 観察、実験、野外観察が重視され、自然の事物・現象についての基本的な概念の形成及び科学的に探究する力と態度の育成が段階的に無理なく行うことができる内容になっていること。	多くの観察、実験が掲載されている。実験方法は、学年を追うごとに複雑なものへと段階的に変化している。	○	○
9 生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。さらに、人や社会、環境等との関わりの中で「社会的自立の基礎」を育むことができる内容になっていること。	3年生の最終章では、持続可能な開発目標(SDGs)を紹介し、自然環境の保全に寄与する態度を養おうとしている。	○	○
10 観察、実験の過程での情報の検索、実験、データの処理、実験の計測などにおいて、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的かつ適切に活用することができる内容になっていること。	生徒が自らQRコードを読み取り、さまざまなコンテンツを閲覧することができる。「音」や「力」の単元では、コンピュータによるデータ解析を積極的に活用している。	○	○
11 原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測が、各内容の特質に応じて適宜行われる内容になっていること。また、博物館や科学学習センターなどと「共育」の実現のために、連携、協力を図ることができる内容になっていること。	継続的な観察や定点観測を必要に応じて行うような内容になっている。博物館や科学学習センターなどとの連携に関する記述は3年生の教科書の巻末にあるが、1年生、2年生の教科書には詳しい記載がない。	△	△
12 科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていること、理科で学習することが様々な職業などと関係していることに触れる内容になっていること。	どの学年においても、巻頭に科学技術と社会との関わりに関するページがある。様々な場面で日常生活との関わりを示す写真やイラストが使われている。	○	○
13 観察、実験、野外観察における事故の防止及び、使用薬品の管理や廃棄について十分配慮された内容になっていること。	どの実験においても薬品の適量が明記されている。薬品の管理、廃棄については、第1学年の巻頭に示してあるのみ。実験に使う薬品とその注意点はQRコード先から確認しなければならない。	△	△

□各教科共通の観点 (理科) 教科書会社名 (教育出版)

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の範囲及び程度 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	観察、実験の基本的な技能や科学的に探究する力を養う上で申し分ない。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	発達段階に考慮して内容及び配列が適切になされている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	過不足なく示されている。	○	○
2	ア 内容に関する配慮事項 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	発展的な内容は、各単元に「発展」が示されている。各単元の内容の系統が、単元のはじめに明記されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	生徒同士の対話を中心に問題解決の過程が示されており、実際の授業場面で生徒が発言しそうな言葉の例示が充実している。課題や目的に応じて、インターネット等の情報手段の適切な活用の仕方が明示されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	問題解決の過程が丁寧に示されている。仮説設定や実験計画では、対話的な場面が設定されており、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。学習前後の自分の姿のイメージが示してある。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	予想場面では、一つの考えだけでなく、2人以上の意見を例示することで、多様性を認める記述になっている。単元の各章のはじめと終わりに、生徒1人1人がふり返りを行う場面が設定されており個に応じた指導への配慮がなされている。3年の終章では、持続可能な開発目標(SDGs)についての資料を掲載している。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	実験方法における注意点や「基礎技能」、「巻末資料」に安全・衛生面について明示されており、配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な内容は、生徒の学習内容がより深まるような内容が提示されているが、「化学変化とイオン」において「高校化学基礎」「イオンからなる物質」の発展的な内容が取り扱われている。	△	△
3	ア 分量 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	内容が精選されており、適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	分野に偏りなく、調和のとれた内容である。	○	○
4	ア 使用上の便宜 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	問題解決の流れを重視しており、思考の流れに沿って関連した写真と資料が適度に配列されている。	◎	◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「発展」として、発展的な内容が示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	行間など整理されており、見やすい。図や文字が全体的に大きく、配列も読みやすく、自分でも読み進むことができる。カラーユニバーサルデザインに配慮している。	◎	◎

□理科の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

理科の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究することができる内容になっていること。	観察、実験では、疑問から課題を見出し、仮説や計画を立てるような流れが明確に示されており、見通しをもって探究できるようになっている。	○	○
2	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	基本的な観察、実験の方法が、詳細に示されている。巻末資料として、実験器具の使用方法が明示されている。	○	○
3	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる内容になっていること。	どの単元においても、問題解決的な学習のスタイルになっており、科学的に問題解決能力の形成に力を入れた内容になっている。	○	○
4	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	「探究の進め方」が明確に示されており、子どもの思考に沿った科学的な問題解決の流れが明示されている。観察や実験では、課題に対して仮説や実験計画の場面が設定されており、見通しをもって探究できるようになっている。	○	○
5	〔第1分野〕については、物質やエネルギーに関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3)物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにする。	観察や実験では、疑問から課題を見出し、仮説や計画を立てる項目が示されており、見通しをもって探究的な活動に取り組めるよう工夫されている。第3学年「運動とエネルギー」、「力と運動」については、落下運動や水平面での物体の運動に関する実験が参考として示されており、不十分である。	△	△
6	〔第2分野〕については、生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3)生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにする。	疑問から課題を見出させたり仮説や計画を立てて実験や観察をする流れが示されており、科学的に探究できる内容になっている。「ハローサイエンス」では動物の体のしくみの精妙さに関する記述や自然環境の保全に関わる内容が多く記載されており、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度の形成につながる内容となっている。	○	○

□理科の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

理科の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
7	各分野間及び各項目間の関連が十分考慮され、各分野の特徴的な見方・考え方を総合的に働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養うことができる内容になっていること。	各単元のはじめに他分野や他項目との関連が示されており、各分野の特徴的な見方・考え方を総合的に働かせ、科学的に探究するために必要な資質・能力を養うことができる内容になっている。	○	○
8	観察、実験、野外観察が重視され、自然の事物・現象についての基本的な概念の形成及び科学的に探究する力と態度の育成が段階的に無理なく行うことができる内容になっていること。	観察や実験、野外活動が内容に応じて適切に配置されている。科学的に探究する流れが示されており、基本的な概念の形成及び科学的に探究する力の育成が段階的に行うことができるように配慮されている。	○	○
9	生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。さらに、人や社会、環境等との関わりの中で「社会的自立の基礎」を育むことができる内容になっていること。	自然環境の調査などの体験的な活動、SDGsを取り上げたりするなど、生命を尊重する態度や自然環境の保全に寄与する態度を養う内容になっている。	○	○
10	観察、実験の過程での情報の検索、実験、データの処理、実験の計測などにおいて、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的かつ適切に活用することができる内容になっていること。	生徒が自らQRコードを読み取り、さまざまなコンテンツを閲覧することができる。インターネットを使った学習の例示が示されているが、情報の検索に関する活用が多く、観察や実験において活用する内容が少ない。	△	△
11	原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測が、各内容の特質に応じて適宜行われる内容になっていること。また、博物館や科学学習センターなどと「共育」の実現のために、連携、協力を図ることができる内容になっていること。	巻末資料において、各学年の学習内容に応じて博物館や科学館、動物園などを活用した調べ学習を推奨している。	○	○
12	科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていること、理科で学習することが様々な職業などと関係していることに触れる内容になっていること。	「ハローサイエンス」では、日常生活や社会における科学技術との関わりに関する記述が多く記載されており、内容も充実している。	○	○
13	観察、実験、野外観察における事故の防止及び、使用薬品の管理や廃棄について十分配慮された内容になっていること。	観察や実験の際の注意事項に関する記述が、記載されている。巻末資料には、物質や試薬などの性質や用途などについて明示されている。	○	○

□各教科共通の観点 (理科) 教科書会社名 (啓林館)

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	教科の目標達成に結びつく内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	発達段階に考慮して内容及び配列が適切になされている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	過不足なく示されている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	「国語との関連」などの見出しで、教科横断的な視点を持てるように配慮されている。「つながる学び」という見出しで、学年間の学習の振り返りができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「話し合ってみよう」などの見出しで、対話活動を促すなどの言語活動の充実について配慮されている。また、コンピュータを使ってデータを集め関係性を考えさせるなど、情報活用能力の育成について配慮されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	「みんなで探Qクラブ」のページで生徒の興味・関心を生かし、主体的で深い学びが促されるように配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	キャラクターたちがさまざまな意見を出し合い、話し合う場面が示され、それぞれの考えを尊重できるよう工夫されている。また、持続可能な開発目標(SDGs)について随所で資料を掲載している。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	全学年で化学分野の内容の前に、実験における注意事項が2ページ分掲載されており、配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領において「～扱う」や「～触れる」という記述の内容については、「発展」として表記するなど、全体的には生徒の負担が過重することがないように配慮されているが、第3学年において内容が少し過重な部分が見られる。	△	△
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体的に分量が多い。生徒への負担が過重なところも見られる。	△	△
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	単元の始めに「学ぶ前にトライ!」や「学んだ後にリトライ!」という部分があり、生徒自身が自分の学びの深まりを感じられるように内容が配慮されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「発展」という表記があり、配慮されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	字体が鮮明で読みやすいが、文字が多く、小さいところがある。ユニバーサルデザインフォントが使用されている。	○	○

□理科の観点 教科書会社名（ 啓林館 ）

理科の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究することができる内容になっていること。	探究のプロセスを視覚的に説明しており、生徒が探究的に学べるように記述している。また、科学的な「考え方」については、「比較」や「分類」などの見出しで分かりやすく記述している。	○	○
2	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	全学年において、化学分野の前のページに「サイエンス資料」という、実験の基本的な技能を身に付けられるような内容が記載されている。	○	○
3	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる内容になっていること。	自然の事物・現象を科学的に探究するためのプロセスを視覚的に説明して示る。さらに、「探Qシート」という、探究的に問題解決ができるシートが巻末に付属している。	○	○
4	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	大単元の始めに、不思議な自然の事物・現象が大きく写真で紹介されており、生徒に興味や関心を持たせる内容になっている。	○	○
5	〔第1分野〕については、物質やエネルギーに関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3)物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにする。	私たちの生活に身近な内容が適宜提示されており、認識を深めるような工夫がなされている。実験や観察を通して、「予想」させたり「仮説」を立てさせたりして、規則性を見出させる内容になっている。	○	○
6	〔第2分野〕については、生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3)生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようにする。	身近に見られる様々な生物や自然現象を紹介しており、生徒が興味・関心を持ち、様々な生物を尊重したり、自然環境の保全に寄与する態度を養う内容になっている。また、観察や実験を通して、多様性や規則性を見いださせたり解決させたりする力を養うことができる構成になっている。	○	○

□理科の観点 教科書会社名（ 啓林館 ）

理科の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
7 各分野間及び各項目間の関連が十分考慮され、各分野の特徴的な見方・考え方を総合的に働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養うことができる内容になっていること。	各分野の「考え方」については、「比較」や「分類」などの見出しを使って分かりやすく示している。	○	○
8 観察、実験、野外観察が重視され、自然の事物・現象についての基本的な概念の形成及び科学的に探究する力と態度の育成が段階的に無理なく行うことができる内容になっていること。	観察や実験が重視された内容になっている。ただし、生徒が興味・関心をもつ内容は、多少高度な面があり、段階的な指導ができるか不安な面がある。	△	△
9 生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。さらに、人や社会、環境等との関わりの中で「社会的自立の基礎」を育むことができる内容になっていること。	生徒が興味を持つような写真や多く、様々な生物を尊重したり、自然環境の保全に寄与する態度を養う内容になっている。	○	○
10 観察、実験の過程での情報の検索、実験、データの処理、実験の計測などにおいて、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的かつ適切に活用することができる内容になっていること。	コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用できる内容になっている。さらに、QRコードが豊富にあり、約300のコンテンツを視聴することが可能である。	◎	◎
11 原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測が、各内容の特質に応じて適宜行われる内容になっていること。また、博物館や科学学習センターなどと「共育」の実現のために、連携、協力を図ることができる内容になっていること。	各内容の特質に応じて、適宜ものづくりや定点観測が行われる内容になっている。また、博物館や科学学習センターなどとの「共育」の実現のために、協力ができるように紹介している。	○	○
12 科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていること、理科で学習することが様々な職業などと関係していることに触れる内容になっていること。	「ひろがる世界」というページを中心に、科学技術が日常生活や社会を豊かにしている内容が掲載されている。「お仕事ラボ」という見出しでは理科の学習と職業との関係について触れている。	○	○
13 観察、実験、野外観察における事故の防止及び、使用薬品の管理や廃棄について十分配慮された内容になっていること。	実験や観察における注意点をイラストを使って紹介している。また、「サイエンス資料」というページの中では実験の注意事項をまとめて記述している。	○	○

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 音楽（一般）

調査研究の視点と主な審議内容

□各教科共通の観点について

2 内容に関する配慮事項

	観点	調査研究の視点と主な審議内容
ウ	<p>多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p>	<p>◎【教出】【教芸】→調査会の評価どおり 調査会では、指揮などといった体を動かす体験的活動は大切であるとの意見が出された。体験的活動を位置付けることによって、主体的に学習に取り組む態度といった「自学」の部分につながっていくものであると考えている。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・体を動かすなどの体験的活動が授業に取り入れられることはよいことである。体験的活動を取り入れることは、「自学」につながっていくのか。</p> </div>

□音楽の観点について

すべての観点において調査会の評価どおり

□各教科共通の観点（音楽 一般） 教科書会社名（教育出版）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と関わる資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列と内容になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語、社会、外国語、道徳等の教科及び、各学年間の関連が図られ、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	自分が聴き取ったことや感じたことを記入する枠が設けられている。交流することができるようにも配慮されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が実感や親しみをもって学習を進められるように、体を動かすなどの体験的活動が取り入れられている。「話し合おう」等、他者と協働し、主体的・対話的な活動になるように紙面構成されている。また、QRコードを用い、興味のある楽曲等により深く触れられ、学習に役立つ情報サイトが閲覧できるようになっていることは、自学にも生かしやすい工夫である。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	生徒一人ひとりが思いや意図をもって表現したり、曲を味わったりできるようなワークシートが、教科書の中に設けられている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	偏りなく、取り扱われている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	説明文、注、作品、資料、挿絵、図等は、学習を進める上で学習の深まりに有効に働きかけているように配置され、具体的な内容が示されており、音楽活動が展開しやすい。写真は鮮明であり、曲の情景を想像する際に効果的である。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習については、学習を深める内容のマークで明らかにし、発展的な学習であることが明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインによって、楽譜、色、写真、挿絵の見やすさに配慮されている。ユニバーサルデザインフォントを使用し、見やすく読み間違えにくい文字である。製本は、長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。	○	○

□音楽の観点（音楽一般） 教科書会社名（ 教育出版 ）

音楽の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わることができる内容になっていること。	音楽科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる内容になっていること。	学習する主要教材と比較することから様々な音楽の共通性や多様性を考え、その特徴を理解することができるようになっている。また、歌唱共通教材では、学習する楽曲と他の歌唱との比較や適切な写真などを載せたり、学習に必要な情報を明確に示したりするなど、音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる適切な工夫がなされている。	○	○
3	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる内容になっていること。	歌唱、創作、鑑賞のそれぞれの分野において、思考力、判断力、表現力等が育成されるような内容になっている。創意工夫をするために、工夫するためのヒントが例示されている。また、曲想と、音楽の構造、歌詞の内容、曲の背景、音楽の特徴とのかかわりを踏まえ、「主要教材」による学びを基盤にして、比較したり、深めたりする内容を活用することで、より音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる内容になっている。	○	○
4	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっていること。	各分野において、様々なジャンルの代表曲や生徒の心情に即した教材が多く掲載されており、興味・関心をもって意欲的に取り組めるように配慮されている。様々な音楽を豊かに関わることによって、学校での学びと自らの生活をつなぐことができるように工夫されている。	○	○
5	[共通事項]を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっていること。	学習する楽曲や活動と関連したり比較したりできるよう「学びのユニット」で、教材の配列が工夫されている。また、楽曲を通して新しく学習する[共通事項]がページのわかりやすい場所に明確に示しており、一目で把握することができる。さらに、巻末には「楽典」として中学校で学習する[共通事項]が載せてある。	◎	◎
6	音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっていること。	各学年に「私のくらしと音楽」というページが設定されており、音や音楽が、生活や社会、文化とどのように関わり、どのような意味や価値をもつものかを、生徒が考えることができるようになっている。2・3年上には、沖縄戦をもとに平和への願いこめてつくられた「HEIWAの鐘」が掲載されており、音楽が人々の思いをつないだり、誰かに願いを届ける力をもっていることを、生徒が歌を通して実感したりできるようになっている。	○	○
7	表現及び鑑賞の各活動において、「福岡スタンダード」に示されている学びの柱「自学・とも学」の観点から、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを友と図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっていること。	「話し合おう」の項目を設け、考えを交流させる工夫などがなされており、聴き取ったり感じ取ったりしたことをもとに、他者と協働し、対話的な活動ができ、言語活動の充実を図る内容となっている。	○	○
8	歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土福岡の伝統音楽のよさを味わいながら愛着をもち、守り伝えるとともに、アジア・世界の国・地域の様々な価値観を認められるような内容になっていること。	我が国の民謡や伝統的な長唄などを歌唱教材として取り上げるなど、我が国の伝統的な歌唱の学習を行うことができるように配慮されている。アジア・世界の国の音楽を教材として取り上げ、他国を尊重する態度も養えるように工夫されている。	○	○

□音楽の観点（音楽一般） 教科書会社名（ 教育出版 ）

音楽の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
9	創作の活動において、「福岡スタンダード」に示されている未来への柱「チャレンジ・立志」の観点から、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっていること。	声や楽器を使って即興的に音を出したり、構成を考えたりと、多様な体験的な学習活動が展開できるように工夫されている。音楽の構成図として可視化するなど、細やかな配慮がなされている。創作の学習を充実させるために「Let's try!」などと関連させて、学習を深めることができる内容になっている。	○	○
10	鑑賞の活動において、我が国や郷土福岡の伝統音楽を含む我が国及びアジア・世界の国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材(楽曲)を選択することができる内容になっていること。	我が国や郷土の伝統音楽の楽器とアジア・世界の国々の楽器を比較し、そのよさを味わい、愛着をもつことができるようになっている。また、郷土の伝統音楽「博多祇園山笠」や福岡県民謡「黒田節」と関連する伝統音楽「越天楽」など、身近な伝統音楽を選択できるようになっている。	◎	◎

□各教科共通の観点（音楽 一般）教科書会社名（教育芸術社）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と関わる資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列と内容になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語、社会、外国語、道徳等の教科及び、各学年間の関連が図られ、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	自分が聴き取ったことや感じたことを記入する枠が設けられている。交流することができるようにも配慮されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が実感や親しみをもって学習を進められるように、体を動かしながら行う体験活動が取り入れられている。また、キャラクターによる吹き出しで、分かりやすく例を示しており、どのような視点で考えたり、話し合ったりすればよいのかが明確になっている。さらに、QRコードを用い、興味のある楽曲等により深く触れられるようにされていることは、自学にも生かしやすい工夫である。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	生徒一人ひとりが思いや意図をもって表現したり、曲を味わったりできるようなワークシートが、教科書の中に設けられている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	偏りなく、取り扱われている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	説明文、注、作品、資料、挿絵、図等は、学習を進める上で学習の深まりに有効に働きかけているように配置され、具体的に内容が示されており、音楽活動が展開しやすい。写真は鮮明であり、曲の情景を想像する際に効果的である。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習を取り上げる場合には「challenge!!」と表記しており、発展的な学習であることが明示されている。また、関連教材の中で具体的に活動例が示されており、生徒自ら取り組みやすくなっている。	◎	◎
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインによって、楽譜、色、写真、挿絵の見やすさに配慮されている。ユニバーサルデザインフォントを使用し、見やすく読み間違えにくい文字である。表紙のデザインや掲載されているイラストが中学生の親しみやすいものになっている。糸中綴じ方式で開きやすい製本になっている。	○	○

□音楽の観点（音楽一般） 教科書会社名（ 教育芸術社 ）

音楽の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わることができる内容になっていること。	音楽科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる内容になっていること。	学習する主要教材と比較することから様々な音楽の共通性や多様性を考え、その特徴を理解することができるようになっている。また、歌唱共通教材では、学習する楽曲と他の歌唱との比較や適切な写真などを載せたり、学習に必要な情報を明確に示したりするなど、音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる適切な工夫がなされている。	○	○
3	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる内容になっていること。	歌唱、創作、鑑賞のそれぞれの分野において、思考力、判断力、表現力等が育成されるような内容になっている。創意工夫をするために、工夫するためのヒントが例示されている。また、曲想と、音楽の構造、歌詞の内容、曲の背景、音楽の特徴とのかかわりを踏まえ、「主要教材」による学びを基盤にして、比較したり、深めたりする内容を活用することで、より音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる内容になっている。	○	○
4	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっていること。	各分野において、様々なジャンルの代表的な作品や生徒の心情に即した教材が多く掲載されており、興味・関心をもって意欲的に取り組めるように配慮されている。様々な音楽と豊かに関わることで、学校での学びと自らの生活をつなぐことができるように工夫されている。	○	○
5	[共通事項]を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっていること。	もくじの後に、1年間の学習内容が掲載されており、各教材との関連度の大小が色の濃さによってわかるように工夫されている。[共通事項]に示された音楽を形づくっている要素が、各教材の学習目標の下にわかりやすく示されている。巻末には「音楽の約束」として中学校で学習する[共通事項]が載せてある。	○	○
6	音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっていること。	各学年に「生活や社会の中の音楽」というページが設定されており、音や音楽が、生活や社会、文化とどのように関わり、どのような意味や価値をもつものかを、生徒が考えることができるようになっている。2・3年下には、東日本大震災の復興支援ソングとして作られた「花は咲く」が掲載されており、音楽が人々の思いをつないだり、誰かを励ましたりする力をもっていることを、生徒が歌を通して実感できるようになっている。	○	○
7	表現及び鑑賞の各活動において、「福岡スタンダード」に示されている学びの柱「自学・とも学」の観点から、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを友と図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっていること。	聴き取ったり感じ取ったりしたことをもとに、思考、判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるように配慮されている。譜例や吹き出し等を用いて説明されており、それらを活用することで、言語活動の充実を図ることができるよう工夫されている。	○	○
8	歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土福岡の伝統音楽のよさを味わいながら愛着をもち、守り伝えるとともに、アジア・世界の国・地域の様々な価値観を認められるような内容になっていること。	我が国の民謡や伝統的な長唄などを歌唱教材として取り上げるなど、我が国の伝統的な歌唱の学習を行うことができるように配慮されている。また、中学生が郷土の祭りや芸能の担い手として活動している様子が紹介されており、生徒が自分の住む町の文化にも興味・関心をもてるような内容になっている。さらに、アジア・世界の国の音楽を教材として取り上げ、他国を尊重する態度も養えるように工夫されている。	◎	◎

□音楽の観点（音楽一般） 教科書会社名（ 教育芸術社 ）

音楽の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
9 創作の活動において、「福岡スタンダード」に示されている未来への柱「チャレンジ・立志」の観点から、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっていること。	「My Melody」「Let's Create!」では見通しをもって音楽をつくることができるよう、わかりやすく手順が示されている。旋律の音の進行の仕方や上行下行などに着目し、音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくる活動ができるように工夫されている。ワークシートに構成図として可視化するなど、細やかな配慮がなされている。	○	○
10 鑑賞の活動において、我が国や郷土福岡の伝統音楽を含む我が国及びアジア・世界の国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材（楽曲）を選択することができる内容になっていること。	我が国の伝統的な音楽や世界の国の様々なジャンルの音楽が取り上げられており、適切な教材を選択できるようになっている。また、「聴き比べよう」では、世界の国々の音楽と我が国の伝統音楽を聴き比べるための教材が示されており、深い学びにつながる工夫もされている。さらに、郷土の伝統音楽「博多祇園山笠」「黒田節」「祝いめでた」や関連する伝統音楽「越天楽」など、身近な伝統音楽を選択できるようになっている。	◎	◎

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 音楽（器楽合奏）

調査研究の視点と主な審議内容

□各教科共通の観点について

すべての観点において調査会の評価どおり

□音楽の観点について

すべての観点において調査会の評価どおり

□各教科共通の観点（音楽 器楽合奏） 教科書会社名（ 教育出版 ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と関わる資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の内容になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語、社会、外国語、道徳等の教科及び、各学年間の関連が図られ、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	自分が聴き取ったことや感じたことを記入する枠が設けられており、言語化する活動が取り入れられている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその方法、学習に必要な情報が明確に示されている。QRコードを用い、興味のある楽曲等に、より深く触れられるようにされていることは、自学にも生かしやすい工夫である。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	学びのねらいやポイント、折り込みとなっている「ギター&キーボード表」「リコーダーの運指表」などの学習をサポートする工夫がみられる。多様な楽器の組み合わせによるアンサンブル活動が多数掲載され、基本的な奏法を生かし、他者との協働で表現を工夫できるように配慮されている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体を通して、各楽器がバランスよく取り上げられており、過不足ない分量の教材が取り扱われている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	偏りなく取り扱われている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、学習の深まりに有効に働くように配置されている。楽譜は全体的に見やすく、和楽器においては、和楽器固有の記譜法が掲載されており、様々な指導形態に適切にできるよう配慮されている。また、巻頭には、これから演奏する楽器や比較鑑賞をする楽器などの資料を見やすく図説している。	◎	◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「合わせて演奏しよう」は、「Let's Play! 」と「Let's Try! 」と学習のねらいに即した、発展的で多様なアンサンブル活動に取り組めるように工夫されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインによって、楽譜、色、写真、挿絵の見やすさに配慮されている。ユニバーサルデザインフォントを使用し、見やすく読み間違えにくい文字である。製本は、長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。	○	○

□音楽の観点（器楽合奏） 教科書会社名（ 教育出版社 ）

音楽の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わることができる内容になっていること。	音楽科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる内容になっていること。	曲想と音楽の構造、楽器の音色や響きと奏法との関わりを踏まえ、器楽表現に関する知識や技能が身に付けられるような内容になっている。「Let'sPlay!」「Let'sTry!」では、創意工夫を生かした器楽表現に関する知識や技能を高めることができるようになっている。	○	○
3	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる内容になっていること。	音楽表現に対して思いや意図を持ち、創意工夫したり自分や人の演奏のよさを味わいながら聴いたりするための、必要な視点が適切に示されている。	○	○
4	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっていること。	楽器に合った様々なジャンルの楽曲が用意されている。様々な音楽と豊かに関わることで、学校での学びと自らの生活をつなぐことができるように工夫されている。また、見聞きごとに、学びのねらいとまとめの曲が設定されており、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができる内容にもなっている。	◎	◎
5	[共通事項]を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっていること。	[共通事項]に基づく学習の目標や内容がわかりやすく示されており、各領域の分野の関連を図ることができる内容になっている。	○	○
6	音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっていること。	生活や社会において音楽が果たしている役割が感じ取れるものや、音楽文化への理解が深められる教材が選択できるように工夫されている。	○	○
7	表現及び鑑賞の各活動において、「福岡スタンダード」に示されている学びの柱「自学・とも学」の観点から、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを友と図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっていること。	自分の音楽表現に対する思いや意図を他者との協働で生かし、音楽や演奏の面白さを考えながら言語活動ができるように工夫されている。	○	○
8	歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土福岡の伝統音楽のよさを味わいながら愛着をもち、守り伝えとともに、アジア・世界の国・地域の様々な価値観を認められるような内容になっていること。	我が国の伝統音楽のみならず、諸外国の音楽文化に対する理解が深められるよう、様々な国の楽器や楽曲が掲載されている。楽器で、自然や四季の美しさ、くらしと伝統的な行事と関わる歌詞をもつ歌唱教材を表現することで、生徒がイメージを豊かにして取り組むことができるようにも工夫されている。	○	○
9	創作の活動において、「福岡スタンダード」に示されている未来への柱「チャレンジ・立志」の観点から、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっていること。	創作の手順が丁寧に明示されており、平調子の響きを生かした前奏をつくる活動が設定されている。	○	○
10	鑑賞の活動において、我が国や郷土福岡の伝統音楽を含む我が国及びアジア・世界の国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材(楽曲)を選択することができる内容になっていること。	和楽器の特徴を生かした楽曲が掲載されている。表現と鑑賞の関連を図ることが可能な教材を選択できる内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（音楽 器楽合奏）教科書会社名（教育芸術社）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の範囲及び程度 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と関わる資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の内容になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語、社会、外国語、道徳等の教科及び、各学年間の関連が図られ、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	感じ取ったことや考えたことを交流することができるよう配慮されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその方法、学習に必要な情報を明確に示すなど、適切に工夫されている。特に、「深めよう！音楽」では、生徒が曲に対する自分の考えをもち、友達との交流を通して自分の考えをより広げたり深めたりすることができるよう配慮されている。さらに、QRコードを用い、興味のある楽曲等に、より深く触れられるようにされていることは、自学にも生かしやすい工夫である。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	学びのねらいやポイント、「ギター／キーボードコード表」「リコーダーの運指表」などの学習をサポートする工夫がみられる。多様な楽器の組み合わせによるアンサンブル活動が多数掲載され、基本的な奏法を生かし、他者との協働で表現を工夫できるように配慮されている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体を通して、各楽器がバランスよく取り上げられており、過不足ない分量の教材が取り扱われている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	偏りなく取り扱われている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。楽譜は全体的に見やすく、和楽器においては、和楽器固有の記譜法が掲載されており、様々な指導実態に適切できるように配慮されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「アンサンブル」「楽器でMelody」では、学習のねらいに即した、発展的で多様なアンサンブル活動に取り組めるよう工夫されている。また、様々な楽器編成に対応できるように、編成上の工夫が見られる。特にギターや篠笛の学習では、発展的な演奏として「Challenge!!」の学習内容が明示されている。	◎	◎
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインによって、楽譜、色、写真、挿絵の見やすさに配慮されている。ユニバーサルデザインフォントを使用し、見やすく読み間違えにくい文字である。文章や楽譜などの近くに配置されたイラストや写真は、シンプルであり、学習上必要な情報を確実に注目できるように工夫されている。表紙は生徒にとって親しみやすく、生活や社会の中の音や音楽を意識できる内容である。製本は「糸中綴じ方式」で開きがよく、長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。	○	○

□音楽の観点（器楽合奏） 教科書会社名（ 教育芸術社 ）

音楽の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
1 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わることができる内容になっていること。	音楽科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2 曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる内容になっていること。	曲想と音楽の構造、楽器の音色や響きと奏法との関わりを踏まえ、器楽表現に関する知識や技能が身に付けられるような内容になっている。また、「アンサンブル」「楽器でMelody」「資料」では、創意工夫を生かした器楽表現に関する知識や技能を高めることができるようになっている。	○	○
3 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる内容になっていること。	音楽表現に対して思いや意図を持ち、創意工夫したり自分や人の演奏のよさを味わいながら聴いたりするための、必要な視点が適切に示されている。	○	○
4 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっていること。	楽器に合った様々なジャンルの楽曲が用意されている。様々な音楽と豊かに関わることで、学校での学びと自らの生活をつなぐことができるように工夫されている。	○	○
5 [共通事項]を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっていること。	もくじの後に、1年間の学習内容が掲載されており、各教材との関連度の大小が色の濃さによってわかるように工夫されている。[共通事項]に基づく学習の目標や内容がわかりやすく示されており、各領域の分野の関連を図ることができる内容になっている。	○	○
6 音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっていること。	生活や社会において音楽が果たしている役割が感じ取れるものや、音楽文化への理解が深められる教材が選択できるように工夫されている。	○	○
7 表現及び鑑賞の各活動において、「福岡スタンダード」に示されている学びの柱「自学・とも学」の観点から、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを友と図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっていること。	自分の音楽表現に対する思いや意図を他者との協働で生かし、音楽や演奏の面白さを考えながら言語活動ができるように工夫されている。	○	○
8 歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土福岡の伝統音楽のよさを味わいながら愛着をもち、守り伝えるとともに、アジア・世界の国・地域の様々な価値観を認められるような内容になっていること。	我が国の伝統音楽のみならず、諸外国の音楽文化に対する理解が深められるよう、様々な国の楽器や楽曲が掲載されている。楽器で、自然や四季の美しさ、くらしと伝統的な行事と関わる歌詞をもつ歌唱教材を表現することで、生徒がイメージを豊かにして取り組むことができるようにも工夫されている。	○	○
9 創作の活動において、「福岡スタンダード」に示されている未来への柱「チャレンジ・立志」の観点から、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっていること。	創作の手順が丁寧に明示されており、日本の音階を使って箏の旋律をつくる活動が設定されている。	○	○
10 鑑賞の活動において、我が国や郷土福岡の伝統音楽を含む我が国及びアジア・世界の国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材(楽曲)を選択することができる内容になっていること。	和楽器の学習では、我が国の伝統的な音楽文化の理解という観点から適切な教材を選択できる内容になっている。特に、導入として各楽器を用いた鑑賞曲も取り上げられている。	◎	◎

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 美術

調査研究の視点と主な審議内容

□各教科共通の観点について

4 使用上の便宜

	観点	調査研究の視点と主な審議内容
イ	<p>発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。</p>	<p>△【開隆堂】【光村】【日文】→ ○（審議を受け所見の記述も変更） 発展的な学習内容も取り扱っているが、それ以外と区別して特に明示されていない。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>・教科特性から、発展的な内容との区別をあえてつけていないとも考えられる。美術科教育からすると、課題が残るとは言えない。共通の観点の趣旨にこだわって評価した結果、課題が残るとなるのは教科の特質を損なうことになるのではないか。</p> </div>

□美術の観点について

すべての観点において調査会の評価どおり

□各教科共通の観点（美術） 教科書会社名（開隆堂）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成できるような内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	生徒の発達段階を考慮した内容になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した内容を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	目次の中で、表現中心の題材と鑑賞中心の題材を整理している。巻頭には、小学校図画工作との接続を意識したものがあり、中学校美術の学びの見通しが示されている。また、各ページに他教科と関連付けて学習できる内容が示され、系統的・発展的な指導ができるよう、配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	作品解説や作者の言葉が示されており、言語活動の充実を促す配慮がなされている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各領域の先頭ページでは、学習の目的・意義や流れが掲載され、学びの全体像を把握できるようになっており、生徒の興味・関心を喚起する構成になっている。また、共に学ぶ美術として、共同制作や美術を通して友人や地域の人たちとの交流のよさについてもふれられており、「自学・とも学」を効果的に行うことが期待できる。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	同じ題材、同じ用具・材料であっても、様々な表現方法の作品が掲載され、多様な表現方法が認められている。また、デザインや工芸の見方や考え方を通して、未来の在り方について考えられるような構成になっている。さらに、人それぞれの違いを個性として尊重するような内容も扱われており、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮がなされている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	安全に関する注意点を、マークで示し、視覚的に注意を促している。また、肖像権や著作権についてふれており、指導への配慮がなされている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。美術に関する専門用語については、各ページで解説し、学習内容がスムーズに理解できるようにしている。	◎	◎
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。第1学年、第2学年及び第3学年の内容が、2冊の構成で取り扱われている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各領域及び内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習する上で参考となるページや関連付けて学習できるページが示され、学習の深まりに有効に働くように配置されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容について特に区別して明示されていないが、発展的な学習内容は取り扱われている。	△	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるような配色が工夫されている。見やすく読み間違えにくいユニバーサル書体で表記されている。	○	○

□美術の観点 教科書会社名（ 開隆堂 ）

美術の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
1 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる内容になっていること。	全題材を通じて、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる内容になっている。また、福岡市美術館蔵の作品が掲載され、地域にある美術文化に豊かに関わることが期待される。	○	○
2 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっていること。	様々な視点でみることを促す説明や、一つの作品を複数の角度から撮影した資料も多い。また、形や動きを観察して、様々な方法で表したいもののイメージを捉えられるような内容も掲載されており、生徒の創意工夫を導くものとなっている。	◎	◎
3 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっていること。	作品に記載された、解説や作者の言葉には、表現の意図や発想・構想、素材や技法等についての工夫が取り上げられ、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるような内容になっている。	○	○
4 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う内容になっていること。	生徒作品や国内外の多様な作家作品を参考作品として紹介し、生徒の興味・関心を高めるものとなっている。参考作品には、作者の言葉を付け、作品への思いを感じられるようになっている。また、美術が社会で活用されている事例も多く取り上げられている。	○	○
5 「思考力、判断力、表現力」等を高めるために、言語活動の充実を図るような内容になっていること。	各ページに示された「学習のポイント」が、題材によって「～について話し合ってみよう」や「～を伝え合おう」と設定されており、生徒同士の対話活動や「思考力、判断力、表現力」等を高めるために、言語活動の充実を図るような内容になっている。	○	○
6 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現のために、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図る内容になっていること。	題材の冒頭に、生徒が見通しをもって活動できるよう、表現及び鑑賞に関する資質・能力が相互に関連させるような内容を示している。また、交流の視点を明確にしており、生徒同士の主体的・対話的で深い学びの実現が期待できる内容が示されている。	◎	◎
7 《A表現》の活動においては、発想や構想に関する資質・能力を育成する全ての事項に「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっていること。	各領域の先頭のページでは、学習の目的・意義や流れが掲載され、学びの全体像が把握できるようになっており、生徒が自ら主題を生み出し、表現活動に取り組むことのできる内容になっている。	○	○
8 《B鑑賞》の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保する内容になっていること。	国内外の多様な作家作品や生徒作品等が取り上げられ、授業時数及び内容は適切かつ十分である。	○	○
9 「共通事項」の指導に当たっては、「福岡スタンダード」の「とも学」の観点から、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞の学習に必要な資質・能力を育成することができるような内容になっていること。	各題材において、対話的な活動を通じて表現や鑑賞に取り組み、問題解決をするような内容になっている。また、共同制作や地域とのかかわりを学ぶような内容も取り扱われており、「とも学」に導くものとなっている。	◎	◎
10 事故防止のため、特に、刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導などの徹底が図られる内容になっていること。	安全指導の必要な題材には、注意を喚起するマークと用具の安全な使い方や配慮すべき内容が示されている。また、道具の安全な使い方について、教科書に掲載された写真やページに掲載されているQRコードを読み取ることで、動画を視聴することもできる。	○	○

□各教科共通の観点（美術） 教科書会社名（光村図書）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の範囲及び程度 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成できるような内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	生徒の発達段階を考慮した内容になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した内容を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 内容に関する配慮事項 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	目次の中で、表現中心の題材と鑑賞中心の題材を整理している。巻頭には、小学校図画工作との接続を意識したコーナーがあり、中学校美術の学びの見通しが示されている。また、他教科との関連を示すコラムを設けたり、道徳科との関連を示したりして系統的・発展的な指導ができるよう、配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	作者の言葉を示したり、巻末に美術鑑賞を広げる言葉を示したりする等、言語活動の充実を促す配慮がなされている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒の表現過程や工夫、友人からのアドバイスを生かした発想を紹介することで、「自学・とも学」を効果的に行うことが期待できる。また、鑑賞の題材においては、比べて鑑賞し理解を深めたり、トレーシングペーパーを活用して体験的に鑑賞を深めたりと、生徒が主体的・対話的で深い学びが促されるよう、工夫されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	同じ題材、同じ用具・材料であっても、様々な表現方法の作品が掲載されており、多様な表現方法が認められている。また、ユニバーサルデザインに関する題材や、LGBTやマナー等に関するメッセージを伝える題材等が取り扱われ、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮がされている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	安全についての注意事項を、色やマークを工夫して視覚的に注意を促している。また、著作権に関する注意やプライバシー保護についても取り扱っており、指導への配慮がなされている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○	○
3	ア 分量 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。第1学年、第2学年及び第3学年の内容が、2冊の構成で取り扱われている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各領域及び内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	ア 使用上の便宜 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習する上で参考となるページや関連付けて学習できるページが示され、学習の深まりに有効に働くように配置されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容について特に区別して明示されていないが、発展的な学習内容は取り扱われている。	△	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるような配色が工夫されている。小さく掲載する文字については、見やすく読み間違えにくいユニバーサル書体で表記されている。	○	○

□美術の観点 教科書会社名（ 光村図書 ）

美術の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
1 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる内容になっていること。	巻頭のページに、全国の中学生在が感じた美しい瞬間や風景を掲載し、身の回りにおける自然物や人工物等の造形や美術の働きを感じ取ったり、形や表情等から感じるよさや美しさとともに、作品に込められた作者の心情や意図を感じたりすることができるような構成になっている。	○	○
2 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっていること。	生徒の表現過程や工夫、アイデアスケッチ等が掲載され、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっている。	○	○
3 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっていること。	作品に記載された、解説や作者の言葉には、表現の意図や発想・構想、素材や技法等についての工夫が取り上げられ、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるような内容になっている。	○	○
4 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う内容になっていること。	生徒作品や国内外の多様な作家作品を参考作品として紹介し、生徒の興味・関心を高めるものとなっている。参考作品には、作者の言葉を付け、作品への思いを感じられるようになっている。また、日本の伝統文化や四季のある暮らしのよさに気付くことができるような内容が取り上げられている。	○	○
5 「思考力、判断力、表現力」等を高めるために、言語活動の充実を図るような内容になっていること。	「思考力、判断力、表現力」等を高める際に活用できる方法として、マッピングを用いてイメージを言語化して表現につなげたり、グループで付箋を活用して話し合ったりする方法を紹介し、言語活動の充実を図るような内容になっている。	○	○
6 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現のために、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図る内容になっていること。	各題材のページに鑑賞の視点が示されている。特に、表現中心の題材の場合には、鑑賞→表現→鑑賞の構成になっており、表現及び鑑賞に関する資質・能力が相互に関連させた学習の充実を図る内容になっている。	◎	◎
7 《A表現》の活動においては、発想や構想に関する資質・能力を育成する全ての事項に「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっていること。	各ページに学習する目的を、生徒の頭に浮かびやすい言葉で示している。完成作品だけでなく、発想・構想の過程が多く掲載され、「主題を生み出すこと」に近づくような内容になっている。	○	○
8 《B鑑賞》の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保する内容になっていること。	国内外の多様な作家作品や生徒作品等が取り上げられ、授業時数及び内容は適切かつ十分である。	○	○
9 [共通事項]の指導に当たっては、「福岡スタンダード」の「とも学」の観点から、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞の学習に必要な資質・能力を育成することができるような内容になっていること。	生徒の表現過程や工夫、友人からのアドバイスを生かした発想を紹介しており、「とも学」の観点から表現や鑑賞の学習に必要な資質・能力の育成に有効な内容になっている。	○	○
10 事故防止のため、特に、刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導などの徹底が図られる内容になっていること。	黄色い注釈と目を引くマークによって注意を喚起し、安全指導の徹底が図られている。また、道具の安全な使い方について、教科書に掲載された写真やページに掲載されているQRコードを読み取ることで、動画を視聴することもできる。	○	○

□各教科共通の観点（美術） 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成できるような内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	生徒の発達段階を考慮した内容になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した内容を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	目次の中で、表現や鑑賞する活動の題材、鑑賞する活動を主にした題材を整理している。巻頭には、小学校図画工作から中学校美術の3年間の学びの見通しが示されている。また、表紙に「美術との出会い」「学びの実感と広がり」「学びの探求と未来」という言葉を入れ、系統的・発展的に学びが進むことが意識できるよう、配慮されている。	◎	◎
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	作品解説や作者の言葉が示されており、言語活動の充実を促す配慮がなされている。また、身に付けたい力や造形的な視点が提示されていることで、作品をみる視点が明確になるだけでなく、対話活動にもつながる視点となっている。	◎	◎
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	友人と対話しながら豊かに発想している様子や構想している様子の写真があり、「自学・とも学」を効果的に行うことが期待できる。また、作品の写真が原寸大で提示されていたり、実際に折り曲げて奥行き等の見方の違いを確認したりと、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	同じ題材、同じ用具・材料であっても、様々な表現方法の作品が掲載されており、多様な表現方法が認められている。また、ユニバーサルデザインに関する題材や、障がい者理解につながる題材、見方の多様性を広げる内容、ジェンダー教育の視点につながるような題材、震災や戦争と美術の関連を扱った題材等が取り扱われ、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮がされている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	作品をつくる上での安全面や活動する際の注意点を、マークで示し、視覚的に注意を促している。また、美術作品や写真等の著作権についてふれており、指導への配慮がなされている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。学年に応じて使用できるように3冊の構成になっており、全体の分量は適度である。	◎	◎
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各領域及び内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習する上で参考となるページや関連付けて学習できるページが示され、学習の深まりに有効に働くように配置されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容について特に区別して明示されていないが、発展的な学習内容は取り扱われている。	△	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるような配色が工夫されている。見やすく読み間違えにくいユニバーサル書体で表記されている。写真や絵が鮮明である。	○	○

□美術の観点 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

美術の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
1 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる内容になっていること。	アイデアスケッチや、国内外の作家作品、制作過程の写真、社会の中の美術作品を数多く取り上げ、生徒が豊かに関わる内容になっている。表現と鑑賞がバランスよく配置されており、鑑賞作品の提示の仕方に多くの工夫が見られる。また、巻末には、福岡市美術館が紹介されており、地域にある美術文化に豊かに関わることが期待される。	○	○
2 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっていること。	多くのページに、造形的な見方や捉え方の視点が明瞭に示され、表現の創意工夫につながるものとなっている。また、作品制作に導くアイデアスケッチをふんだんに提示し、生徒の創意工夫を導くものとなっている。	◎	◎
3 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっていること。	作品に記載された、解説や作者の言葉には、表現の意図や発想・構想、素材や技法等についての工夫が取り上げられ、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるような内容になっている。また、発想・構想の手立ての方法をいくつか示し、個に応じた考え方ができるような内容も掲載されている。	◎	◎
4 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う内容になっていること。	生徒作品や国内外の多様な作家作品を参考作品として紹介し、生徒の興味・関心を高めるものとなっている。参考作品には、作者の言葉を付け、作品への思いを感じられるようになっている。また、SDGsの視点に立った題材や事例も多く取り上げられている。	○	○
5 「思考力、判断力、表現力」等を高めるために、言語活動の充実を図るような内容になっていること。	「造形的な視点」という吹き出しが、各ページにあり、生徒同士の対話活動や「思考力、判断力、表現力」等を高めるために、言語活動の充実を図るような内容になっている。	○	○
6 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現のために、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図る内容になっていること。	各題材のページに「造形的な視点」を示し、何を考えさせたいのかが明確になっている。各題材の表現と鑑賞を相互に関連させた学習の充実が図れるよう、参考作品や作者の言葉、生徒が生き生きと活動している様子を写した写真等が効果的に盛り込まれている。	◎	◎
7 《A表現》の活動においては、発想や構想に関する資質・能力を育成する全ての事項に「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっていること。	各ページに学習する目的を、生徒の頭に浮かびやすい言葉で示している。また、生徒の興味・関心を引き出すような題材名を工夫し、「主題を生み出すこと」ができる内容になっている。	○	○
8 《B鑑賞》の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保する内容になっていること。	国内外の多様な作家作品や生徒作品等が取り上げられている。また、鑑賞する活動を主にした題材が全体の3分の1程度入っており、六曲の屏風作品を実際に折り曲げて鑑賞できる工夫が見られる等、適切かつ十分な授業時数を確保する内容になっている。	◎	◎
9 [共通事項]の指導に当たっては、「福岡スタンダード」の「とも学」の観点から、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞の学習に必要な資質・能力を育成することができるような内容になっていること。	より分かりやすく情報を伝える活動を掲載したり、共同制作や鑑賞の場面での共に制作し、学んでいる様子の写真を掲載したりするなど、[共通事項]をふまえた「とも学」に導くものとなっている。また、福岡市章が取り上げられており、シンボルマークを身近なものとして考えることが期待できる。	◎	◎
10 事故防止のため、特に、刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導などの徹底が図られる内容になっていること。	「注意しよう」というマークと言葉があり、安全面に配慮したことが的確に提示してある。また、道具の安全な使い方について、教科書に掲載された写真やページに掲載されているQRコードを読み取ることで、動画を視聴することもできる。	○	○

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 保健体育

調査研究の視点と主な審議内容

□各教科共通の観点について

2 内容に関する配慮事項

	観点	調査研究の視点と主な審議内容
ウ	多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	◎【東書】→調査会の評価どおり 学習課題やキーワードについては、他の出版社においても記載されているが、「活用する」「広げる」項目を設けてある点について生徒の興味・関心を生かし、「自学・とも学」につながっていく。
オ	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	○【東書】【大日本】【大修館】【学研】→調査会の評価どおり ただし審議を受け所見の記述を変更 各出版社において特筆すべきものはないが、安全・衛生面の記載については配慮されている。 ・技能教科については、安全面・衛生面が重要なのではないかと。所見の文言について、具体的に記述する必要がある。

5 印刷・製本

	観点	調査研究の視点と主な審議内容
	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	△【東書】【大日本】【大修館】→調査会の評価どおり 各ページに掲載されている資料の文字が小さかったり、1ページにおける情報量が多かったりするため、すべての生徒にとって使いやすい構成ではない。 ・学習内容と授業時数のバランスからすると、あえて情報量を多く掲載していることの方が、中学生の発達段階には合っているのではないかと。たくさんの情報の中から自分に必要なものを各自で選んでいくこともできるのではないかと。

□保健体育の観点について

観点		調査研究の視点と主な審議内容
保健分野 2	個人生活における健康に関する課題を解決することを重視する観点から、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっていること。	<p>◎【東書】→調査会の評価どおり 感染症の例や感染経路や、過去の「緊急事態宣言」についての記載があり、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組むことができるようになっている。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症の取扱いについて、他の出版社はどのようになっているか。 </div>

□各教科共通の観点 (保健体育) 教科書会社名 (東京書籍)

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現につながるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	各学年での内容が分かりやすく配列されている。保健編では単元のはじめに小学校の振り返りの記述があるが、わかりやすい接続になっているとは言えない。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	単元のはじめに小学校・高校との関連と道徳との関連について記載している。単元の中でも小学校での学習の振り返りが明記しており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各単元で「見つける」「課題の解決」「広げる」という流れで構成され、課題や資料が充実しており、自分の考えをまとめたり、言語活動の充実しやすい構成となっている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が行いやすい内容となっている。単元ごとに「活用する」「広げる」項目が設けてあり、生徒の興味・関心を生かした「自学・とも学」につながる、主体的・対話的で深い学びの実現が促しやすい構成となっている。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	各単元の「課題解決」では、学習課題を受けて、思考、判断、表現を大切にしながら「考えること」「やってみること」など、ヒントや資料をわかりやすく例示しており、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導がしやすい配慮がされている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体育編において、「運動スポーツの安全な行い方」で安全な運動やスポーツの条件、スポーツの準備と安全対策を取り扱っており、配慮がなされている。衛生面についても感染症の予防として、手洗いの方法について資料が掲載されている。	○	○
カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	章末資料やインターネットを使った学習ができるよう、独自のコンテンツを紹介するなど資料が充実している。資料がより専門的で量も多いが、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりというわけではない。	○	○	
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	各単元ごとに毎時間の流れが明示してあるが、情報量が多く、教師の技量が問われる。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	各学年、単元とも授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	領域及び内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	イラスト、資料等、情報量が多く、学習の深まりに有効に働くように配置されている。他教科との関連や学校行事、地域との結びつきなどの記述や資料は見られるが、カリキュラム・マネジメントの充実を配慮した構成までとはなっていない。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	章末資料として位置づけられ、明確に区別できる。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	本文は問題ないが、資料やポイントの字は情報量が多い分小さく感じられる。	△	△

□保健体育の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

保健体育の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
体育分野	1 基礎的な知識の確実な定着を図ることができるように、各領域に共通する内容や、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、高等学校への接続を考慮した構成となっていること。	各領域に共通する内容や、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、単元のはじめに高等学校で学習する内容を示す等、高等学校への接続を考慮した構成となっている。	○	○
体育分野	2 「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されていること。	「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されている。各学年で履修する内容ごとに整理されており、章末資料も充実している。	○	○
保健分野	1 「健康な生活と疾病の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」及び「健康と環境」の4つの内容で構成されていること。	「健康な生活と疾病の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」及び「健康と環境」の4つの内容で構成されている。各学年で履修する内容ごとに整理されており、章末資料も充実している。	○	○
保健分野	2 個人生活における健康に関する課題を解決することを重視する観点から、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっていること。	保健編6章の「健康な生活と疾病の予防」において、新型コロナウイルスについての記載はないが、感染症の広がり方や予防について、自他の健康に関する課題を発見し、より良い解決に向けて取り組む思考力、判断力等を育成する内容となっている。	◎	◎
保健分野	3 小学校及び高等学校の内容を踏まえた系統性のある指導ができる内容になっていること。	単元のはじめに小学校・高等学校との関連について明記してある。振り返りで小学校の記述は多少みられるが、高等学校への発展の記述は少ない。	○	○
保健分野	4 ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が示されていること。	ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が示されている。ストレスへの対処に関しては、資料がたくさんあるが、文字が小さく、履修時間がかかるように感じる。応急手当の手順等、細かく示してあるが、1ページにまとめようとしており、文字が小さく読みにくい。実習資料として様々な心肺蘇生技能が図や写真で示されており、わかりやすい。	○	○
保健分野	5 体育分野と保健分野の関連を図ることはもとより、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連を図り、日常生活における体育・食育・健康に関する活動が適切かつ継続的に実践することができる内容になっていること。	単元のはじめに「偉人の紹介」というコーナーを設けることで、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連が図られている。	○	○
保健分野	6 自他の健康に関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する主体的・対話的で深い学びにつながる指導方法の工夫を行うことができる内容になっていること。	すべての単元の中で疑問点や課題が提示されており、話し合い活動やロールプレイング、ブレインストーミングなどの学習方法がしやすい内容構成になっており、主体的・対話的で深い学びにつながる指導方法の工夫を行うことができる内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（保健体育） 教科書会社名（大日本図書）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	心と体を一体としてとらえ、健康を保持増進し、生涯にわたって豊かなスポーツライフの実現につながるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	小学校で学習した内容についての記載があり、接続を意識しやすいように配慮してある。また、各学年の発達段階に適応した内容となっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	単元はじめのページに高等学校で学習する内容についての記載があり、関連付けながら系統的・発展的に指導することができる内容となっている。また、単元によっては他教科との関連を図る記載がされている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各単元、自分の考えを書く活動やグループで話し合う活動が位置づけられており、言語活動の充実について配慮されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各単元、「つかもう」、「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」、「活用して深めよう」という順番で構成されており、基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習に取り組むことができる内容となっている。イラストや写真は多く使用されているが、ページによって情報量に差があり、生徒が関心・意欲を高め主体的に学びに向かうことができるかは使い方次第である。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	各単元、「学びを活かそう」のページで、まとめとして考えを伝えあったりする場面が設定されており、互いの個性や価値観などの違いを理解、認識し、互いの多様性を認め合いながら学習を展開し、生徒が学習内容を確実に身につけることができるよう、個に応じた指導への配慮がされている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体育編において、「安全な運動やスポーツの行い方」で安全面、資料として熱中症の予防と対応について取り上げられている。衛生面についても、「感染症の予防」で資料を掲載し、配慮がなされている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容については、目標や内容の趣旨を逸脱しておらず、生徒の負担が過重となる内容ではない。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、標準時数と照らして適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野において、偏りなく配分されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	写真、イラスト、資料が豊富に使用されており、学習の深まりに有効に働くように配置されている。カリキュラム・マネジメントの充実につながるかは使い方次第である。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	学習指導要領の範囲外の内容については、「発展」の表記がされており、発展的な学習内容であることが明示されている。	○	○
5	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインフォントを使用しており、印刷は鮮明で見やすいが、ページによっては情報量が多いため、すべての生徒にとって使用しやすいとは言い難い。	△	△

□保健体育の観点 教科書会社名（ 大日本図書 ）

保健体育の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
体育分野	1 基礎的な知識の確実な定着を図ることができるように、各領域に共通する内容や、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、高等学校への接続を考慮した構成となっていること。	各領域に共通する内容についてはリンクできるような記載があり、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、基礎的な知識の定着を図ることができるようになっている。また、単元のはじめに高等学校で学習する内容についての記載があり、高等学校への接続を考慮した構成となっている。	○	○
体育分野	2 「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されていること。	「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されている。	○	○
保健分野	1 「健康な生活と疾病の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」及び「健康と環境」の4つの内容で構成されていること。	「健康な生活と病気の予防」、「心身の発達と心の健康」、「傷害の防止」、「健康と環境」の4つの内容で構成されている。	○	○
保健分野	2 個人生活における健康に関する課題を解決することを重視する観点から、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっていること。	各単元、「やってみよう」、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」という場面が設定されており、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっている。	○	○
保健分野	3 小学校及び高等学校の内容を踏まえた系統性のある指導ができる内容になっていること。	各単元のはじめに、小学校で学習した内容、高等学校で学習する内容についての記載があり、系統性のある指導ができる内容になってはいるが、情報量は少ないため使い次第である。	○	○
保健分野	4 ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が示されていること。	ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が示されている。応急手当に関しては見開きで写真を活用し詳しく説明している。	○	○
保健分野	5 体育分野と保健分野の関連を図ることはもとより、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連を図り、日常生活における体育・食育・健康に関する活動が適切かつ継続的に実践することができる内容になっていること。	イラストや写真、トピックスや資料を豊富に掲載していることで、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連を図り、日常生活における体育・食育・健康に関する活動が適切かつ継続的に実践することができる内容になっている。	○	○
保健分野	6 自他の健康に関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する主体的・対話的で深い学びにつながる指導方法の工夫を行うことができる内容になっていること。	イラストや写真、資料から生徒が主体的に学ぶための意欲・関心が喚起される内容となっている。また、話し合う場面や学習した内容を活用して深めるための活動が設定されているので、深い学びにつながる内容となっている。	○	○

□各教科共通の観点（保健体育） 教科書会社名（大修館書店）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	心と体を一体としてとらえ、健康を保持増進し、生涯にわたって豊かなスポーツライフの実現につながるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	小学校で学習した内容についての記載があり、接続を意識しやすいように配慮してある。また、各学年の発達段階に適切した内容となっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	単元はじめのページに小学校で学習した内容、高等学校で学習する内容についての記載があり、関連付けながら系統的・発展的に指導することができる内容となっている。他教科との関連を図る情報は不足している。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各単元、学習のまとめとして自分の考えを書く活動であったりグループで伝えあったりする活動が位置づけられており、言語活動の充実について配慮されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各単元、「つかむ」、「身につける・考える」、「まとめる・振り返る」という順番で構成されており、その中で多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習について重視されている。また、イラストや写真が豊富に使用されており、生徒が関心・意欲を高め主体的に学びに向かうことができる構成となっている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	各単元に様々な立場からの考えが記載されていたり、学習のまとめとして考えを伝えあったりする場面が設定されている。また、互いの個性や価値観などの違いを理解、認識し、互いの多様性を認め合いながら学習を展開し、生徒が学習内容を確実に身につけることができるよう、個に応じた指導への配慮がされている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体育編において、スポーツや運動の際の準備運動、体調の変化、周囲の安全に注意することを取り上げており、配慮がなされている。衛生面では、「感染症の予防」で3つの対策を取り上げるなど、配慮がなされている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容については、目標や内容の趣旨を逸脱しておらず、生徒の負担が過重となる内容ではない。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、標準時数と照らして適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野において、偏りなく配分されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	写真、イラスト、資料が豊富に使用されており、学習の深まりに有効に働くように配置されている。カリキュラム・マネジメントの充実につながるかは使い次第である。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	学習指導要領の範囲外の内容については、「発展」の表記がされており、発展的な学習内容であることが明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインフォントの使用や、カラーユニバーサルデザインに配慮してあり見やすいが、本文、イラスト、写真、資料、コラムと1ページの情報量が多いためすべての生徒にとって使用しやすいとは言い難い。	△	△

□保健体育の観点 教科書会社名（ 大修館書店 ）

保健体育の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
体育分野	1 基礎的な知識の確実な定着を図ることができるように、各領域に共通する内容や、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、高等学校への接続を考慮した構成となっていること。	各領域に共通する内容や、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、基礎的な知識の定着を図ることができるようになっている。また、単元のはじめに高等学校で学習する内容についての記載があり、高等学校への接続を考慮した構成となっている。	○	○
体育分野	2 「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されていること。	「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの効果・学び方・安全」、「文化としてのスポーツ」の3つの内容で構成されている。	○	○
保健分野	1 「健康な生活と疾病の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」及び「健康と環境」の4つの内容で構成されていること。	「健康な生活と疾病の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」、「健康と環境」の4つの内容で構成されている。	○	○
保健分野	2 個人生活における健康に関する課題を解決することを重視する観点から、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっていること。	各単元、課題をつかむ場面、考えを深める場面、考えをまとめる場面が設定されており、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっている。	○	○
保健分野	3 小学校及び高等学校の内容を踏まえた系統性のある指導ができる内容になっていること。	各単元のはじめに、小学校で学習した内容、高等学校で学習する内容についての記載があり、系統性のある指導ができる内容にはいるが、情報量は少ないため使い方次第である。	○	○
保健分野	4 ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が示されていること。	ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容は、実習も含め示されている。	○	○
保健分野	5 体育分野と保健分野の関連を図ることはもとより、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連を図り、日常生活における体育・食育・健康に関する活動が適切かつ継続的に実践することができる内容になっていること。	様々な立場の考えや価値観が記載されていることや、多様なイラストや写真、コラムや資料を豊富に掲載していることで、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連を図り、日常生活における体育・食育・健康に関する活動が適切かつ継続的に実践することができる内容になっている。	○	○
保健分野	6 自他の健康に関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する主体的・対話的で深い学びにつながる指導方法の工夫を行うことができる内容になっていること。	イラストや写真、資料から生徒が主体的に学ぶための意欲・関心が喚起される内容となっている。また、学習のまとめとして自分の考えを書いたり、グループで伝えあう活動が設定されていたりするので、対話活動の充実や、深い学びにつながる内容となっている。	○	○

□各教科共通の観点（保健体育） 教科書会社名（ 学研教育みらい ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフの実現につながるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	各学年の発達段階に即した内容・配列となっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	単元のはじめに、他学年との関連について記載があるとともに、「関連」アイコンを要所に設定することで、系統的・発展的に指導できる内容になっている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	1時間の学習の流れの中で、自分が考えたり調べたりしたことを基に、ディスカッションやブレインストーミングなどの場面設定がされている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	インターネットやデジタル教材で学習を広げたり深めたりできるように、「教科書サイト」のアイコンが設定されていることで、日常生活にある課題について、自ら主体的に学ぶことができるように配慮されている。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	1時間の学習の流れの中に、互いの個性や価値観などの違いを理解、認識し、互いの多様性を認め合いながら学習を展開し、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされている。しかしながら、「SDGs」の紹介はあるものの、持続可能な社会の創り手を目指したものに繋がっているとは言い難い。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体育編において、スポーツ活動における自己管理や、スポーツ活動の安全について、野外活動の安全な行い方が取り扱われている。衛生面についても、感染症の例とその特徴や経路について、感染経路についての対策が取り上げられており、配慮がなされている。	○	○
カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	単元末に取り上げられている発展的な学習内容について、学習指導要領の趣旨を逸脱した内容はない。生徒がさらに保健の見方・考え方を働かせることができる内容が位置付けられている。	○	○	
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切であると言える。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	各分野において、授業時数に照らして図書の内容が適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野において、偏りなく配分されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	写真、イラスト、図、本文等、学習の深まりに有効に働くよう適切に配置されており、重要なポイントには「教科書サイト」アイコンを示している。また、課題をつかみ、その解決に向けて、知識や情報を基に考えたり話し合ったりしながら学習を進める構成は、カリキュラム・マネジメントの充実を考慮したものになっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	単元末に「探求しようよ！」というコーナーが位置付けられ、明確に区別できる。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体等は適切である。重要な用語を太字表記にしている。また「この教科書の使い方」というページを設けており、学習の見通しを立てることがしやすくなっている。	◎	◎

□保健体育の観点 教科書会社名（ 学研教育みらい ）

保健体育の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
体育分野	1 基礎的な知識の確実な定着を図ることができるように、各領域に共通する内容や、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、高等学校への接続を考慮した構成となっていること。	各領域に共通する内容や、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、単元のはじめに高等学校で学習する内容を示す等、高等学校への接続を考慮した構成となっている。	○	○
体育分野	2 「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されていること。	「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されている。	○	○
保健分野	1 「健康な生活と疾病の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」及び「健康と環境」の4つの内容で構成されていること。	「健康な生活と疾病の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」及び「健康と環境」の4つの内容で構成されている。	○	○
保健分野	2 個人生活における健康に関する課題を解決することを重視する観点から、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっていること。	「考える・調べる」というコーナーで、学習した知識や情報を基に、考えたり、調べたり、話し合ったりすることができるように設定しており、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっている。	○	○
保健分野	3 小学校及び高等学校の内容を踏まえた系統性のある指導ができる内容になっていること。	単元のはじめに小学校・高等学校で学習する内容を示す等、小学校及び高等学校の内容を踏まえた系統性のある指導ができる内容になっている。	○	○
保健分野	4 ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が示されていること。	各分野において、実習のコーナーを設定するなど、ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が詳細に示されている。	◎	◎
保健分野	5 体育分野と保健分野の関連を図ることはもとより、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連を図り、日常生活における体育・食育・健康に関する活動が適切かつ継続的に実践することができる内容になっていること。	単元のはじめに「ひと」というコーナーを設けることで、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連が図られている。	○	○
保健分野	6 自他の健康に関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する主体的・対話的で深い学びにつながる指導方法の工夫を行うことができる内容になっていること。	単元末に「もっと広げる深める」というコーナーを設けることで、自他の健康に関心をもち、健康に関する課題を解決する主体的・対話的で深い学びにつながる指導方法の工夫を行うことができる内容になっている。	○	○

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 技術

調査研究の視点と主な審議内容

□各教科共通の観点について

2 内容に関する配慮事項

	観点	調査研究の視点と主な審議内容
イ	読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	<p>◎【東書】→調査会の評価どおり</p> <p>ブレインストーミングやKJ法などについては、すべての教科等で扱うものであるが、技術における具体的な学習方法として示してあることは、授業を進めていくうえで適切であると考えられる。他の出版社にも掲載はあるが、東京書籍については、より詳しく記述されている点を評価した。具体的な授業場面での活用については、プログラミングなどチームで活動する際にふせん紙を使って互いの考えを出し合ったり、分業して活動したりする際に効果的であると考えられる。</p>

□技術の観点について

すべての観点において、調査会の評価どおり

□各教科共通の観点（技術分野） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することができるよう、各内容が「技術の原理・法則と仕組み」「技術による問題解決」「社会の発展と技術」で構成されている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	写真やイラストが分かりやすく、内容も発達段階に即している。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	全内容、不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	内容のはじめに各内容で学ぶことについて小学校・他教科とのつながりを示している。また、各内容の中では小学校のマークと他教科のマークを使い、系統的・発展的なことがわかるように示している。さらに、リンクのマークで他の内容との系統性を示している。	◎	◎
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	巻頭資料に言語活動の充実を図るための学習方法を紹介しており、各内容においては活動マークを付け対話等を深められるように工夫されている。	◎	◎
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	豊富な作品例により問題の発見と課題の設定について明確に記載しており、問題発見から課題の設定および、工夫例まで一連の流れで記載されている。また、キャラクターの会話により主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	レベルに合わせた作品が紹介されている。また「SDGsとTechnology」では、持続可能な開発目標について技術が果たしている重要な役割を紹介し、持続可能な社会の構築に寄与する態度が養えるように配慮されている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	製作等の題材では、「安全」「衛生」マークが示されており、注意すべき内容が明確に書かれている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱していないため、生徒の負担が過重となることはない。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	内容が精選されており、分量は適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	授業数に応じて学習指導要領の内容及び取扱いの事項について適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	[A 材料と加工の技術][B 生物育成の技術][C エネルギー変換の技術][D 情報の技術]の内容が全体を通して偏りなく調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文に沿った図がすべてのページに掲載されているので関連したものも多く充実している。[A 材料と加工の技術]では作業の説明の写真が小さいが、QRコンテンツ動画を使用することで学習を深められるようになっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容は取り扱っていない。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明である。行間など整理されており、見やすい。UDフォントが使用されているため、読み取りやすい。	○	○

□技術・家庭の観点（技術分野） 教科書会社名（ 東京書籍 ）

技術・家庭の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ることができる内容になっていること。	各内容の2章・3章の最後のページに「問題解決カード・未来のTechnology」というページを掲載しており、自分の考えをまとめ、説明する学習活動の充実につながる内容となっている。	○	○
共通	2 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、実践的・体験的な活動の充実を図る内容になっていること。また学習内容と将来の職業の選択や生き方との関わりについて扱っていること。	「やってみよう」の項目や活動のマークで体験的な活動の充実を図っている。また、「技術の匠」ではその単元での学習内容に近い職業の紹介がされているので、具体的な職業をイメージしやすい内容となっている。職業や技術に関することではイラストではなく写真を多く使用しており、視覚的にイメージしやすく考えを深める内容となっている。	○	○
共通	3 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動の充実とともに、家庭や地域社会、企業などとの連携を図るよう配慮した内容になっていること。	各内容において問題の発見と課題を設定した実習例を示している。「技術の匠」では社会における様々な技術を紹介しており地域社会、企業との連携などが図れるような内容となっている。	○	○
共通	4 実習にあたっては、火気、用具、材料などの取扱いに注意した事故防止及び安全と衛生に十分留意した内容になっていること。	題材ごとに、「安全」マーク(緑色)・「衛生」マーク(赤色)が示されており、留意すべき点を生徒に分かりやすい言葉で明記している。また、文字が他の記載よりも太字で表され、注意を引きやすい。	○	○
共通	5 授業時数については いずれかの分野に偏ることなく配当されていること。	全体的に内容が精選されており、分量は適切である。[A 材料と加工の技術][B 生物育成の技術][C エネルギー変換の技術][D 情報の技術]の内容が全体を通して偏りなく配当されている。	○	○
技術分野	1 《A材料と加工の技術》、《B生物育成の技術》、《Cエネルギー変換の技術》、《D情報の技術》については、それぞれに関する基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めることができる内容になっていること。	各内容の最初のページに技術の最適化という項目を掲示し、生活や社会、環境との関わりを意識するきっかけとなる内容となっている。	○	○
技術分野	2 生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、制作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養うことができる内容になっていること。	各内容の2章で課題の設定から評価まで具体的に記載されている。問題解決例も充実しており課題に対する取り組みの方法を考えるきっかけとなる内容になっている。	○	○
技術分野	3 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度(知的財産を創造、保護及び活用しようとする態度、技術に関わる倫理観、一人ひとりが自らの個性を生かすとともに、多様な人々と共にかかわっていこうとする態度等)を養うことができる内容になっていること。	環境マークや情報モラルマークなどを活用し視覚的にわかりやすくしている。また、巻末資料に知的財産に関することや持続可能な社会の実現に向けた取り組みを記載しており写真や図から理解しやすい内容となっている。	○	○

□各教科共通の観点（技術分野）教科書会社名（教育図書）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	それぞれの内容の取扱いが学習指導要領に沿った構成になっていて、「技術の原理・法則と仕組み」「技術による問題解決」「社会の発展と技術」で構成されている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	学年相応の内容になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	全内容、不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各内容の冒頭に、リンクのマークで小学校・他教科とのつながりを示しているが、系統性の記述が乏しい。	△	△
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「やってみよう」(71, 178頁)においてのみ、対話を深めさせる工夫がされている。言語活動の充実の観点からいくと非常に少ない。また、内容も抽象的である。	△	△
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	身の回りの問題を解決する工夫の項はあるものの、問題や問題に対する課題設定が抽象的である。	△	△
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	製作例のバリエーションを多く掲載して多様な生徒への対応が可能であるが、エネルギー変換の製作例がやや難易度が高い。また、SDGsについて取り上げ、持続可能な社会の連携について取り上げられている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	安全・衛生にそれぞれマークがあり、ハンドブックでより詳しく説明がされている。安全のマークが赤で示されているところも目を引くので意識しやすい。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱していないため、生徒の負担が過重となることはない。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	内容が精選されており、分量は適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	授業数に応じて学習指導要領の内容及び取扱いの事項について適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	[A 材料と加工の技術][B 生物育成の技術][C エネルギー変換の技術][D 情報の技術]の内容が全体を通して概ね調和がとれているが、[D 情報の技術]のプログラミングに関する記述がやや多い。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習の流れに沿った資料や図、写真が適宜使用されており、学習の深まりを考慮して構成されているが、1頁の情報量がやや多い。また、写真に関しては、ぼやけているものもある。ハンドブックに関しては、使用方法や作業手順がわかりやすくまとめられている。	△	△
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な内容を取り上げているが、マークがやや小さい。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	本文はUDフォントを使用し文字サイズが大きく見やすい。別冊のハンドブックまで合わせるやや厚く、ハンドブックを紛失の可能性がある。	○	○

□技術・家庭の観点（技術分野） 教科書会社名（ 教育図書 ）

技術・家庭の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ることができる内容になっていること。	各内容において、課題解決のためのワークシートがあり、設計から自分の考えをまとめて学習活動の充実を図ることができるように工夫されている。	○	○
共通	2 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、実践的・体験的な活動の充実を図る内容になっていること。また学習内容と将来の職業の選択や生き方との関わりについて扱っていること。	各内容において、知識・技能の習得や概念の理解、達成感を得るための体験活動の充実を図る内容となっているが、学習内容と将来の職業の選択については、「技ビト」という内容で紹介されている。また、将来の生き方の部分では、持続可能な社会にむけた内容について扱っている。	○	○
共通	3 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動の充実とともに、家庭や地域社会、企業などとの連携を図るよう配慮した内容になっていること。	[A材料と加工の技術]、[Cエネルギー変換の技術]では、問題解決する技術が紹介され、技術の進歩によって社会の問題を解決することが紹介されている。「技ビト」において様々な技術を紹介し、地域社会・企業などとの連携が図れるようにしている。	○	○
共通	4 実習にあたっては、火気、用具、材料などの取扱いに注意した事故防止及び安全と衛生に十分留意した内容になっていること。	「安全・衛生」にそれぞれマークがあり、ハンドブックでより詳しく説明がされている。安全のマークが赤で示されているところも目を引くので意識しやすい。[A材料と加工の技術][Cエネルギー変換の技術]では製作に使用する工具ごとに記されている。	○	○
共通	5 授業時数については いずれかの分野に偏ることなく配当されていること。	[A 材料と加工の技術][B 生物育成の技術][C エネルギー変換の技術][D 情報の技術]の内容が全体を通して概ね調和がとれているが、[D 情報の技術]のプログラミングに関する記述がやや多い。	○	○
技術分野	1 《A材料と加工の技術》、《B生物育成の技術》、《Cエネルギー変換の技術》、《D情報の技術》については、それぞれに関する基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めることができる内容になっていること。	各内容において、基礎的な知識や技能を基盤として、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める内容になっている。	○	○
技術分野	2 生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、制作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養うことができる内容になっていること。	問題解決にかかわる一連の流れについて示されているが分かりづらい。また、学習した内容に関して評価・改善のためのふりかえりが各内容ともあるが、少ない。	△	△
技術分野	3 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度(知的財産を創造、保護及び活用しようとする態度、技術に関わる倫理観、一人ひとりが自らの個性を生かすとともに、多様な人々と共にかかわっていこうとする態度等)を養うことができる内容になっていること。	ガイダンス部分において、「持続可能な社会をめざそう」と題して記載されている。各章内や章末において実践的な態度を養う内容の記述がされている。	○	○

□各教科共通の観点（技術分野） 教科書会社名（開隆堂）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見出し、課題を設定して解決を図る力を身につけることができるように、「技術の原理・法則と仕組み」「技術による問題解決」「社会の発展と技術」の各内容が、構成されている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	生徒の生活経験や発達段階及び授業時数などを十分考慮して範囲や程度が定められており、適切である。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	全内容、不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	内容のはじめに、その内容で学ぶ小学校や他教科とのつながりのある内容を示している。各内容の中で、小学校マーク・他教科マークを使用し、系統的・発展的な指導ができるように示されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各内容のまとめにおいて「話し合ってみよう」を設定しており、言語活動の充実が図られるようになっている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	作品例により問題の発見と課題の設定について明確に記載している。さらに問題発見から課題の設定および、工夫例まで一連のPDCAサイクルの流れで記載されている。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	問題解決的学習を通して、創造性や自主性及び自立性を養うことができるようにしている。また各内容の最後の部分で、持続可能な観点から社会や環境と技術とのかかわりについて様々な視点から評価する態度が育めるようになっている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動である実験や実習場面において、安全に関する記述が丁寧にされており、緑色の＋マークで記載されている。さらに、QRコンテンツ動画での学習が可能となっている。	◎	◎
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱していないため、生徒の負担が過重となることはない。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	内容が精選されており、分量は適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	授業数に応じて学習指導要領の内容及び取扱いの事項について適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	[A 材料と加工の技術][B 生物育成の技術][C エネルギー変換の技術][D 情報の技術]の内容が全体を通して偏りなく調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	課題解決学習の流れを重視しており、思考の流れに沿って関連した挿絵や写真、資料が適度に配置されている。挿絵や写真は、大きく、鮮明で分かりやすい。さらにQRコンテンツ動画の解説が種類が多く丁寧である。	◎	◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容が取り上げられており、それ以外の内容とはマークにより区別されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、UDフォントが使用されているため、読み取りやすい。さらに、単語が途中で改行されないようになっており、読み取りやすいよう配慮されている。	◎	◎

□技術・家庭の観点（技術分野） 教科書会社名（ 開隆堂 ）

技術・家庭の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ることができる内容になっていること。	各内容において、課題を解決するために、経済的な負担や環境への負荷、安全性、社会に与える影響を加味しながら、最適なものをつくりあげていくプロセスや思考の流れを図表で分かりやすく示している。	○	○
共通	2 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、実践的・体験的な活動の充実を図る内容になっていること。また学習内容と将来の職業の選択や生き方との関わりについて扱っていること。	各内容において、生活に関わる具体的な例を示しながら、実践的・体験的な活動を通して学習し、理解を深める内容になっている。職業選択については、ガイダンスのページに「受け継がれ発展する技術」という内容で、伝統的に継承されている職業がいくつか紹介されている。また、将来、技術とどう関わりを持って生活していく必要があるかという内容については、各内容の「学習のまとめ」のページに示されている。	○	○
共通	3 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動の充実とともに、家庭や地域社会、企業などとの連携を図るよう配慮した内容になっていること。	各内容において、生活や社会に関わる問題に注目させ、その問題を解決する方法を例示している。実習例においても、身近な問題に注目させ、それを解決する実習を提示している。また、「参考」マークで、様々な製品を紹介し、それが社会における問題を解決していく内容を示している。	○	○
共通	4 実習にあたっては、火気、用具、材料などの取扱いに注意した事故防止及び安全と衛生に十分留意した内容になっていること。	ガイダンスの内容において、「作業の安全」と題して安全や衛生面などについて取り扱っている。図書内に緑色で安全マークを記しており、生徒が視覚的に分かりやすいように配慮されている。また、[A材料と加工]・[Cエネルギー変換の技術]に関する内容において実習場面や実験場面を想定して記述されている。特に、QRコンテンツの動画でも安全面について触れている。	◎	◎
共通	5 授業時数については いずれかの分野に偏ることなく配当されていること。	全体的に内容が精選されており、分量は適切である。[A 材料と加工の技術][B 生物育成の技術][C エネルギー変換の技術][D 情報の技術]の内容が全体を通して偏りなく配当されている。	○	○
技術分野	1 《A材料と加工の技術》、《B生物育成の技術》、《Cエネルギー変換の技術》、《D情報の技術》については、それぞれに関する基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めることができる内容になっていること。	ガイダンスで技術の見方・考え方を取り上げ、各内容の最後のふりかえりにおいて課題マークを設定し、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める内容になっている。	○	○
技術分野	2 生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、制作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養うことができる内容になっていること。	各内容において、様々な例を提示しながら、問題の設定 → 課題の設定 → 計画・設計 → 製作・育成 → 評価 → 改善 の一連の流れが示されており、分かりやすい。さらにPDCAサイクルを用いて解説していることで、生徒が問題解決を順序立てて行うことができる内容となっている	◎	◎
技術分野	3 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度(知的財産を創造、保護及び活用しようとする態度、技術に関わる倫理観、一人ひとりが自らの個性を生かすとともに、多様な人々と共にかかわっていこうとする態度等)を養うことができる内容になっていること。	ガイダンスの内容において、「持続可能な社会」の構築へ向けて、学びを発展させていくことが示されている。各内容において、SDGsとの関わりのある内容について「参考」マークで示され、内容の解説や実現へ向けて取り組む姿勢などが明記されている。	○	○

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 家庭

調査研究の視点と主な審議内容

□各教科共通の観点について

5 印刷・製本

観点	調査研究の視点と主な審議内容
	<p>ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。</p> <p>△【教図】→調査会の評価どおり 88, 89 ページに掲載された食品群に関する図については、情報量が多く、下地に同系色が使われていることから見えにくい部分がある。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・食品群の色づかいについては、見にくいことはないのではないか。 </div>

□家庭の観点について

観点	調査研究の視点と主な審議内容
共通 3	<p>生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動の充実とともに、家庭や地域社会、企業などの連携を図るよう配慮した内容になっていること。</p> <p>◎【教図】→調査会の評価どおり</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜がどのように栽培され、どのような手順を経て料理ができるのかが分かる点はよい。 </div>
共通 4	<p>実習にあたっては、火気、用具、材料などの取扱いに注意した事故防止及び安全と衛生に十分留意した内容になっていること。</p> <p>◎【開隆堂】→調査会の評価どおり</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習の献立例において、アレルギー物質が一目で分かるように記載されていることは、アレルギーについて意識付けになる点でよい。 </div>

□各教科共通の観点（家庭分野） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の範囲及び程度 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造することができるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	発達段階に応じた内容になっている。特に、ガイダンスのページでは、今の自分を振り返ることができるものになっている。	◎	◎
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各教科との関連を図ることができるような表示があり、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各内容の中で「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」という項目が示され、生徒の言語活動が充実するように配慮されている。	◎	◎
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が興味・関心をもって学習を進めていくことができるような図や資料が多数掲載されている。また、「話し合ってみよう」や「考えてみよう」では、生徒の対話的な学習や深い学びが促されるように配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	障がいのある方のインタビューやユニバーサルデザインに関する内容があるなど、多様性を認め合うことができるよう配慮されている。また、左利きの場合の針の運び方について紹介されている。持続可能な社会の創り手として成長できるよう、「持続可能な食生活を目指して」など、各内容と関連させたページが設定されている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。特に、巻頭に「実習を楽しく安全に進めよう！」というページがあり、各実習における安全や衛生面での注意事項がまとめて示されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は、「発展」と表記され、学習と関連したものであり、生徒の興味・関心を広げたり、高めたりするものになっている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数分に応じた適切な内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りがなく、調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	生徒の学習が深まるよう、作品、資料、挿絵、図、写真等が配置されている。また、「リンク」として、関連する他の内容や他教科での学習内容が表示されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	教科書の最初に発展的な内容に関しての説明があり、該当するページには「発展」という表示がある。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明で、文字の色合いや大きさ、字体は適切である。	○	○

□技術・家庭の観点（家庭分野） 教科書会社名（ 東京書籍 ）

技術・家庭の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ることができる内容になっていること。	「生活の課題と実践」のページには、課題解決の流れ、発表の仕方の例が載っており、考察・説明につながるものになっている。また、調理方法の違いを比較する表や、住まい方についての様々な状況の絵があるなど、学習活動の充実を図ることができる内容になっている。	○	○
共通	2 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、実践的・体験的な活動の充実を図る内容になっていること。また学習内容と将来の職業の選択や生き方との関わりについて扱っていること。	どの内容においても、多くの資料が掲載されている。特に、巻末の子どもの視界を体験できる眼鏡のキットや、防災・減災手帳など、体験活動に関わる内容が充実している。また、生活の営みに係る見方・考え方を意識しやすいように、巻頭や各内容のはじめに説明があり、マークで分かりやすく示されている。さらに、各内容に関連した大人のインタビューがあり、学んでいることが将来の職業、暮らしにつながっていることに気付くことができる構成となっている。	◎	◎
共通	3 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動の充実とともに、家庭や地域社会、企業などとの連携を図るよう配慮した内容になっていること。	巻頭のガイダンスのページに課題解決の流れが示されている。また、「生活の課題と実践」として、内容を関連させた実践を選択することができるようになっている。様々な方へのインタビュー、地域との具体的な接触場面など、連携を図るよう配慮した内容になっている。	○	○
共通	4 実習にあたっては、火気、用具、材料などの取扱いに注意した事故防止及び安全と衛生に十分留意した内容になっていること。	巻頭に安全、衛生についての具体的な説明があることに加え、各内容の実習のページにも細かく注意点が示されている。また、マークを用いて、安全や衛生を意識させるものとなっている。	○	○
共通	5 授業時数については いずれかの分野に偏ることなく配当されていること。	どの分野においても偏りなく配当されている。	○	○
家庭分野	1 《A家族・家庭生活》においては、幼児との触れ合い体験などを一層重視するとともに、高齢者など地域の人々と協働することに重点をおいた内容になっていること。	「幼児の生活と家族」では、多くの写真や図で詳しく説明されていて、幼児との触れ合い体験の充実につながるものになっている。また、QRコードで見られる動画があり、体験活動の一層の充実につながるものになっている。高齢者については、地域の内容と含めて「協働」を意識できるようになっている。地域については、中学生も大事な地域の一員だということが実感できる例が多く載っている。	○	○
家庭分野	2 《B衣食住の生活》においては、小学校での「ゆでる、いためる」に加え、「煮る、焼く、蒸す等」の調理方法を扱い、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるような学習活動に重点を置いた内容になっていること。また、和食や和服など、日本の伝統的な生活についても扱い、日本の生活文化や郷土の伝統・文化を社会の一員として継承することの大切さに気付くことができる内容になっていること。	「蒸す」については、蒸し器の使い方、蒸し器がない場合の方法、3種類の調理例が載っている。また、調理方法を比較できるページがあり、それぞれの調理方法の特徴が分かるものになっている。日本の伝統的な生活については、社会の一員として継承することの大切さに気付くことができる内容になっている。	○	○
家庭分野	3 《C消費生活・環境》においては、計画的な金銭管理、消費者被害への対応に関する内容を新設するとともに、他の内容と関連を図り、消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立の基礎となる内容になっていること。	計画的な金銭管理については、消費支出の割合や金銭管理の方法などが掲載されている。環境への配慮については、それぞれの内容の最後に持続可能な社会との関連がまとめられている。また、調理や被服製作のページにも環境に配慮した実践例が紹介されている。	○	○

□各教科共通の観点（家庭分野）教科書会社名（教育図書）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造することができるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	発達段階に応じた内容になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各教科との関連を図ることができるような表示があり、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各内容の中で「やってみよう」や「話し合ってみよう」という項目が示され、生徒の言語活動が充実するように、ロールプレイの例が示されるなどの配慮がされている。	◎	◎
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が興味・関心をもって学習を進めていくことができるような図や資料が多数掲載されている。また、「話し合ってみよう」や「考えてみよう」では、生徒の対話的な学習や深い学びが促されるように配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「家族・家庭生活」の内容では、多様な家族や家庭が取り扱われている。また、各内容で、環境に関わる事が分かるように、マークが付けられている。特に「消費生活・環境」の内容では、SDGsについて、自分の目標を選んだり、友達と意見交流したりする活動が設定されている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。特に、「実習は安全に取り組もう！」というページでは、各実習における安全や衛生面での注意事項がまとめて示されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は、「発展」と表記され、学習と関連したものであり、生徒の興味・関心を広げたり、高めたりするものになっている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数分に応じた適切な内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りがなく、調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	生徒の学習が深まるよう、作品、資料、挿絵、写真、図等が配置されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	教科書の最初に発展的な内容に関しての説明があり、該当のページには「発展」という表示がある。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明で、字体等は適切である。しかし、全体的に色が濃い。また、情報量が多く、見にくいページもある。	△	△

□技術・家庭の観点（家庭分野） 教科書会社名（ 教育図書 ）

技術・家庭の観点		所見	調査会	調査研究委員会
共通	1 実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ることができる内容になっていること。	「話し合ってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」などが各内容に設定されており、自分の考えを説明するなどの学習活動の充実を図ることができる内容になっている。また、「学びに生かそう」では、自分課題を設定できるよう、複数の例が示されている。	○	○
共通	2 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、実践的・体験的な活動の充実を図る内容になっていること。また学習内容と将来の職業の選択や生き方との関わりについて扱っていること。	調理実習、被服実習ともに基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように、多くの資料が示されている。調理例や作品例も多く、生徒の実態に応じて選択することができ、実践的・体験的な活動の充実につながるものになっている。また、「センパイに聞こう！」として、様々な人のインタビューが載っており、学習内容と職業・生き方との関わりが分かる構成になっている。	○	○
共通	3 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動の充実とともに、家庭や地域社会、企業などとの連携を図るよう配慮した内容になっていること。	各内容の最後に「学びを生かそう」として、学習を生かしてどのように自分の課題を解決していくとよいか、モデル例が示されている。また、巻末に「生活の課題と実践」として、家庭や地域での課題解決に取り組めるように、学習の流れを示すとともに、具体例が多く掲載されており、学習活動の充実につながる内容になっている。	◎	◎
共通	4 実習にあたっては、火気、用具、材料などの取扱いに注意した事故防止及び安全と衛生に十分留意した内容になっていること。	事故防止及び安全と衛生に十分留意した内容になっている。特に、「実習は安全に取り組もう！」のページでは、様々な実習場面において、安全に取り組むためにはどうしたらよいかを考えることができるものになっている。	○	○
共通	5 授業時数については、いずれかの分野に偏ることなく配当されていること。	どの分野においても偏りなく配当されている。	○	○
家庭分野	1 《A家族・家庭生活》においては、幼児との触れ合い体験などを一層重視するとともに、高齢者など地域の人々と協働することに重点をおいた内容になっていること。	「幼児の生活と家族」では、多くの写真や図が掲載され、幼児との触れ合い体験の充実につながるものになっている。また、「資料」として、幼児との様々な触れ合いの場面が示されており、体験活動の一層の充実につながるものとなっている。高齢者や地域の人々との協働については、各地の協働活動や高齢者の動作体験例が紹介されている。	○	○
家庭分野	2 《B衣食住の生活》においては、小学校での「ゆでる、いためる」に加え、「煮る、焼く、蒸す等」の調理方法を扱い、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるような学習活動に重点を置いた内容になっていること。また、和食や和服など、日本の伝統的な生活についても扱い、日本の生活文化や郷土の伝統・文化を社会の一員として継承することの大切さに気付くことができる内容になっていること。	主な調理方法の特徴と調理例が示され、それぞれの調理方法が比較しやすくなっている。また、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう、各調理例のポイントも掲載されている。「蒸す」については、蒸し器やフライパンを使った4種類の調理例が紹介されている。日本の伝統的な生活については、社会の一員として継承することの大切さに気付くことができる内容になっている。	○	○
家庭分野	3 《C消費生活・環境》においては、計画的な金銭管理、消費者被害への対応に関する内容を新設するとともに、他の内容と関連を図り、消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立の基礎となる内容になっていること。	計画的な金銭管理、消費者被害への対応に関する内容が設定されている。また、「リンク」として、他の内容と関連を図ることができるようになっている。環境への配慮については、SDGsや消費、資源との関わりについてまとめられたページがあり、自分のライフスタイルを意識できる内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（家庭分野）教科書会社名（開隆堂）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の範囲及び程度 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造することができるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	発達段階に応じた内容になっている。特に各内容のはじめには、小学校での学習内容との関連が示され、段階的に学習を進められるようになっている。	◎	◎
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 内容に関する配慮事項 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各教科との関連を図ることができる表示があり、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各内容の中に「話し合ってみよう」「やってみよう」「発表しよう」という項目がある。特に、「生活にいかそう」では、生徒が取り組みやすい内容が取り扱われており、生徒の言語活動が充実するように配慮されている。	◎	◎
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が興味・関心をもって学習を進めていくことができるような図や資料が多数掲載されている。また「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」「生活にいかそう」は生徒の対話的な学習や深い学びが促されるように配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	多くの写真や図があり、互いの多様性を認め合いながら学習を展開できる構成になっている。また、どの内容も学習の終わりに持続可能な社会と関連させたページがあり、「話し合ってみよう」でSDGsとの関わりから自分にできることを考えさせる内容になっている。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は安全・衛生面が配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は「発展」と表記され、学習と関連したものであり、生徒の興味・関心を広げたり、高めたりするものになっている。	○	○
3	ア 分量 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数分に応じた適切な内容が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りがなく、調和がとれている。	○	○
4	ア 使用上の便宜 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	生徒の学習が深まるよう、作品、資料、挿絵、図、写真等が配置されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	教科書の最初に発展的な内容についての説明があり、該当のページには「発展」という表示がある。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明で、文字の色合いや大きさ字体等は適切である。	○	○

□技術・家庭の観点（家庭分野） 教科書会社名（ 開隆堂 ）

技術・家庭の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
共通	1 実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ることができる内容になっていること。	各内容に「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」「発表しよう」という課題が設定されており、学習活動の充実を図ることができるものになっている。また、「生活にいかそう」として、課題を解決するために自分の考えをまとめ、説明したり、友達の考えを聞いたりすることができるようになっている。	○	○
共通	2 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、実践的・体験的な活動の充実を図る内容になっていること。また学習内容と将来の職業の選択や生き方との関わりについて扱っていること。	どの内容においても、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように多くの資料が掲載されている。調理実習では、1食分の献立を作ることができるように、献立の組合せや手順の例が時間の使い方とともに示しており、実践につながる内容になっている。被服のページでは、災害や幼児、環境など、他の内容と関連させた実習例が示されている。また、「先輩からのエール」として、学習内容に関連する職業についての紹介があり、学習内容と将来の職業選択や生き方との関わりについて扱われている。	○	○
共通	3 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動の充実とともに、家庭や地域社会、企業などとの連携を図るよう配慮した内容になっていること。	「生活の課題と実践」の進め方の例があるとともに、各内容においての課題例が示しているため、生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し、解決することができる構成になっている。また、「参考」として、地域社会と連携を図った実践例が紹介されている。	○	○
共通	4 実習にあたっては、火気、用具、材料などの取扱いに注意した事故防止及び安全と衛生に十分留意した内容になっていること。	安全や衛生などに留意する内容には、マークが付けられている。また、幼児との触れ合い体験学習のページでは、事故の防止や衛生面について考えることができるものになっている。実習については、安全に行うための注意点が基礎・基本と組み合わせて示されている。特に、調理実習の献立例では、アレルギー物質（27品目）が一目で分かるように色分けされている。	◎	◎
共通	5 授業時数については、いずれかの分野に偏ることなく配当されていること。	どの分野においても偏りなく配当されている。	○	○
家庭分野	1 《A家族・家庭生活》においては、幼児との触れ合い体験などを一層重視するとともに、高齢者など地域の人々と協働することに重点をおいた内容になっていること。	「幼児の生活と家族」では、多くの写真や図で詳しく説明されており、幼児との触れ合い体験の充実につながるものになっている。特に、実際に保育園等へ行く場合や幼児を学校へ招く場合、ふれあい体験が難しい場合の方法が示しており、学校の実態に応じて資料を活用することができる内容になっている。また、高齢者など地域の人々と協働することに重点が置かれるとともに、地域の人々との協働の中では多様な人々が取り上げられている。	○	○
家庭分野	2 《B衣食住の生活》においては、小学校での「ゆでる、いためる」に加え、「煮る、焼く、蒸す等」の調理方法を扱い、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるような学習活動に重点を置いた内容になっていること。また、和食や和服など、日本の伝統的な生活についても扱い、日本の生活文化や郷土の伝統・文化を社会の一員として継承することの大切さに気付くことができる内容になっていること。	主な調理方法が扱われているが、蒸し料理は「蒸し野菜サラダ」と「蒸しパン」の2種類である。調理実習の献立例では、和食が多く、日本各地の郷土料理や行事食についても数多く紹介している。和服や日本の伝統的な生活の仕方についても扱っており、日本の生活文化や郷土の伝統・文化を継承することの大切さに気付くことができる内容になっている。	○	○
家庭分野	3 《C消費生活・環境》においては、計画的な金銭管理、消費者被害への対応に関する内容を新設するとともに、他の内容と関連を図り、消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立の基礎となる内容になっていること。	計画的な金銭管理ではクレジットカードのしくみやキャッシュレス化について取り上げられている。また、消費者被害への対応については、SNSの広告が例として紹介されている。消費生活や環境に配慮した生活については、他の内容との関連を図りながら学習を進めることができる内容となっている。	○	○

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 英語

調査研究の視点と主な審議内容

□各教科共通の観点について

2 内容に関する配慮事項

	観点	調査研究の視点と主な審議内容
イ	読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	<p>◎【光村】→調査会の評価どおり 英語の教科書を1年間の中で何度も使う学習方法のことを「ラウンドシステム」という。教科書活用の方法のことであり、どの教科書でも取り組むことができるが、光村図書は、「ラウンドシステム」が取り組みやすい構成となっている。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>・「ファイブラウンドシステム」について詳しく説明をしてもらいたい。</p> </div>

□英語の観点について

	観点	調査研究の視点と主な審議内容
3	実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な目的や場面、状況等に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができる内容になっていること。その際、「福岡スタンダード（学びの柱）」に示す観点から、様々な形態のコミュニケーション活動の設定が可能であること。	<p>【東書】【開隆堂】【三省堂】【教出】【光村】【啓林館】→調査会の評価どおり ただし審議を受け所見の記述を変更</p> <p>教育出版では、巻末の Activities Plus において赤のマスキングシートが付属している。それを活用することで様々な形態なコミュニケーションを設定することができる。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・赤のマスキングシートは、とてもよいと思うが、付属している出版社は教育出版だけか。 ・「協働学習」と「とも学」をどのように使い分けているのか。福岡市として「とも学」に統一した方がよいため、所見の記述を修正してはどうか。 </div>

□各教科共通の観点（英語） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	コミュニケーションを図る資質・能力を育成することができる内容となっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	言語材料については平易なものから難しいものへと段階的に指導することができるものになっている。特に、1学年の前半部分に小学校外国語活動・外国語科での学習を整理する単元が設けられており、連携を意識したものになっている。	◎	◎
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示された事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	外国語の内容と他の教科や総合的な学習、道徳などとの関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、キャリア教育や環境問題、文化や考え方の違いなど様々な内容があり、色々な教科との連携ができる。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	4技能5領域をバランスよく使うようまんべんなく配置されている。また、年間を通して言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	複数単元ごとに既習内容を活用して取り組むプロジェクト学習が設定されていて、協働的な学習活動を設定できる構成になっている。また、QRコード、思考の流れを可視化したページや巻末資料のCAN-DOリストは、生徒が自分に必要な学習に主体的に取り組むことができるよう配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	グローバル、ユニバーサル、共生の視点で、取り上げる地域や国、人物や職業については、偏りなく幅広い視点で構成されている。また、持続可能な社会の創り手となることができるよう、人権のほか、貧困、環境、教育、防災など、SDGsの広い視野に立った指導への配慮がされている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	友好的に対話活動ができるように配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な言語活動としては、書くこと以外でもディベートが取り上げられている。生徒の負担にならないよう、例文が提示されていたり、活動の流れを視覚的に示していたり、生徒の学習活動をスムーズにするためのサポートや工夫がなされている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は140時間を想定して適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数内で教材が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4技能5領域が、偏りなく配列されており、調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。また、全単元の冒頭にあるコラムが生徒の視野を広げ、異文化・自国文化理解を深めたり、コミュニケーションのポイントに気付かせたりするものになっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な内容の文法事項が使われているところを明示している。	◎	◎
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚の多様性への配慮がなされ、文字の色合いや大きさ、字体など適切である。書きやすいよう、基線と2段目の間隔が広い4線を用いたり、発達段階に合わせた書体を使用したり配慮されている。大事な情報を太線ではっきり囲み他の情報と区別するなど、特別支援教育への配慮がある。	◎	◎

□英語の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

英語の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
1 第2次福岡市教育振興基本計画に示されている福岡スタイルに基づき、小学校における外国語活動及び外国語ではぐくまれた素地及び基礎の上に、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することに配慮された内容になっていること。	小学校で学んだことを中学校の学習内容に生かすことで小中の円滑な接続ができるよう工夫されている(Unit5まで)。「Small Talk」のページを設けたり、「小学校の単語」として明示したりしている。学年が上がるごとに読解力を重視した読む活動の設問が設定されており、内容も充実していて、「読むこと」に重点を置いた内容となっている。QRコードが各単元にあり(Unit6以降はPreview動画)ICTを活用して主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	◎	◎
2 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの実践的なコミュニケーション活動を行うとともに、それを支える英語の特徴やきまりに関する事項について理解したり練習したりする活動を行うことができる内容になっていること。	実際の場面や話題が取り上げられ、幅広い活動が含まれ系統的に配列されている。特に、「学び方コーナー」や、文法の丁寧な解説がなされた「Grammar for Communication」のページにおいて、基礎・基本の確実な定着を図る工夫がなされている。英語特有の文章構成、話の組み立て方がチャートなどで示されており、発達段階に合わせて系統的に学習できるような工夫がなされている。	◎	◎
3 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な目的や場面、状況等に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができる内容になっていること。その際、「福岡スタンダード(学びの柱)」に示す観点から、様々な形態のコミュニケーション活動の設定が可能であること。	コミュニケーションの目的や場面、状況をイメージできるようにPreviewページが設定されている。話題も身近で具体的である。特に、即興でのやり取りを想定した活動が設定されており、教室内で、生徒が目的や場面、状況に合った表現を選んで練習を行う機会が保障されている。さらに、複数単元ごとに既習内容を活用しながら他の生徒と協力して取り組む学習が配列されており(Stage Activities)、「とも学」の実現を可能とする活動設定ができる。	◎	◎
4 幅広い言語活動ができるように、言語の使用場面や言語の働きなどを考慮した語彙の充実が図られる内容になっていること。	身近で日常的话题や社会的な話題まで幅広い内容が扱われているため、使用語彙もバラエティーに富んでいる。また、発信語彙と受容語彙、小学校で学んだ既習語彙の示し方に工夫があり、語彙数が増えても学習の負担をおさえ、小学校での既習内容の再定着を図る配慮がなされている。	○	○
5 教材は、英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点到に配慮がされた内容になっていること。 ア 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。 イ 我が国の文化や、生活の背景にある文化に対する関心を深め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	全体として、生徒の興味・関心や発達段階に即して、適切かつ幅広い題材が取り上げられている。特に、様々な国や人物、職業や障がい者スポーツやユニバーサルデザイン、今日の課題など、幅広い分野の話題が取り上げられており、英語学習を通して生徒が他者への理解や異文化や国際社会の抱える問題についての理解を深め、豊かな心を育てていく活動を仕組むことが可能な構成になっている。	○	○

□各教科共通の観点（英語） 教科書会社名（開隆堂）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	コミュニケーションを図る資質・能力を育成することができる内容となっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	言語材料については平易なものから難しいものへと段階的に指導することができるものになっている。しかし、現在完了進行形が2学年で取り扱われていることから、学年の負担が懸念される。	△	△
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示された事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	外国語の内容と他の教科や総合的な学習、道徳などとの関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、キャリア教育や環境問題、文化や考え方の違いなど様々な内容があり、色々な教科との連携ができる。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	4技能5領域をバランスよく使うようまんべんなく配置されている。また、年間を通して言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	複数単元ごとに既習内容を活用して取り組むプロジェクト学習が設定されていて、協働的な学習活動を設定できる構成になっている。また、QRコード、思考の流れを可視化したページや巻末資料のCAN-DOリストは、生徒が自分に必要な学習に主体的に取り組むことができるよう配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	グローバル、ユニバーサル、ジェンダーの視点で、取り上げる地域や国、人物や職業については、偏りなく幅広い視点で構成されている。また、持続可能な社会の創り手となることができるよう、人権のほか、貧困、環境、教育、防災など、SDGsの広い視野に立った指導への配慮がされている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	友好的に対話活動ができるように配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な言語活動としては、小教材としてディスカッションやディベートを取り上げ、生徒の負担にならないよう配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は140時間を想定して適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数内で教材が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4技能5領域が、偏りなく配列されており、調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて留意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。会話の場面を想起させるイラスト、路線図などの資料、読み物教材の写真や図等、生徒の意欲を高め、内容理解を促すものになっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容の明示はない。	○	○
5	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	配色については、カラーユニバーサルの視点から見やすい配慮がなされているが、色覚の多様性への配慮は十分とは言えない。また、新出文法が太字になっているが他の文字との区別が付きにくかったり、間隔が狭いため段組みの境目がわかりづらかったりするページがある。さらに、同一ページに同じナンバリングが複数出ているページがあり、英語での指示が伝わりにくい恐れがある。	△	△

□英語の観点 教科書会社名（ 開隆堂 ）

英語の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
1 第2次福岡市教育振興基本計画に示されている福岡スタイルに基づき、小学校における外国語活動及び外国語ではぐくまれた素地及び基礎の上に、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することに配慮された内容になっていること。	小学校で学んだことを中学校の学習内容に生かすことで小中の円滑な接続ができるよう工夫されている(プログラム3まで名称が日本語)。また、巻頭で資質・能力を身に付けるプロセスや、プログラム扉でゴールを明確に示したりすることで、段階的に学ぶ見通しをもたせている。QRコードが各単元にあり(シーンごとのイラスト・吹き出し、音声のみ)、ICTを活用して主体的に学習に取り組むことができるように工夫がなされている。しかし、本文だけでなくListen(問題)の音声も聞けるため運用の工夫が必要である。	○	○
2 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの実践的なコミュニケーション活動を行うとともに、それを支える英語の特徴やきまりに関する事項について理解したり練習したりする活動を行うことができる内容になっていること。	実際の場面や話題が取り上げられ、内容も難易度も幅広い活動が含まれている。また、英語特有の文章構成や話の組み立て方をチャートなどを示して学習できるページが準備されており、学年ごとの生徒の発達段階に合わせ、系統的に学習できるように工夫がある。他にも、つづり字と発音の関係など英語の音声の特徴や英文の決まりをまとめたページがあり、知識を整理する工夫がなされている。	◎	◎
3 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な目的や場面、状況等に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができる内容になっていること。その際、「福岡スタンダード(学びの柱)」に示す観点から、様々な形態のコミュニケーション活動の設定が可能であること。	全体を通して、中学生にとって身近な話題や題材かつ場面の設定が具体的であり、生徒がコミュニケーションの目的や場面、状況等をイメージして活動できるように工夫がなされている(Scenes)。また、アクションカードが付録されており、即興でのやり取りを想定した活動や教室内で表現を選んで練習する活動設定が可能である(Interact)。さらに、複数単元ごとに既習内容を活用しながら他の生徒と協力して取り組む学習が配列されており(Our Project)、「とも学」の実現を可能とする活動設定ができる。	◎	◎
4 幅広い言語活動ができるように、言語の使用場面や言語の働きなどを考慮した語彙の充実が図られる内容になっていること。	身近で日常的な話題や社会的な話題まで幅広い内容が扱われているため、使用語彙もバラエティーに富んでいる。また、全学年に辞書の活用について学ぶページやカテゴリ別に語彙がまとめられているページが設定されているため、生徒が主体的に語彙力を身に付ける学習に取り組めるよう工夫されている。	○	○
5 教材は、英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点到に配慮がされた内容になっていること。 ア 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。 イ 我が国の文化や、生活の背景にある文化に対する関心を深め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	全体として、生徒の興味・関心や発達段階に即して、適切かつ幅広い題材が取り上げられている。特に、日本の伝統文化から近年注目されているポップカルチャーまで自国文化についてもバラエティーに富んだ内容になっていることから、自国文化への関心を深め、理解を深めるとともに、英語で他国の人に発信したいと思わせるような工夫がなされている。	○	○

□各教科共通の観点（英語） 教科書会社名（三省堂）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	コミュニケーションを図る資質・能力を育成することができる内容となっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	言語材料については平易なものから難しいものへと段階的に指導することができるものになっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示された事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	外国語の内容と他の教科や総合的な学習、道徳などとの関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、キャリア教育や環境問題、文化や考え方の違いなど様々な内容があり、色々な教科との連携ができる。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	4技能5領域をバランスよく使うようまんべんなく配置されている。また、年間を通して言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	複数単元ごとに既習内容を活用して取り組むプロジェクト学習が設定されていて、協働的な学習活動を設定できる構成になっている。また、QRコード、思考の流れを可視化したページや巻末資料のCAN-DOリストは、生徒が自分に必要な学習に主体的に取り組むことができるよう配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	グローバル、ユニバーサル、ジェンダーの視点で、取り上げる地域や国、人物や職業については、偏りなく幅広い視点で構成されている。また、持続可能な社会の創り手となることができるよう、人権のほか、貧困、環境、教育、防災など、SDGsの広い視野に立った指導への配慮がされている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	友好的に対話活動ができるように配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な言語活動としては、統合的な活動としてディスカッションが取り上げられている。生徒の負担にならないよう、段階的に「話す(やりとり)」に取り組むサポートがなされている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は140時間を想定して適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	各単元の学習内容が多岐にわたっていたり4技能5領域がたくさん盛り込まれていたりしているため、時数が足りなくなる可能性がある。	△	△
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4技能5領域が、偏りなく配列されており、調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習内容が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。また、語彙指導に関する「Word Bank」や巻末付録のカテゴリー別の単語リストが意味の理解や定着を促すものになっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な内容の文法事項が使われているところを明示している。	◎	◎
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	文字が小さく表示されているところが多く、読みにくい箇所がある。登場人物が私服でカラフルなので、ページによっては見にくい面がある。 4技能5領域の学習内容ごとに色分けされているのはよいが、各ページのレイアウトに統一感がなく、多くの内容が詰め込まれている箇所も多いため、見づらいところがある。	△	△

□英語の観点 教科書会社名（ 三省堂 ）

英語の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
1 第2次福岡市教育振興基本計画に示されている福岡スタイルに基づき、小学校における外国語活動及び外国語ではぐくまれた素地及び基礎の上に、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することに配慮された内容になっていること。	小学校で学んだことを中学校の学習内容に生かすことで小中の円滑な接続ができるよう工夫されている。言語材料をパターンプラクティスで自動化した上で活動に入るようになっており(Drill)、段階的に学ぶことができる。内容量については、1単元に多くの学習活動が組み込まれているため、全てを丁寧に指導しようとするとき数不足に陥ることが懸念される。QRコードが各単元にあり(音声のみ)、ICTを活用して主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されているが、新出語句を読むスピードが少し速い。	○	○
2 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの実践的なコミュニケーション活動を行うとともに、それを支える英語の特徴やきまりに関する事項について理解したり練習したりする活動を行うことができる内容になっていること。	Project活動に代表されるように、数多くのタスク活動が組み込まれているため、実生活に生きる英語を学びやすい内容である。また、文法事項や難解な語彙については、「文法のまとめ」「Word Bank」「付録」などのページで図やイラストを添えて説明しており、学習の定着を支援できる内容となっている。	○	○
3 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な目的や場面、状況等に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができる内容になっていること。その際、「福岡スタンダード(学びの柱)」に示す観点から、様々な形態のコミュニケーション活動の設定が可能であること。	話す活動は、発表とやり取りの両場面の設定が明確で、生徒の表現の幅を広げることができるものになっている。ペアワークの場面が随所に設けられており、決まった表現を使うだけでなく、お互いに知らない情報を尋ね合うことで「とも学」の実現が可能である。また、「GET Plus」では、既習事項にとらわれず、生徒の興味・関心に応じて様々な表現方法を活用できるようになっており、「自学」につながることも可能である。その他の聞く、読む、書く活動でも同様の工夫がなされており、様々な形態のコミュニケーション活動設定が可能である。	◎	◎
4 幅広い言語活動ができるように、言語の使用場面や言語の働きなどを考慮した語彙の充実が図られる内容になっていること。	語彙に関しては、段階的に語彙を定着したり、活用する力を養ったりできる構成となっている。話すこと(発表)の場面では、英語の文構造を理解しながらスモールステップで原稿を書くよう設定されている。また、「GET Plus」や「Project活動」では、既習事項にとらわれず、様々な表現にチャレンジできる内容になっている。	○	○
5 教材は、英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点到に配慮がされた内容になっていること。 ア 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。 イ 我が国の文化や、生活の背景にある文化に対する関心を深め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	全体として、生徒の興味・関心や発達段階に即して、適切かつ幅広い題材が取り上げられている。多くの題材がSDGsの視点を考慮したもので、各題材ごとに冒頭で問題提起がされており、世界平和、貧困、不平等といった国際社会の課題を自分事として捉え、よりよい方策を考えるための視座が与えられている。また、食文化を扱う内容等、教科横断的な学習が可能となっている。	○	○

□各教科共通の観点（英語） 教科書会社名（教育出版）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	コミュニケーションを図る資質・能力を育成することができる内容となっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	言語材料については平易なものから難しいものへと段階的に指導することができるものになっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示された事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	外国語の内容と他の教科や総合的な学習、道徳などとの関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、キャリア教育や環境問題、文化や考え方の違いなど様々な内容があり、色々な教科との連携ができる。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	4技能5領域をバランスよく使うようまんべんなく配置されている。また、年間を通して言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	複数単元ごとに既習内容を活用して取り組むプロジェクト学習が設定されており、協働的な学習活動を設定できる構成になっている。また、QRコード、思考の流れを可視化したページや巻末資料のCAN-DOリストは、生徒が自分に必要な学習に主体的に取り組むことができるよう配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	グローバル、ユニバーサル、ジェンダーの視点で、取り上げる地域や国、人物や職業については、偏りなく幅広い視点で構成されている。また、持続可能な社会の創り手となることができるよう、人権のほか、貧困、環境、教育、防災など、SDGsの広い視野に立った指導への配慮がされている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	友好的に対話活動ができるように配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な言語活動としては、聞くこと、書くこと以外でもディベートやディスカッションを扱っている。生徒の負担にならないよう、例文が提示されていたり、活動の流れを視覚的に示していたりと、生徒の学習活動をスムーズにするためのサポートや工夫がなされている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は140時間を想定して適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数内で教材が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4技能5領域が、偏りなく配列されており、調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。単元扉の写真、会話の場面を想起させるイラスト等、生徒の意欲を高め、内容理解を促すものになっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容の明示はない。	○	○
5	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷が鮮明であり、文字の大きさや行間など見やすく配置されている。対話のページでは人物のセルフごとに色分けをし、分かりやすくなっている。	○	○

□英語の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

英語の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
1 第2次福岡市教育振興基本計画に示されている福岡スタイルに基づき、小学校における外国語活動及び外国語ではぐくまれた素地及び基礎の上に、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することに配慮された内容になっていること。	小学校で学んだことを中学校の学習内容に生かすことで小中の円滑な接続ができるように工夫されている(Springboard)。QRコードが各単元にあり(音声のみ)、ICTを活用して主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。	○	○
2 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの実践的なコミュニケーション活動を行うとともに、それを支える英語の特徴やきまりに関する事項について理解したり練習したりする活動を行うことができる内容になっていること。	場面や状況、目的に応じて簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫がされている。	○	○
3 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な目的や場面、状況等に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができる内容になっていること。その際、「福岡スタンダード(学びの柱)」に示す観点から、様々な形態のコミュニケーション活動の設定が可能であること。	発達段階に即して他の生徒と協力して取り組む学習が設定されており(Project 1年2つ, 2, 3年3つ)、発表や即興で互いの気持ちや考えを伝え合う「とも学」の実現が可能である。また、そのための練習や、言語材料を習得するための支援として、巻末のActivities Plusがある。活用することで様々な形態のコミュニケーションを設定できることが期待できる。	◎	◎
4 幅広い言語活動ができるように、言語の使用場面や言語の働きなどを考慮した語彙の充実が図られる内容になっていること。	言語の使用場面が、身近な暮らしを中心に特有の表現も使いながら構成されている。また言語の働きも意識的に取り入れられている。インターネットニュース動画やコマーシャル等、幅広い言語の使用場面設定がある。	○	○
5 教材は、英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点到配慮がされた内容になっていること。 ア 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。 イ 我が国の文化や、生活の背景にある文化に対する関心を深め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	全体として、生徒の興味・関心や発達段階に即して、適切かつ幅広い題材が取り上げられている。特に、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるために、ディベートを取り上げている。食品ロスを防ぐためのdoggy bag(持ち帰り袋)について賛成派と反対派の意見がのせられており、読むこと、書くことから話すことへの移行が容易になっている。	○	○

□各教科共通の観点（英語） 教科書会社名（光村図書）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	コミュニケーションを図る資質・能力を育成することができる内容となっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	言語材料については平易なものから難しいものへと段階的に指導することができるものになっている。特に、1学年の前半部分に小学校外国語活動・外国語科での学習を整理する単元が設けられており、連携を意識したものになっている。	◎	◎
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示された事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	外国語の内容と他の教科や総合的な学習、道徳などとの関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、キャリア教育や環境問題、文化や考え方の違いなど様々な内容があり、色々な教科との連携ができる。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	4技能5領域をバランスよく使うようまんべんなく配置されている。また、年間を通して言語活動の充実が図られるよう配慮されている。1年間で5回繰り返す5ラウンドシステムに対応しており、豊富なインプットが期待できる。	◎	◎
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	複数単元ごとに既習内容を活用して取り組むプロジェクト学習が設定されていて、協働的な学習活動を設定できる構成になっている。また、QRコード、思考の流れを可視化したページや巻末資料のCAN-DOリストは、生徒が自分に必要な学習に主体的に取り組むことができるよう配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	グローバル、ユニバーサル、ジェンダーの視点で、取り上げる地域や国、人物や職業については、偏りなく幅広い視点で構成されている。また、持続可能な社会の創り手となることができるよう、人権のほか、貧困、環境、教育、防災など、SDGsの広い視野に立った指導への配慮がされている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	友好的に対話活動ができるように配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な言語活動は、小教材としてディスカッションを取り上げ、生徒の負担にならないよう配慮されている。付録の読み物教材で、扱う語彙以外に100語ほどプラスして触れている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は140時間を想定して適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数内で教材が配分されている。ストーリーを活用して学びを深めるため、自分たちに置き換える時間を設定しやすく、福岡らしい教育を実現できる。	◎	◎
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4技能5領域が、偏りなく配列されており、調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。会話の場面を想起させるイラスト、地図などの資料、読み物教材の写真や図等、生徒の意欲を高め、内容理解を促すものになっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容の明示はない。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚の多様性への配慮がなされ、文字の色合いや大きさ、字体など適切である。書きやすいよう、基線と2段目の間隔が広い4線を用いたり、発達段階に合わせた書体を使用したり配慮されている。大事な情報を太線ではっきり囲み他の情報と区別するなど、特別支援教育への配慮がある。	◎	◎

□英語の観点 教科書会社名（ 光村図書 ）

英語の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
1 第2次福岡市教育振興基本計画に示されている福岡スタイルに基づき、小学校における外国語活動及び外国語ではぐくまれた素地及び基礎の上に、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することに配慮された内容になっていること。	小学校で学んだことを中学校の学習内容に生かすことで小中の円滑な接続ができるように工夫されている(Unit5まで)。特に、4つの言語活動をバランスよく行うことができる帯教材 (Story Retelling, Let's Talk) や小教材 (Daily Life, World Tour) があり、簡単な情報や考えなどを理解したり表現し合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成することに配慮された内容になっている。QRコードが各単元にあり(映像付き, 音声のみ, 学習に役立つリンク), ICTを活用して主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	◎	◎
2 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの実践的なコミュニケーション活動を行うとともに、それを支える英語の特徴やきまりに関する事項について理解したり練習したりする活動を行うことができる内容になっていること。	実際の場面や題材の中で互いの考えや気持ちを伝え合うなどの実践的なコミュニケーション活動が設定されている。巻末に全単元のストーリーのイラストや、テーマごとの帯教材があることで、年間をとおして実践的なコミュニケーション活動を繰り返し行い、即興力の育成に役立つ内容になっている。また、繰り返し学習できる内容構成になっており、十分に練習したり活動を行ったりできるよう配慮されている。	◎	◎
3 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な目的や場面、状況等に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができる内容になっていること。その際、「福岡スタンダード(学びの柱)」に示す観点から、様々な形態のコミュニケーション活動の設定が可能であること。	3年間を通して完結するストーリーの中で、自然な「目的」「場面」「状況」が設定されており、繰り返し触れることで豊富なインプットが得られ、これらを素地に、自ら考えて言語活動ができるよう配慮されている。また、You Can Do It!では、それまで学習した知識・技能を活用して取り組む、5領域を統合した言語活動が設定されており (You Can Do It!), 様々な形態のコミュニケーション活動の設定が可能である。さらに、CAN-DOリスト、「英語の学び方ガイド」が示されており、主体的な学びを支えながら、自律的学習者を育成できる配慮がなされている。	◎	◎
4 幅広い言語活動ができるように、言語の使用場面や言語の働きなどを考慮した語彙の充実が図られる内容になっていること。	身近で日常的な話題や社会的な話題について取り上げ、幅広い言語活動ができるよう配慮されている。受容語彙と発信語彙が区別され、語彙数の増加に対応する配慮がなされている。「歌」のページでも、語彙の充実や使用場面が考慮された内容になっている。	○	○
5 教材は、英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点到に配慮がされた内容になっていること。 ア 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。 イ 我が国の文化や、生活の背景にある文化に対する関心を深め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	全体として、生徒の興味・関心や発達段階に即して、適切かつ幅広い題材が取り上げられている。また、扱う内容が、身の回りに関することから始まり、少しずつ社会的な話題へと、生徒の関心が自然と広がるように工夫されている。特に、3年間ひと続きのストーリーから構成される本文は、さまざまな文化を背景にもつ4人の中学生が、体験や交流をとおして成長していく物語である。多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つ内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（英語） 教科書会社名（啓林館）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	コミュニケーションを図る資質・能力を育成することができる内容となっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	言語材料については段階的に指導することができるものになっている。しかし、1学年の辞書の取扱いが後半に出てきたり、3学年のExpress Yourselfの内容が少し簡単であるなど、発達段階に適していない部分もある。	△	△
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示された事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	外国語の内容と他の教科や総合的な学習、道徳などとの関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、キャリア教育や環境問題、文化や考え方の違いなど様々な内容があり、色々な教科との連携ができる。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	4技能5領域をバランスよく使うようまんべんなく配置されている。また、年間を通して言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	複数単元ごとに既習内容を活用して取り組むプロジェクト学習が設定されており、協働的な学習活動を設定できる構成になっている。また、QRコードや巻末の付録資料等、生徒が自分に必要な学習に主体的に取り組むことができるよう配慮されている。しかしCAN-DOリストの内容が具体的ではない。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	グローバル、ユニバーサル、共生の視点で、取り上げる地域や国、人物や職業については、偏りなく幅広い視点で構成されている。また、持続可能な社会の創り手となることができるよう、人権のほか、貧困、環境、教育、防災など、SDGsの広い視野に立った指導への配慮がされている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	友好的に対話活動ができるように配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な言語活動としては、高校への接続を意識したディスカッションが取り上げられている。生徒の負担にならないよう、段階を踏んだ展開やメモ欄の設定など生徒の学習活動をスムーズにするためのサポートがなされている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は140時間を想定して適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数内で教材が配分されているが、各Unit最後のコラム(More Information)まで取り扱うと時数が足りなくなる可能性がある。	△	△
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4技能5領域が、偏りなく配列されており、調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等が有効に配列されている。しかし、3学年のUnit 5, Part 3の写真(写真を見てその人が発明した食べ物を当てるためのもの)は不鮮明である。	△	△
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容の明示はない。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷が鮮明であり、文字の大きさや行間など見やすく配置されている。対話のページでは人物のセリフごとに色分けをし、わかりやすくなっている。	○	○

□英語の観点 教科書会社名（ 啓林館 ）

英語の観点	所 見	調査会	調査研究委員会
1 第2次福岡市教育振興基本計画に示されている福岡スタイルに基づき、小学校における外国語活動及び外国語ではぐくまれた素地及び基礎の上に、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することに配慮された内容になっていること。	小学校で学んだことを中学校の学習内容に生かすことで小中の円滑な接続ができるよう工夫されている。また各単元のまとめ(Express Yourself)で発信したり、質疑応答・意見交換したりするために、簡単な表現活動が盛り込まれており、コミュニケーションを図る資質・能力の育成に配慮された内容となっている。QRコードが各単元に取り(文字と音声)、ICTを活用して主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	○	○
2 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの実践的なコミュニケーション活動を行うとともに、それを支える英語の特徴やきまりに関する事項について理解したり練習したりする活動を行うことができる内容になっていること。	リアルな題材から、実際の場面を想起した対話練習や、一枚の写真から複数の表現で相手に伝えるような活動が設定されており、英語のきまりに関する事項を確認しながら発展的な活動を行うことが期待できる。特に、Express Yourselfでは、3ステップで簡単なスピーチをすることができる。即興性には欠けるが、自らの考えをメモをもとに相手に伝えることができ、どの生徒も取り組みやすい内容となっている。	◎	◎
3 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な目的や場面、状況等に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができる内容になっていること。その際、「福岡スタンダード(学びの柱)」に示す観点から、様々な形態のコミュニケーション活動の設定が可能であること。	身近な地域のことや、動物との共生のためにはどのような環境にしたらいいかなど、自ら学びたいと思わせるような教材や他の生徒と話し合いながら今後のことや様々な問題について考える題材が設定されている。 しかし、Can-Doリストの内容は学習指導要領の文言そのままである。具体的かつ段階別にした方が、自分のレベルを理解しやすくなり「福岡スタンダード」に示す観点につながると考える。	○	○
4 幅広い言語活動ができるように、言語の使用場面や言語の働きなどを考慮した語彙の充実が図られる内容になっていること。	身近で日常的な話題や社会的な話題について取り上げ、幅広い言語活動ができるよう配慮されている。また、巻末のWord Boxでは表現の幅を広げることができる単語や語彙がたくさんあり、項目ごとになっているので使いやすい。	○	○
5 教材は、英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点到に配慮がされた内容になっていること。 ア 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。 イ 我が国の文化や、生活の背景にある文化に対する関心を深め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	全体として、生徒の興味・関心や発達段階に即して、適切かつ幅広い題材が取り上げられている。最初に、教科書で取り扱う国についてまとめられているので、生徒の興味や関心を高めることができる構成となっている。特に、国際社会で活躍する日本人を取り扱う単元や動物の生態を学ぶ単元では、他教科との関連を図ったりキャリア教育の視点から理解を深めさせたりできる内容になっている。	○	○

令和2年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 道徳

調査研究の視点と主な審議内容

□各教科共通の観点について

4 使用上の便宜

観点	調査研究の視点と主な審議内容
ア 本文, 問題, 説明文, 注, 作品, 資料, 挿絵, 写真, 図等は, 学習を進める上で, 関連を持たせて用意され, 学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	<p>◎【東書】【教出】【光村】【日文】【学研】【廣濟堂】→調査会の評価どおり</p> <p>QRコードがあることによって, 動画などのコンテンツを授業で活用することができる。コンテンツによっては, そのまま使うことができるものと補助資料が必要なものがあるため, 教師が必要に応じて活用していくこととなる。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードから見ることもできるコンテンツはどのようなものか。 ・コンテンツについては, 数よりも質が大切である。 ・コンテンツがたくさんあることで, 指導の工夫が広がるのではないか。 </div>

□道徳の観点について

すべての観点において調査会の評価どおり

□各教科共通の観点（道徳）教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめることができるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	道徳科の内容と他の教科との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	巻頭の折込で学習活動の流れや司会カードを活用した話し合いの進め方が、適切に説明されている。特に、漫画を使って授業場面をイメージさせながら、自分の考えを伝えたり、相手の意見を聞いたりすることの大切さを意義付けている。	◎	◎
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が日常生活で出会うであろう場面が取り上げられており、生徒に興味をもたせ、主体的・対話的な学習ができるよう問題解決的な学習を取り入れている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	巻末に学期ごとの振り返り用紙や各教材に自分の考えを記入する欄を設けるなど、個に応じた指導への配慮がされている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	教材によっては、学習し理解したことを更に広げたり深めたりできるよう、関連した内容を掲載している。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数分の教材が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく、掲載している。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配置されている。さらに、裏表紙にQRコードがあり、授業で動画などのコンテンツを活用できるように工夫されている。	◎	◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「付録」として発展的な学習内容であることが明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚特性に対する配慮がなされ、装丁、紙質も適切で、製本もしっかりとっている。	○	○

□道徳の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

道徳の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「福岡スタンダード」(あいさつ・掃除、自学・とも学、チャレンジ・立志)を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる内容になっていること。	各教科等で行う道徳教育や「福岡スタンダード」を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容となっている。「あいさつ」の意義について考える教材を各学年、冒頭の教材に配列している。	◎	◎
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	巻末に学期ごとの自己評価用紙があり、自分の目標や課題を見付け、自分自身の成長を振り返ることができるように配慮されている。	○	○
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、討論などにより考え方、感じ方の異なる人の考えに接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	巻頭の「話し合いの手引き」で、話し合う際の留意点が示され、話し合う時間を確保するために、教材末の問いの数を2つに限定するなど、工夫されている。また、「つぶやき」欄、気持ちや葛藤を視覚化できる「心情円」、「みんなで意見を書こう」(ホワイトボード用紙)があり、活発な話し合いができるよう配慮されている。	◎	◎
5	生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる内容になっていること。	「ACTION!」では、自分との関わりで、多面的・多角的に考えられるように、役割演技や問題解決的な学習を例示している。教材末の「考えよう」では、主題に迫る問いを、「自分を見つめよう」では、今後の行動などを考える問いを示すなど、工夫されている。	◎	◎
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、家庭・地域・企業と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っており、自分の生活とつなげて道徳的価値について考えることができる内容となっている。	○	○
7	情報モラル、自然環境保全、生命や人権、性的マイノリティなどの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	扱われる課題については偏りがなく、学年段階に即して系統的に取り上げられている。情報モラルや生命に関する教材が複数配列されているが、性的マイノリティに関する教材はない。	○	○
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	学年段階に応じて、いじめ問題やその対応について深く考えることができる内容になっている。特に、いじめ問題と生命の尊重に関する教材を各学年6教材(いじめ問題3教材、生命尊重3教材)を配列し、関連を図りながら、計画的、発展的に指導できるように工夫されている。	◎	◎

□各教科共通の観点（道徳） 教科書会社名（教育出版）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 内容の範囲及び程度 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめることができるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 内容に関する配慮事項 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	道徳科の内容と他の教科との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	冒頭に、学習活動の流れや話し合い活動の意義を、図で示しながら適切に説明している。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が日常生活で出会うであろう場面が取り上げられており、生徒に興味をもたせ、主体的・対話的な学習ができるように問題解決的な学習を取り入れている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	巻末に生徒が授業で学んだ内容を継続的に記入する一覧表を設けるなど、個に応じた指導への配慮がされている。食品ロス、地球温暖化を題材に持続可能な社会の実現のためにできることを考える教材がある。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	教材によっては、学習し理解したことを更に広げたり深めたりできるよう、関連した内容を掲載している。	○	○
3	ア 分量 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数分の教材が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく、掲載している。	○	○
4	ア 使用上の便宜 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配置されている。現代的な課題等を取り扱った教材では、生徒が問題を視覚的に気付くよう、グラフや写真資料を効果的に活用している。さらに、表紙にQRコードがあり、授業で動画などのコンテンツを活用できるように工夫されている。	◎	◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「補充教材」として発展的な学習内容が明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚特性に対する配慮がなされ、装丁、紙質も適切で、製本もしっかりとしている。長文の教材は2段組構成になっており、生徒が読みやすいように配慮されている。特に、1学年前半で取り扱う教材本文の文字を大きくし、小学校との系統性を考慮している。	◎	◎

□道徳の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

道徳の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「福岡スタンダード」(あいさつ・掃除、自学・とも学、チャレンジ・立志)を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる内容になっていること。	各教科等で行う道徳教育や「福岡スタンダード」を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容となっている。	○	○
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	教材末に、「学びの道しるべ」で問いを示し、学んだ道徳的価値を基に自分を見つめ、これからの課題や目標を見付けられるように工夫されている。巻末に学期末と年度末の自己評価を設けることで、自分の成長を実感できるように配慮されている。保護者の記入欄を設けている。	◎	◎
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、討論などにより考え方、感じ方の異なる人の考えに接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	生徒が問題意識をもって授業に取り組めるように、教材の冒頭に道徳的価値を明確に示した問いを設けている。学校生活を背景にした教材を配列し、学年に応じて設定場面に変化をつけ、3学年を通じてシリーズで掲載するなど工夫されている。	○	○
5	生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる内容になっていること。	「やってみよう」では、役割演技などの体験的な学習を通して、自分との関わりで多面的・多角的に考え、日常生活とつなげて道徳的価値の理解ができるように工夫されている。	○	○
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、家庭・地域・企業と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っており、自分の生活とつなげて道徳的価値について考えることができる内容となっている。	○	○
7	情報モラル、自然環境保全、生命や人権、性的マイノリティなどの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	扱われる課題については偏りがなく、学年段階に即して系統的に取り上げられている。持続可能な社会や情報モラルに関する教材が複数配列されている。3学年において、性的マイノリティに関する補足資料がある。	○	○
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	学年段階に応じて、いじめ問題やその対応について深く考えることができる内容になっている。特に、いじめや差別のない社会の実現に関する教材を7教材以上配列し、関連を図りながら、計画的、発展的に指導できるように工夫されている。	◎	◎

□各教科共通の観点（道徳） 教科書会社名（光村図書）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめることができるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。さらに、1年間の学びを念頭に、学習の大きなまとまりで3期に分け、学校生活や発達段階を踏まえた学びのテーマを設けている。	◎	◎
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	道徳科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。さらに、巻末には教材と現代的な課題や他教科・領域との関連を一覧表に示している。	◎	◎
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	巻頭に、学習活動の流れや話し合い活動の意義を適切に説明している。特に、学年の高まりを踏まえ、「どのように学ぶのか」「なぜ学ぶのか」「なぜいっしょに学ぶのか」について、イラストを使って分かりやすく説明している。	◎	◎
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が日常生活で出会うであろう場面が取り上げられており、生徒に興味をもたせ、主体的・対話的な学習ができるよう問題解決的な学習を取り入れている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	巻末に生徒が学んだ内容を記録する折込を設け、学びの過程を時系列で確認できるよう、個に応じた指導への配慮がされている。「広げよう」では、SDGsを取り上げ、環境、共生、国際理解の視点から持続可能な社会の実現のためにできることを考える教材がある。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	教材によっては、学習し理解したことを更に広げたり深めたりできるよう、関連した内容を掲載している。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数分の教材が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく、掲載している。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配置されている。さらに、裏表紙にQRコードがあり、授業で動画などのコンテンツを活用できるように工夫されている。	◎	◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「深めたいむ」、「広げよう」として発展的な学習内容が明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚特性に対する配慮がなされ、装丁、紙質も適切で、製本もしっかりとっている。	○	○

□道徳の観点 教科書会社名（ 光村図書 ）

道徳の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「福岡スタンダード」(あいさつ・掃除、自学・とも学、チャレンジ・立志)を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる内容になっていること。	各教科等で行う道徳教育や「福岡スタンダード」を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容となっている。	○	○
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	学習記録に加え、教材「道徳の学びを振り返ろう」で、学習の意義を考えながら、自分の成長を実感できるように工夫している。また、各学年に小学校の定番教材を配列し、小学校道徳科との関連を図り、自分の成長を確認できるように配慮されている。	◎	◎
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、討論などにより考え方、感じ方の異なる人の考えに接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	話し合いを通して、生徒が多面的・多角的に考えることができよう、冒頭に「「他者」との対話」、「自分」との対話」を設けている。「深めたいむ」では、学んだ道徳的価値について、役割演技などの活動を通して、さらに実感をもって考え、話し合えるように工夫されている。	◎	◎
5	生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる内容になっていること。	教材末の「考えよう」で、主題に迫る問い、「見方を変えて」で、別の立場や視点から考える問い、さらに「つなげよう」で各教科や日常生活との関連から考えを広げる問いを示し、生徒が多面的・多角的にとらえ、深く考えたり、行動につなげたりできるように工夫されている。	◎	◎
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、家庭・地域・企業と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っており、自分の生活とつなげて道徳的価値について考えることができる内容となっている。郷土の伝統と文化をテーマに、福岡市地下鉄の駅を示すシンボルマークの制作や博多の伝統文化の振興に尽力した郷土の先人を取り上げている。	◎	◎
7	情報モラル、自然環境保全、生命や人権、性的マイノリティなどの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	扱われる課題については偏りがなく、学年段階に即して系統的に取り上げられている。持続可能な社会、情報モラルやいじめ問題などの人権に関する教材が複数配列されているが、性的マイノリティに関する教材はない。	○	○
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	学年段階に応じて、いじめ問題やその対応について深く考えることができる内容になっている。特に、いじめ問題に関する教材を複数配列し、学年の前半に位置付けている。補充的・発展的に学習ができるように資料や「深めタイム」を設けるなど、工夫されている。	◎	◎

□各教科共通の観点 (道徳) 教科書会社名 (日本文教出版)

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめることができるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	道徳科の内容と他の教科との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。さらに、巻末には教材と他教科・領域との関連を一覧表に示している。	◎	◎
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	冒頭に、学習活動の流れや話し合い活動の意義を、写真等を使って適切に説明している。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が日常生活で出会うであろう場面が取り上げられており、生徒に興味をもたせ、主体的・対話的な学習ができるように問題解決的な学習を取り入れている。特に、問題解決的な学習に適した教材末に、「学習の進め方」を設けている。	◎	◎
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	道徳ノートに生徒が毎時間の授業で学んだ内容を記入する欄を設けるなど、個に応じた指導への配慮がされている。環境保全の視点から先人の功績などを取り上げ、持続可能な社会と自然との関係を考える補足資料がある。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	教材によっては、学習し理解したことを更に広げたり深めたりできるよう、関連した内容を掲載している。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数分の教材が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく、掲載している。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図などが、有効に配置されている。さらに、目次にQRコードがあり、授業で動画などのコンテンツを活用できるように工夫されている。	◎	◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「プラットホーム」、「参考」として発展的な学習内容が明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚特性に対する配慮がなされ、装丁、紙質も適切で、製本もしっかりとしている。	○	○

□道徳の観点 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

道徳の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「福岡スタンダード」(あいさつ・掃除、自学・とも学、チャレンジ・立志)を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる内容になっていること。	各教科等で行う道徳教育や「福岡スタンダード」を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容となっている。	○	○
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	学んだ道徳的価値を基に、今後の生活に生かすことを考えるために、教材末に「自分に+1」の問いを示している。道徳ノートを使った継続的な学習記録と5段階評価で自己評価することにより、自分の成長を実感できるように配慮されている。保護者の記入欄を設けている。	◎	◎
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、討論などにより考え方、感じ方の異なる人の考えに接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	教材末に、学んだ道徳的価値について考え、話し合う「考えてみよう」の問いを示す他、道徳ノートに仲間の考えを記入する欄を設ける工夫がされている。各教材の冒頭に、主題を短文で、登場人物をイラストや写真で示し、生徒が教材の内容を理解できるように配慮されている。	◎	◎
5	生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる内容になっていること。	「学習の進め方」に、問題解決的な学習や体験的な活動の流れを具体的に例示し、生徒が多面的・多角的に深く考えることができるように工夫されている。	○	○
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、家庭・地域・企業と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っており、自分の生活とつなげて道徳的価値について考えることができる内容となっている。	○	○
7	情報モラル、自然環境保全、生命や人権、性的マイノリティなどの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	扱われる課題については偏りがなく、学年段階に即して系統的に取り上げられている。情報モラルやいじめ問題などの人権に関する教材が複数配列されている。また、3学年において、性的マイノリティに関する補足資料がある。	○	○
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	学年段階に応じて、いじめ問題やその対応について深く考えることができる内容になっている。特に、いじめ問題に関する教材を複数配列し、体験的な学習に適した教材に、学習の流れを写真などで示す、「学習の進め方」を設けるなど、工夫されている。	◎	◎

□各教科共通の観点（道徳） 教科書会社名（学研教育みらい）

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめることができるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	道徳科の内容と他の教科との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	冒頭に、学習活動の流れや話し合い活動の意義を、図で示しながら適切に説明している。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が日常生活で出会うであろう場面が取り上げられており、生徒に興味をもたせ、主体的・対話的な学習ができるように問題解決的な学習を取り入れている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	巻末に学期ごとの振り返りと各教材に自分の考えを記入する欄を設けるなど、個に応じた指導への配慮がされている。環境保全、国際貢献などの6つの視点から持続可能な社会の実現について考える教材を配列している。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	教材によっては、学習し理解したことを更に広げたり深めたりできるよう、関連した内容を掲載している。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数分の教材が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく、掲載している。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	補足資料として、「クローズアップ」を設け、教材に関連した内容を、図やグラフなどを使って示しており、学習が深まるよう配置されている。さらに、目次にQRコードがあり、授業で動画などのコンテンツを活用できるように工夫されている。	◎	◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「深めよう」「クローズアップ」として発展的な学習内容が明示されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚特性に対する配慮がなされ、装丁、紙質も適切で、製本もしっかりとしている。	○	○

□道徳の観点 教科書会社名（ 学研教育みらい ）

道徳の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「福岡スタンダード」(あいさつ・掃除、自学・とも学、チャレンジ・立志)を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる内容になっていること。	各教科等で行う道徳教育や「福岡スタンダード」を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容となっている。	○	○
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	学年末に自分の成長を振り返る「心の四季」と学期ごとの自己評価用紙を設けることで、1年間で学習したことを踏まえて、自分の成長を実感したり、これからの目標を見付けられるように工夫されている。	○	○
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、討論などにより考え方、感じ方の異なる人の考えに接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	巻頭の「考えを深める四つのステップ」で、話し合う際の留意点が示されている。教材冒頭に主題を明記しないことで、生徒が特定の価値に限定されず、主体的に学習が取り組めるように工夫されている。各教材に「メモ」欄があり、自分の考えを整理しながら話し合えるよう配慮されている。	◎	◎
5	生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる内容になっていること。	教材に関連した視点や異なる視点から考えを広げる「クローズアップ+」を設けている。「深めよう」では、問題解決的な学習や役割演技などの体験的な学習を通して、自分との関わりで多面的、多角的に考えられるように工夫されている。	◎	◎
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、家庭・地域・企業と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っており、自分の生活とつなげて道徳的価値について考えることができる内容となっている。	○	○
7	情報モラル、自然環境保全、生命や人権、性的マイノリティなどの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	扱われる課題については偏りがなく、学年段階に即して系統的に取り上げられている。情報モラルや生命尊重、自然環境保全に関する教材が複数配列されているが、性的マイノリティに関する教材はない。	○	○
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	学年段階に応じて、いじめ問題やその対応について深く考えることができる内容になっている。特に、いじめ問題やいじめ防止に関する教材を複数配列し、アンダーマネージメントを取り入れるなど、生徒が自分の生活を振り返り、これからの目標を見つめられるように工夫されている。	◎	◎

□各教科共通の観点（道徳） 教科書会社名（ 廣済堂あかつき ）

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめることができるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	道徳科の内容と他の教科との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。さらに、巻末には教材と現代的な課題や他教科・領域との関連を一覧表に示している。	◎	◎
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	冒頭に、学習活動の流れや話し合い活動の意義を文章記述のみで示している。	△	△
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が日常生活で出会うであろう場面が取り上げられており、生徒に興味をもたせ、主体的・対話的な学習ができるように問題解決的な学習を取り入れている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	道徳ノートに自分の考えを記述するスペースを広くとるなど、個に応じた指導への配慮がされている。各学年の巻末に、持続可能な社会の実現について考える際の補足資料がある。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	教材によっては、学習し理解したことを更に広げたり深めたりできるよう、関連した内容を掲載している。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数分の教材が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく、掲載している。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配置されている。さらに、表紙にQRコードがあり、授業で動画などのコンテンツを活用できるように工夫されている。	◎	◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	道徳ノートに発展的な学習内容が明記されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚特性に対する配慮がなされ、装丁、紙質も適切で、製本もしっかりとしている。特に、1学年の教材本文の文字を大きくしたり、行間を広くしたりするなど、小学校との系統性を考慮している。	◎	◎

□道徳の観点 教科書会社名（ 廣済堂あかつき ）

道徳の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「福岡スタンダード」(あいさつ・掃除、自学・とも学、チャレンジ・立志)を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる内容になっていること。	各教科等で行う道徳教育や「福岡スタンダード」を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容となっている。	○	○
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	道徳ノートの巻頭に、自分を見つめ、目標とする姿を具体的にイメージする「中学〇年生の私」、学習記録や各学期の学習を振り返る「心のしおり」を通して、学んだ道徳的価値を基に、これからの課題や目標を見付けられるように工夫されている。	○	○
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、討論などにより考え方、感じ方の異なる人の考えに接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	教材末に、生徒が問題意識をもって、話し合いができるように明確にめあてが示されている。道徳ノートに道徳的価値についての補足説明があり、話し合いが深まるように工夫されている。	○	○
5	生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる内容になっていること。	教材末に「考える・話し合う」を設け、生徒が多面的・多角的に考えを深める問いを示している。道徳的価値に関連する先人や著名人の言葉を掲載し、人間としての生き方について、見方や考えを広げる手がかりを示している。	◎	◎
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、家庭・地域・企業と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っており、自分の生活とつなげて道徳的価値について考えることができる内容となっている。	○	○
7	情報モラル、自然環境保全、生命や人権、性的マイノリティなどの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	扱われる課題については偏りがなく、学年段階に即して系統的に取り上げられている。自然環境保全に関する教材などが複数配列されている。性的マイノリティに関する教材はない。	○	○
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	学年段階に応じて、いじめ問題やその対応について深く考えることができる内容になっている。巻末には、いじめ問題に関するコラムを設けている。	○	○

□各教科共通の観点 (道徳) 教科書会社名 (日本教科書)

各教科共通の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめることができるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	道徳科の内容と他の教科との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	冒頭に、学習活動の流れや話し合い活動の意義を、図で示しながら適切に説明している。	○	○
	ウ 多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が日常生活で出会うであろう場面が取り上げられており、生徒に興味をもたせ、主体的・対話的な学習ができるように問題解決的な学習を取り入れている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	巻末に内容項目に照らして自分自身の成長を自己評価する欄を設けるなど、個に応じた指導への配慮がされている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	教材によっては、学習し理解したことを更に広げたり深めたりできるよう、関連した内容を掲載している。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数以上の教材(37教材)が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく、掲載している。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	写真が掲載されている教材があるが、写真と教材との関連性が薄く、生徒によって教材にみられる場面設定や登場人物の心情を理解することが難しい。	△	△
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「もっと知りたい」として発展的な学習内容が明記されている。	○	○
5	印刷・製本 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明で装丁、紙質も適切であるが、本文の文字が小さく、読みにくい。	△	△

□道徳の観点 教科書会社名（ 日本教科書 ）

道徳の観点		所 見	調査会	調査研究委員会
1	道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「福岡スタンダード」(あいさつ・掃除、自学・とも学、チャレンジ・立志)を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる内容になっていること。	各教科等で行う道徳教育や「福岡スタンダード」を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容となっている。	○	○
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	巻末に内容項目を基に自分を振り返る自己評価、授業で学んだことを実際の生活でどのような場面で生かすことができたのかを具体的に記入する欄を設けている。しかし、内容項目に関する記述に工夫が必要である。	△	△
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、討論などにより考え方、感じ方の異なる人の考えに接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	各教材末に「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」の問いを示し、道徳的価値を自分との関わりで考えて話し合いができるように工夫されている。	○	○
5	生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる内容になっていること。	多面的・多角的に考えるために、「届けたい言葉」、「もっと知りたい」、「込められた思い」が設けられている。生徒が多様な考え方に接する中で、考えを深めることができる人物描写や図のみを示した教材を配列している。	○	○
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、家庭・地域・企業と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っており、自分の生活とつなげて道徳的価値について考えることができる内容となっている。	○	○
7	情報モラル、自然環境保全、生命や人権、性的マイノリティなどの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	扱われる課題については偏りがなく、学年段階に即して系統的に取り上げられている。生命尊重に関する教材が複数配列されている。2学年において、性的マイノリティに関する教材がある。	○	○
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	学年段階に応じて、いじめ問題やその対応について深く考えることができる内容になっている。	○	○